

# 第2回大阪マラソン共同調査研究 — 「成熟」時代の市民マラソン —



2013年3月30日

関西大学・読売新聞社

【写真：読売新聞社（表紙、1・47・82 ページ）、関西大学・杉本厚夫 撮影】

## 目 次

はじめに  
調査の概要

### I. 参加ランナー

#### 1) 大会前調査

- (1) 調査対象の概要
- (2) 参加目的
- (3) エントリーについて
- (4) チャリティについて
- (5) クロス分析

#### 2) 大会後調査

- (1) 調査対象の概要
- (2) 大阪マラソン大会評価
- (3) 大会運営について
- (4) イベントや関連取り組みについて
- (5) チャリティについて
- (6) クロス分析
- (7) 自由記述

### II. ボランティア

#### 1) 大会前調査

- (1) 調査対象の概要
- (2) ボランティア活動経験について
- (3) ボランティア活動への参加意識
- (4) チャリティについて
- (5) クロス分析

#### 2) 大会後調査

- (1) 調査対象の概要
- (2) ボランティア活動経験について
- (3) ボランティアの活動評価
- (4) チャリティについて
- (5) クロス分析
- (6) 自由記述

### III. 観 客

#### 1) 観客調査の概要

- (1) 調査対象の概要
- (2) 大阪マラソンの応援について
- (3) 自由記述

おわりに

## はじめに

### 「成熟」時代の市民マラソン

市民マラソンの火付け役は1967年に約180人で青梅街道（東京）を走った「青梅マラソン」です。1970年代に入って健康のためのジョギングがブームになると、各地で市民マラソンが開催されるようになり、今では、1,100を越す大会が全国で行われています。つまり、健康のために走っていたジョガーが、マラソンという記録を競うスポーツへと移行したのです。そのために、1990年代になって、ランニングアディクト（ランニング中毒）やオーバーユース（身体酷使）によるスポーツ障害が頻発しました。健康のために始めたジョギングが、マラソンというスポーツに変わったことで、健康を害するという皮肉な結果となったのです。

この状況は2000年代になって大きく変化します。とりわけ、都市型の市民マラソンが、これまでの記録や競技型のマラソンのイメージを払拭し、人々は走ることに新たな意味を見出したのです。

そのことは、第1回大阪マラソンの調査で明らかになりました。

ひとつは、「挑戦」です。目標タイムだったり、完走することだったり、友達と一緒にゴールすることだったり、自分に克つことだったり、それぞれが自分の目標を設定し、それに挑戦する楽しみを見出したのです。したがって、一緒に走っているランナーは競争相手やライバルではなく、ともにゴールを目指す仲間なのです。

また、普段は車が行き交う日常空間を、その日だけはマラソンコースという「非日常」空間に変えます。それは、まるで子どもが空き地を遊び空間に変えるのと同じように、マラソンを走ることによって遊び心を取り戻すことができたのです。

さらに、ランナーが知らない人からの応援に感動し、また応援する人がランナーの走りに感動します。そして、自分たちの走りを支えてくれるボランティアに感動し、都市生活の中で忘れかけていた人とのつながりに喜びを感じるのです。

このように市民マラソンに新しい価値を見出したからこそ、人々は夢中になるのです。

この背景には、これまでのような大量生産・大量消費といった量的な「成長」を求め、競争に価値を置く時代から、「モノ」や「コト」の質、さらには人々のつながりといった生活の質を求める「成熟」の時代への社会変化があります。だから、人々は単に記録を伸ばすということだけではなく、それぞれが自分にあった楽しみ方を市民マラソンに見出そうとするのです。



この「成熟」時代に行われる市民マラソンとして、第2回大阪マラソンの調査結果の意味をご理解いただければ幸いです。

## 調査の概要

### <趣旨>

2012年11月25日に開催された「第2回大阪マラソン」は、3万人のランナー、9千人のボランティア、120万人の観客によって、盛会のうちに幕を閉じた。

なぜ、これほど盛り上がるのだろうか？

そこで、その要因を探るべく、第1回大阪マラソン調査と同様に、第2回大阪マラソンに参加するランナー、ボランティア、観客を対象として、大会前後の意識の変化、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすること、ならびに大阪マラソンの今後の展開に活かすことを目的とするアンケート調査を実施した。とりわけ、今回の調査は、第1回大阪マラソン調査（第1回調査）から継続実施することで、経年変化の分かる調査データが蓄積されるため、課題発見や大会評価の分析など、よりよい大会運営のために役立つデータを提供できるものとする。

なお、本研究は、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、読売新聞大阪本社と関西大学の共同調査研究によって実施したものである。

### <調査概要>

第2回大阪マラソンに参加したランナー、ボランティア、観客を対象に下記のとおりアンケート調査を行った。

#### ・参加ランナー調査

方法：Web調査、

時期：大会前調査 2012年9月14日～10月15日

大会後調査 2012年11月26日～12月10日

サンプル数：大会前調査 4917（第1回調査4811）人

大会後調査 7894（第1回調査7006）人

#### ・ボランティア調査

方法：大会前調査 集合調査法、

大会後調査 ファクスとWeb調査

時期：大会前調査 2012年9月29日、10月6日、20日、

21日、11月3日、4日、10日、11日

大会後調査 2012年11月25日～12月10日

サンプル数：事前調査 897（第1回調査1045）人

事後調査 352（第1回調査1084）人

#### ・観客調査

方法：面接調査法

時期：11月25日

サンプル数：415（第1回調査467）人



御堂筋での観客調査風景（11月25日）

## <調査結果の概要>

第2回大阪マラソン調査では、第1回大阪マラソン調査（第1回調査）と同様に、回答率の高い調査となり、本調査の信頼性を担保することができた。さらに、自由記述も多くの方が記入してくださり、その関心の高さを知ることができた。

第1回大阪マラソンとの経年的変化を中心に、本調査で明らかになったことの概要について述べる。

### I、参加ランナーについて

参加理由では、「挑戦したいから」（92%）、「普段は走れないところを走れるから」（88%）、「大阪の観光地を走れるから」（80%）が圧倒的に多く、都市型の市民マラソンの特徴であるといえる。これらを総合的に考えて、「大阪マラソンのコース設定が良いと思ったから」を参加理由にあげた人が74%と、第1回調査の64%より10%も増える結果となった。



エントリーに関してはおおむね評価が高いが、チャリティなどによる参加の優遇措置では否定的な意見が多かった。また、イベントに関しては、EXPOとファンクラブサイト以外は参加が少ないが、参加したイベントに関しては満足している結果であった。

大会後の評価では、「一般の観客の応援が励みになった」（99%）「ランナー盛り上げ隊がよかった」（93%）「ボランティア等のサポート体制が充実していた」（98%）が高く評価されており、これらランナーを支える観客とボランティアとの一体感に満足度が高い。

このことは自由記述においても多く述べられており、ランナーと観客とボランティアが一体となって大阪マラソンを創り上げていると言えよう。大会運営に関しては、ボランティアが対応している「給水」や「受付」で高い評価を得ているが、トイレの設置だけは満足度が低い。

チャリティに関しては、「寄付先の目的や活動を明確にしていること」は94%（第1回調査85%）、「チャリティカラーを設けていること」は89%（第1回調査68%）、「チャリティの趣旨について」は93%（第1回調査46%）のランナーが高く評価しており、第1回大会よりチャリティマラソンとしての大阪マラソンの理解が深まったとみることができる。

参加ランナーは第1回大阪マラソンの参加者が37%と最多であり、また、ランナーとして申し込んだが落選した人が30%おり、リピーター率は高いといえる。一方、観客として参加した人が3%、ボランティアとして参加した人が1%あり、大阪マラソンに関わることで、自分もランナーとして走ってみたいとなったと考えられる。ただ、その割合が少ないことが今後の課題であるといえよう。

大阪在住の人を除き、大阪での滞在日程について聞いてみたところ、36%の人が前日と当日で最も多い。3連休であったことで前々日から当日が22%、前日から翌日が21%と2泊3日で滞在した人もいた。

また、マラソン以外で大阪でどのような活動をしたかを聞いたところ、大阪名物を飲食したという人が28%でグルメ志向である。つぎに20%の人が大阪市内観光しており、スポーツツーリズムの一端を垣間見ることができる。さらに買い物（ショッピング）をしたという人も17%あり、大阪マラソンによる経済効果が見込まれる。

## II、ボランティアについて

ボランティアの参加動機で最も多かったのは、「地域や社会のために役立ちたい」で87%（第1回調査84%）あり、大阪に対する地域愛（ローカルアイデンティティ）が強く、地域貢献型ボランティアといえる。次に「いろいろな人に会える」が86%（第1回調査80%）、「ボランティアの経験を深めたい」が83%（第1回調査74%）、「自分自身を高めたい」が80%（第1回調査77%）と自己実現の動機が高まっている。「人から勧められたり、誘われたりしたから」は51%（第1回調査32%）で、第1回の大阪マラソンでボランティアした人たちが、その楽しさを知って積極的に誘ったものと考えられる。

チャリティに関しては肯定的な意見が多いが、「ボランティアもチャリティに協力すべき」ということに対しては、28%の人が否定的にとらえており、金銭的なチャリティよりボランティアとしての人的なチャリティをしているという自負があるものと考えられる。

大会後の活動評価で最も多かったのは「ランナーから元気をもらった」で91%になる。これは災害ボランティアや福祉ボランティアではあまり見られない感想で、スポーツボランティアの特徴であるといえよう。また、「人の世話をすることができた」も91%（第1回調査93%）あり、とりわけ給水などで直接ランナーと接することができたボランティアは、感謝されることで世話をした実感を持つことができたといえる。「大阪を盛り上げることができた」とする人は90%（第1回調査90%）あり、「地域や社会のために役立った」と思う人は82%（第1回調査89%）あり、地域の活性化に役立っているという自覚があると考えられる。「マラソンが好きになった」とする人も90%（第1回調査89%）おり、「来年はランナーとして参加したい」と思う人が67%（第1回調査57%）と増えている。「来年も大阪マラソンのボランティアをしたい」と考えている人は79%、「大阪マラソンのボランティアを人に勧めたい」と考えている人が60%もおり、自分の経験したスポーツボランティアが楽しかったことを物語っている。自己実現の要因であった「いろいろな人に出会えた」は82%（第1回調査70%）、「ボランティアの経験を深めることができた」が85%（第1回調査89%）、「自分自身を高めることができた」が81%（第1回調査83%）と当初の目的を達成したといえる。「ボランティア同士の交流ができた」では、82%の人がそう思っており、第1回大阪マラソンの課題であったボランティア同士の交流が図られたと思われる。

第1回大阪マラソンのへの参加形態では、「ボランティアとして参加した」人が34%と最も多く、ボランティアのリピーター率が3割を超えている。次いで「観客として参加した」人が25%で、昨年から一歩進んで、主催者側としてランナーを支えるボランティアを選んだといえる。このようなランナー、観客、ボランティアの関わり方の変化は、大阪マラソンを市民の手で創っていることの証として考えるならば、「ランナーとして参加した」人が6%であったのは、割合として少なく今後の課題であるといえよう。



### Ⅲ、観客について

アンケートに協力いただいた観客を居住地別に見ると、コース付近（10%）、大阪市内（24%）、大阪府内（36%）に住んでいる人が70%を占めており、地元の人々の応援が盛んであることが分かる。

第1回大阪マラソンでの関わりを聞いてみると、「観客」として参加した人が38%あり、観客のリピーター率は4割と高い。また「テレビで見ていた」人が28%で、大阪マラソンへの興味が高まり、実際に足を運んで応援する人が増えたといえる。

応援の場所は、2から5か所が77%と、ほとんどの人が複数個所で応援を楽しんでいる。このように観客が移動するのは、市民マラソン特有の観戦形態である。それを可能にしているのはコースの設定であり、地下鉄を乗り継ぎながら観戦ポイントに移動できる。さらに、今回はGPSを使って各ランナーの位置を計測し、ネットで配信されていたので、知り合いが、今どこを走っているのかを観客は容易に知ることができたので、この移動観戦を楽しんだ人が多い。

大阪マラソン観戦の理由で最も多かったものは「応援を楽しみたいから」で、84%（第1回調査89%）の人がそう思っている。野球やサッカーなどのスポーツの応援を楽しむ文化が大阪には根付いていると考えられる。次に「ランナーから元気もらいたいから」を応援の理由にあげている人は76%（第1回調査75%）で、ボランティアと同じように観客もランナーから元気もらいたいと思っている。

観戦の感想では、「ランナーの走り」や「係員やボランティアの対応」には、ほとんどの人が満足している。また、7色の応援スタイルやランナー盛り上げ隊についても満足している。さらに、応援のマナーや応援の場所についても、不満はないようである。

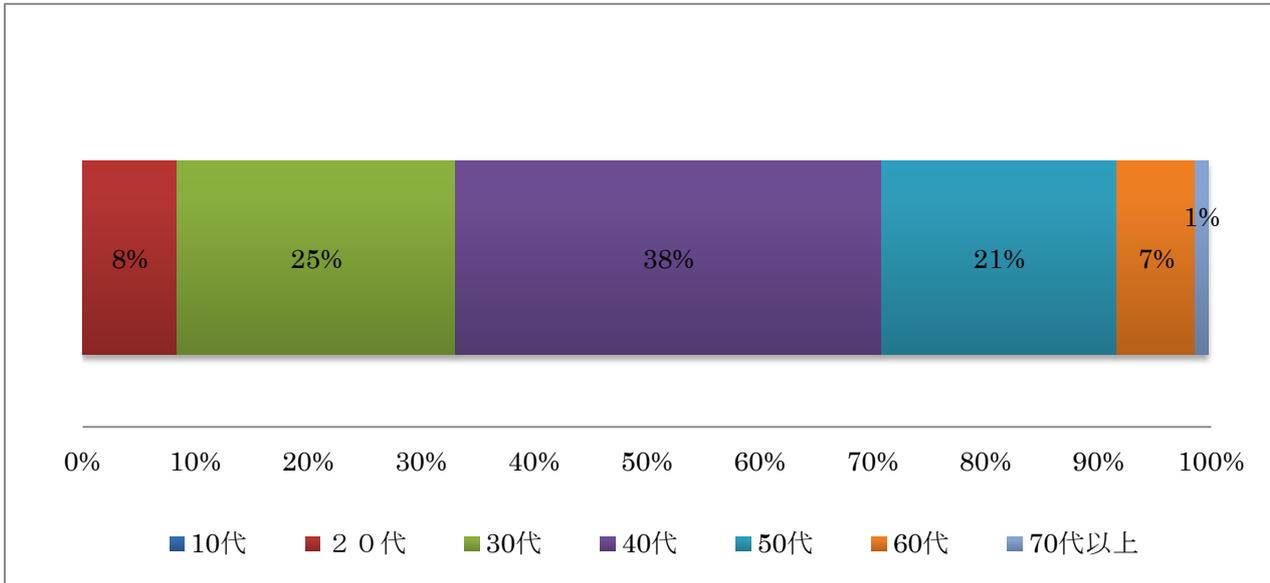


## I. ランナー

### 1) 大会前調査

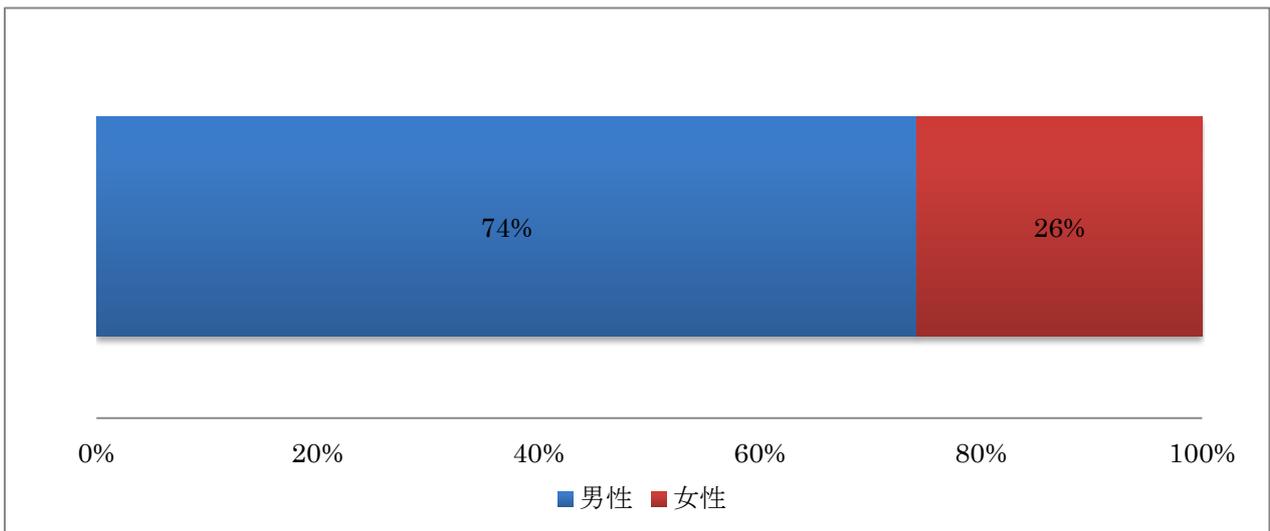
(1) 調査対象の概要 (有効回答者数 : 4917)

#### ①年代



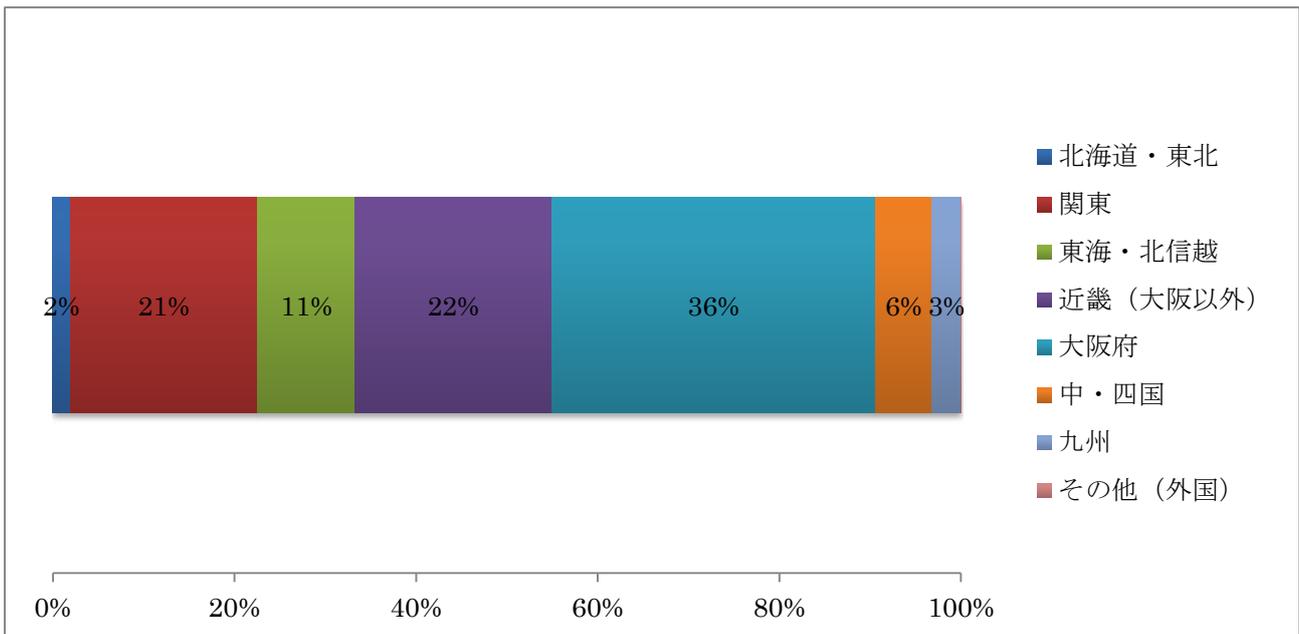
今回、大会前の調査に協力していただいたランナーは40代が38%で最も多く、次に30代が25%で、50代が21%と続いている。ちなみに、第1回大阪マラソンの大会前調査では40代が36.1%で最も多く、次に30代が25.2%だったので、ランナー年齢層に大差はなかったとみられる。

#### ②性別



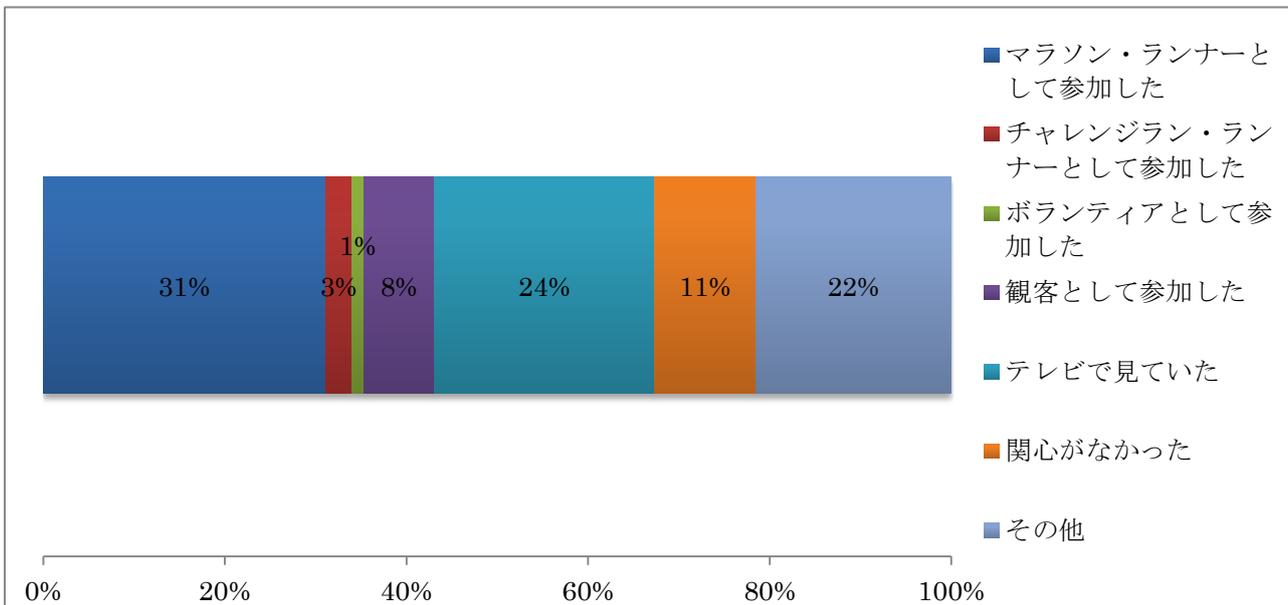
性別では、男性が74%と大半を占めている。第1回大阪マラソンと比較すると、男性が80.9%だったので、女性ランナー層が少し増えたといえる。

### ③居住地



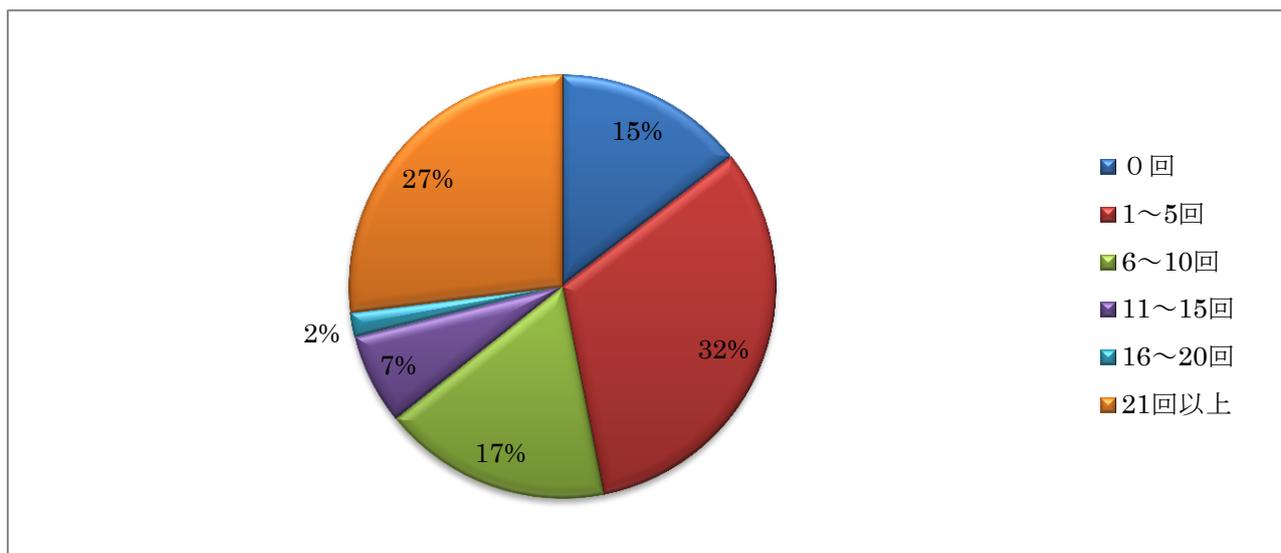
参加ランナーの居住地を尋ねたところ、大阪府の36%を加えると、近畿圏が6割を占めた。このデータは参加ランナーの地域別参加割合とほぼ一致している。ちなみに、第1回大阪マラソンと比較すると、関東地方のランナーが少し減り、東海地方のランナーの割合が少し伸びた。

### ④第1回大阪マラソンへの参加



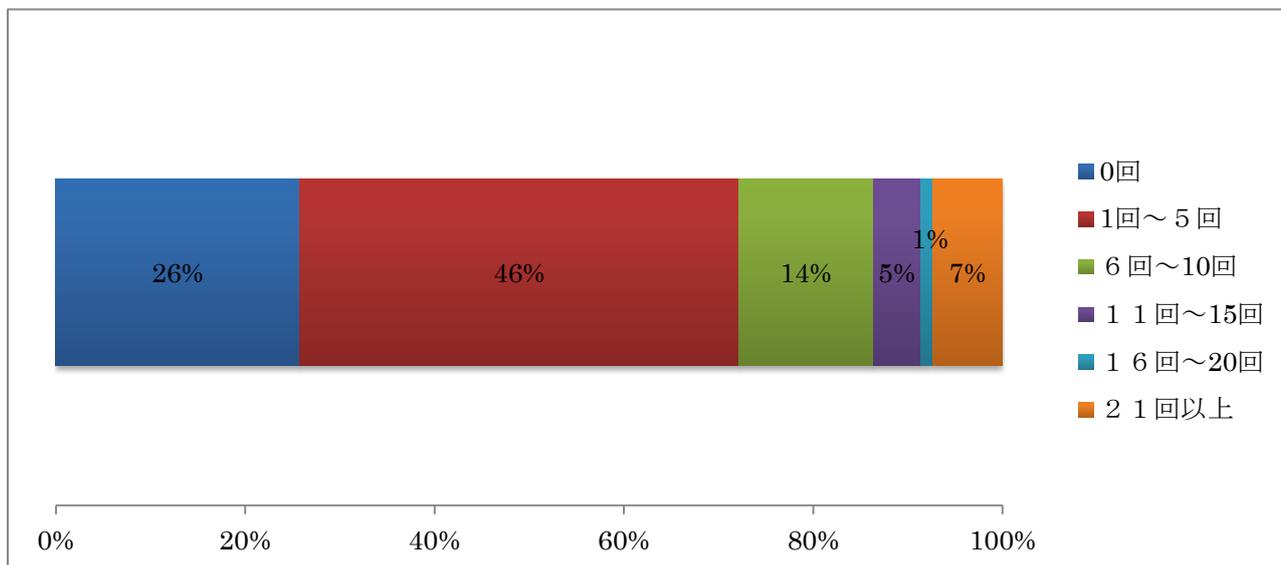
第1回大阪マラソンの参加者が31%と最多であり、リピーター率は高いといえる。次にテレビで見ていたという人が24%で、その関心の高さが伺える。また、観客として参加した人が8%、ボランティアとして参加した人が1%あり、大阪マラソンに関わることで、自分もランナーとして走ってみたいと考えられる。ちなみに「その他」は参加申し込みをしたけど落選した人が多かった。

### ⑤市民マラソン参加経験



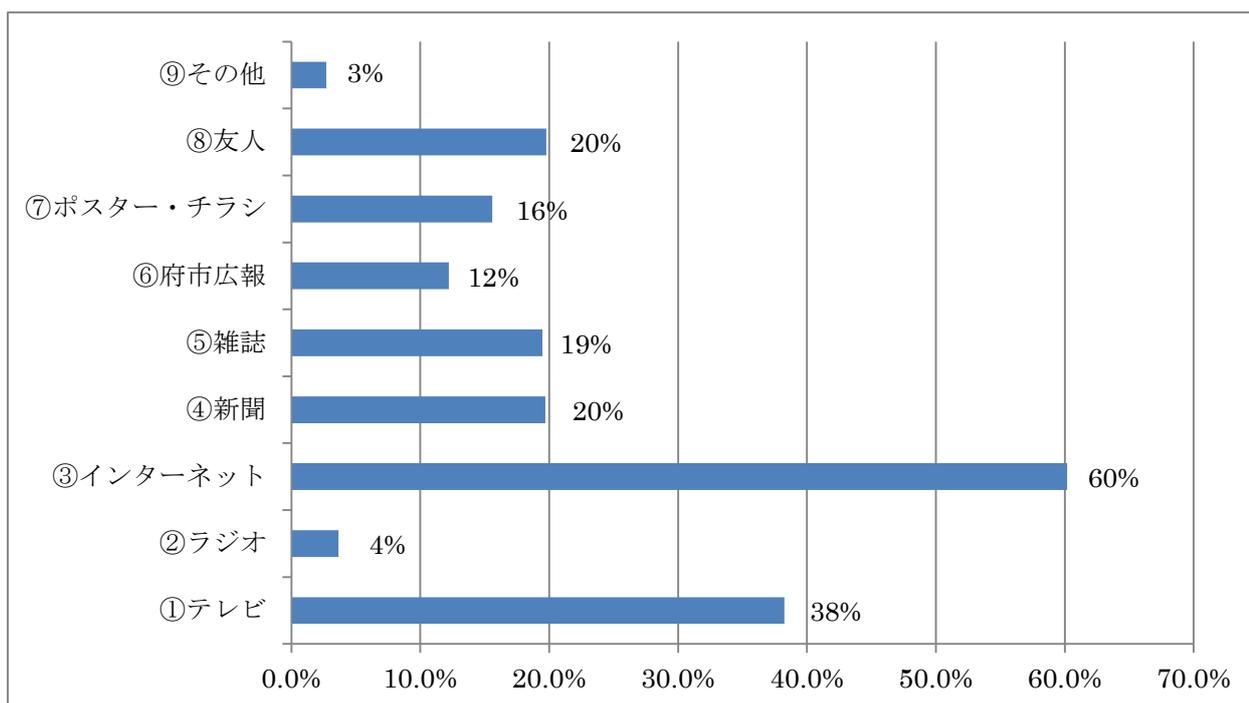
これまでの市民マラソンへの参加経験では0回、つまり初めて参加する人が15%である。1回から5回と市民マラソン経験者は32%、6回から15回の中級者は24%、16回以上のベテランが29%となり、初めて参加するランナーの割合が少し低かったものの、大きな偏りのない参加経験となっている。だれでも参加できている大会となっている。ちなみに、第1回大阪マラソンの調査でもほとんど同じ結果となっており、だれもが参加できるマラソン大会である。

### ⑥フルマラソン参加経験



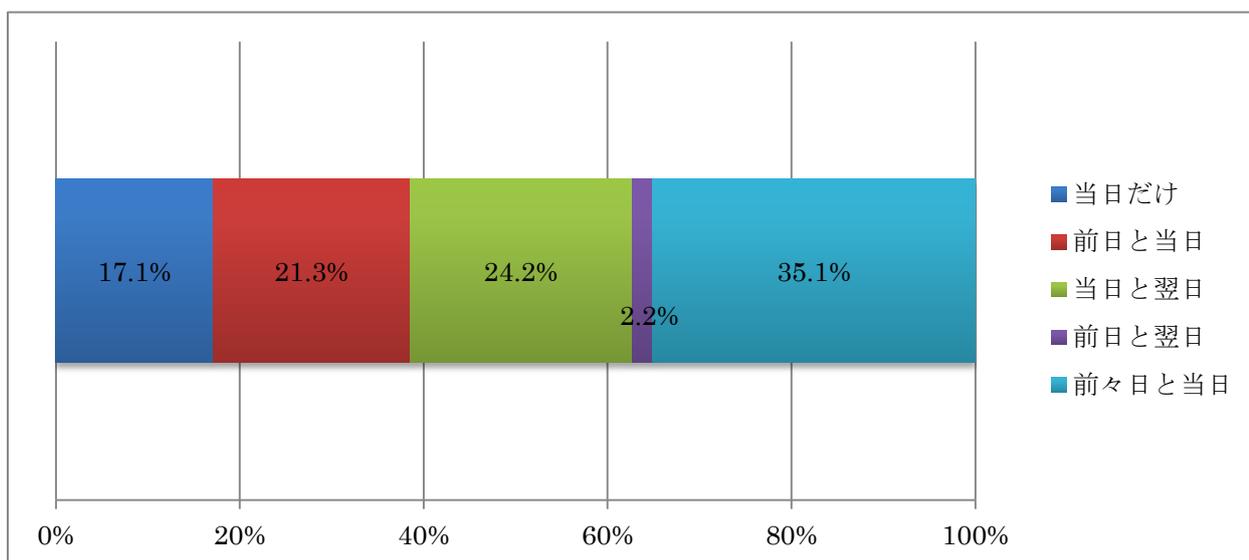
フルマラソンに初めて挑戦する人は26%と4人に一人の割合である。1回から5回の経験者は46%で、初めての人を合わせると7割の人がフルマラソンの経験は少ないといえる。第1回大阪マラソンの調査でも、ほとんど同じ結果となっており、初心者にとってはフルマラソンの登竜門となっている。

## ⑥大阪マラソンの認知（複数回答）



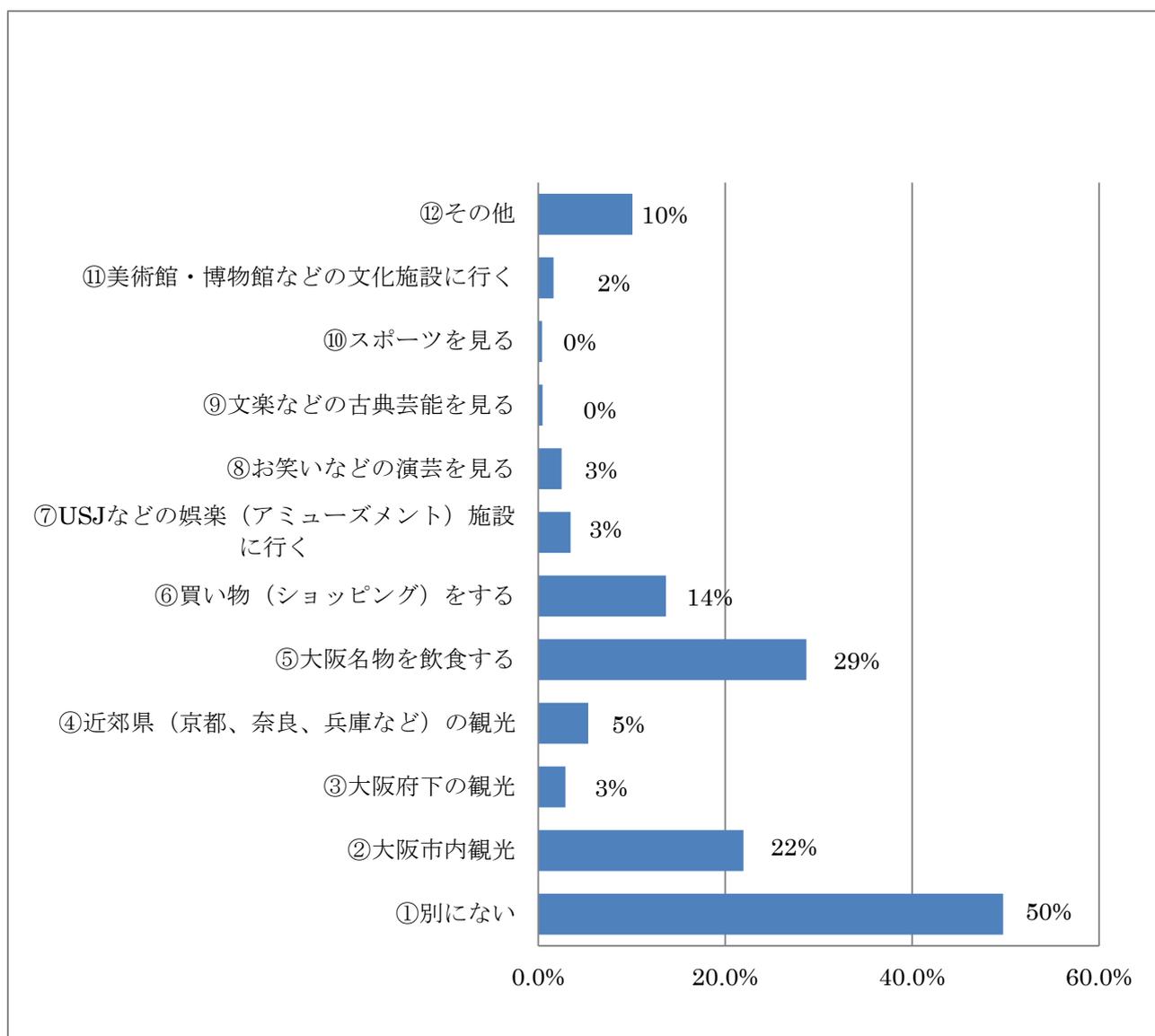
大阪マラソンをどのように知ったかでは、60%の人がインターネットと答えている。次にテレビの38%、新聞の20%、雑誌の19%で、メディアではインターネットの活用が際立っている。また、友人からの情報、いわゆる口コミによる情報入手が20%あることは特筆すべきことである。

## ⑦大阪での滞在予定（大阪在住の人を除く）



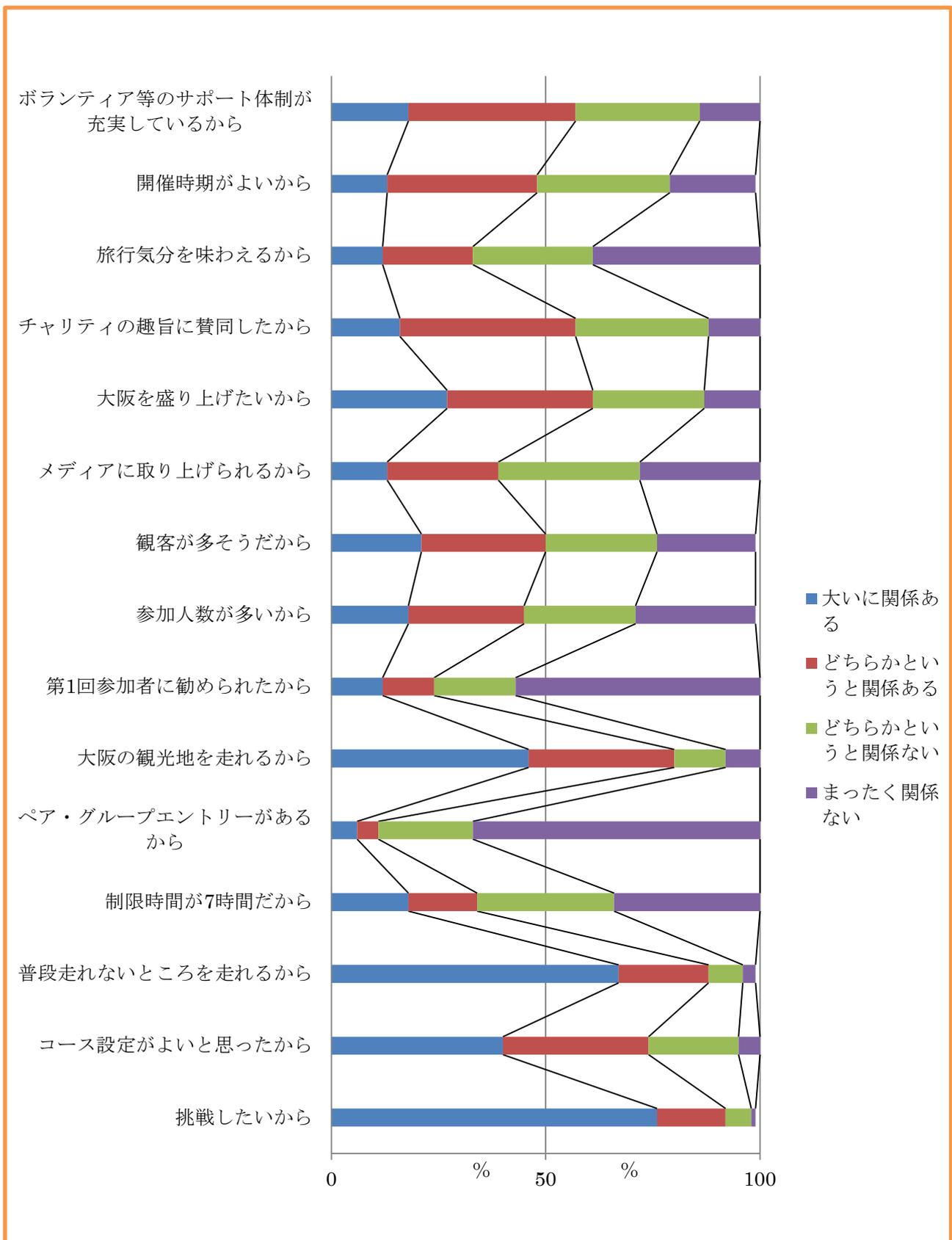
大阪在住の人を除き、大阪での滞在予定について聞いてみたところ、35%が前々日から当日となっており、2泊3日の予定できていることがわかる。これは、前々日から3連休であったことが大きな要因である。また、当日と翌日というマラソン後、1泊して疲れた身体を癒してから帰宅するタイプが24%、前日と当日というマラソン前に1泊するタイプが21%とほぼ同数である。

## ⑧大阪マラソン以外の活動（複数回答）



マラソン以外で大阪でどのような活動を予定しているかを聞いたところ、大阪名物を飲食するという人が29%でグルメ志向である。つぎに、22%の人が大阪市内観光を予定しており、スポーツツーリズムの一端を垣間見ることができる。さらに、買い物（ショッピング）をするという人も14%あり、大阪マラソンによる経済効果が見込まれる。

## (2) 参加目的



%

	大いに関係ある	どちらかという関係ある	どちらかという関係ない	まったく関係ない
ボランティア等のサポート体制が充実しているから	18	39	29	14
開催時期がよいから	13	35	31	20
旅行気分を味わえるから	12	21	28	39
チャリティの趣旨に賛同したから	16	41	31	12
大阪を盛り上げたいから	27	34	26	13
メディアに取り上げられるから	13	26	33	28
観客多そうだから	21	29	26	23
参加人数が多いから	18	27	26	28
第一回参加者に勧められたから	12	12	19	57
大阪の観光地を走れるから	46	34	12	8
ペア・グループエントリーがあるから	6	5	22	67
制限時間が7時間だから	18	16	32	34
普段走れないところを走れるから	67	21	8	3
コース設定がよいとおもったから	40	34	21	5
挑戦したいから	76	16	6	2

第2回大阪マラソンに参加した理由を聞いてみた。

最も多かった参加理由は「挑戦したいから」で、「大いに関係ある」(76%)と「どちらかという関係ある」(16%)を合わせると92%となっている。第1回調査では75%であったので17%も増えている。この結果は、「完走」、「目標タイム」「友達と一緒にゴール」など、それぞれランナーが自分の目標に「挑戦」するという参加目的を持つことで、市民マラソンとして大阪マラソンが定着してきたと考えられる。

次に多かったのは「普段は走れないところを走れるから」で、「大いに関係ある」(67%)と「どちらかという関係ある」(21%)を合わせると88%となる。第1回調査でも86%であったので、大阪マラソンに参加する根強い理由となっていることが分かる。これは市民マラソンの特徴でもある車道を走るといふ普段は走ってはいけないところを走れるという「非日常性」が担保されていて、とりわけ、今回も普段は南行き一方通行の御堂筋を北に走るといふこと出来ることはランナーにとっては人気がある。

これと関連して、「大阪の観光地を走れるから」が「大いに関係ある」(46%)と「どちらかという関係ある」(34%)を合わせると80%であり、第1回調査の68%より12%も増えている。スポーツで「観光」というスポーツツーリズムが定着してきたのではないと思われる。

この「挑戦したいから」、「普段は走れないところを走れるから」、「大阪の観光地を走れるから」が都市型の市

民マラソンの特徴であるといえる。これらを総合的に考えて、「大阪マラソンのコース設定が良いと思ったから」を参加理由に関係あるとした人が74%と第1回調査の64%より10%も増える結果となった。

また昨年同様、「大阪を盛り上げたいから」は61%（第1回調査60%）と高い割合を示している。

さらに、「メディアに取り上げられるから」は39%（第1回調査45%）、「観客が多そうだから」は50%（第1回調査46%）、「参加人数が多いから」は45%（第1回調査46%）と、これらの理由については、第1回調査とほとんど変化がない。

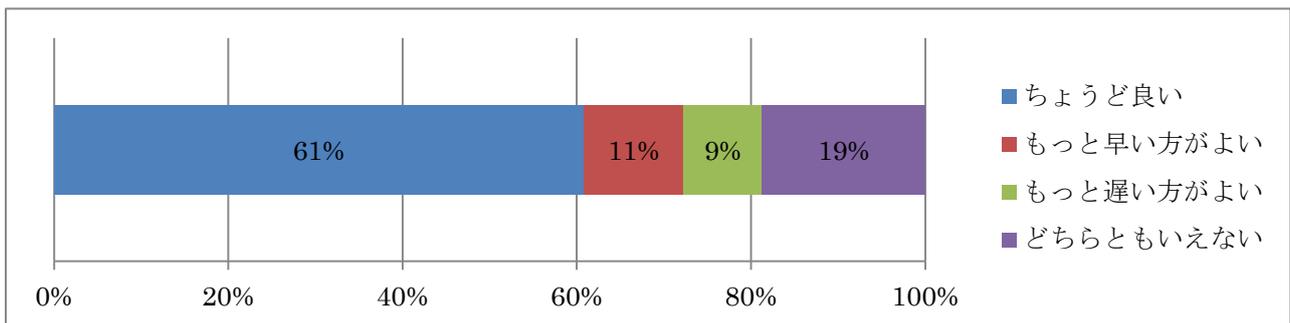
しかし、大きく変化したのはチャリティに関する参加理由である。「チャリティの趣旨に賛同したから」では57%と、第1回調査の38%を大きく上回っている。このことは、大阪マラソンはチャリティマラソンであるということが、ある程度認識されるようになってきたという証である。

また、「ボランティア等のサポート体制が充実しているから」を参加理由に挙げている人は57%あり、第1回調査での26%を大きく上回っている。これは、第1回大阪マラソンでのボランティア等の支援活動に対して、多くのランナーが高く評価した結果である。

さらに、「第1回の参加者に勧められたから」を理由に挙げている人が24%いることは、第1回の大会が評価されているということである。

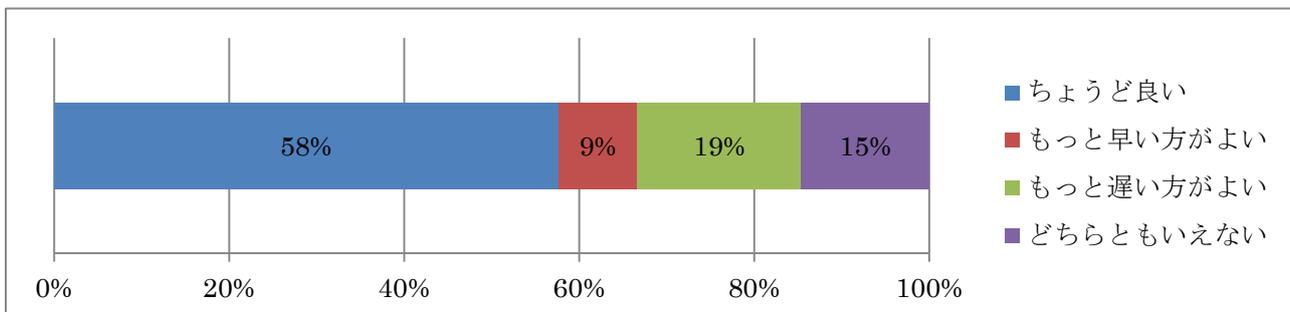
### （3）エントリーについて

#### ① 開催告知の時期はいかがでしたか？



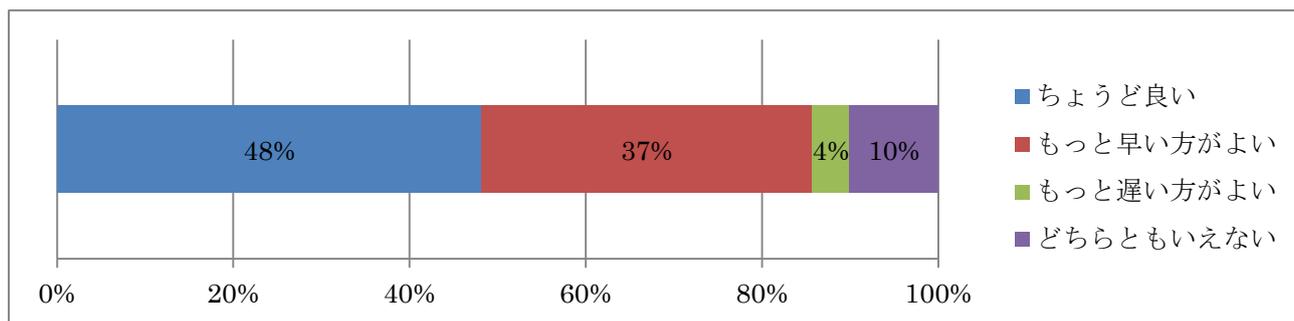
大阪マラソンの開催告知の時期については61%の人が適切であると答えている。また、11%の人がもっと早いほうが良い、9%の人がもっと遅いほうが良いと答えており、ほとんど同数である。

#### ② エントリーの時期はいかがでしたか？



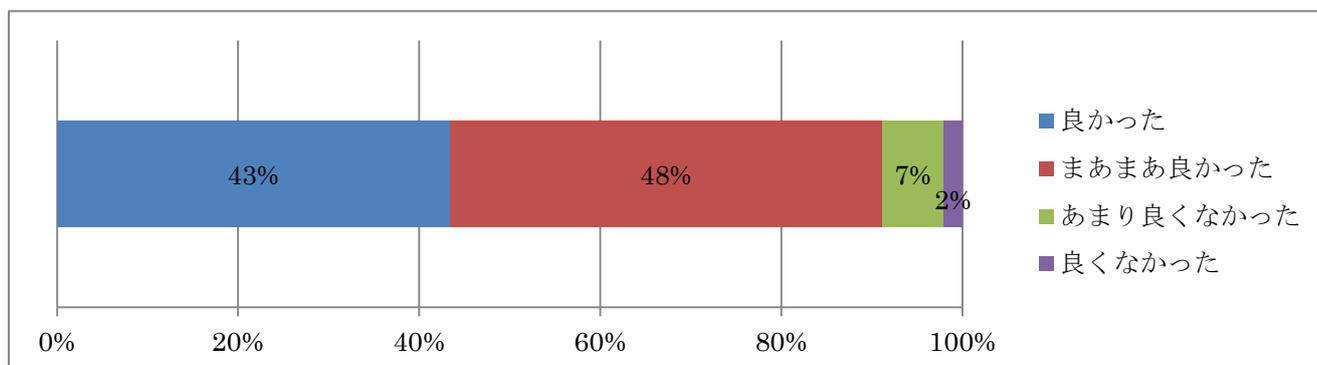
エントリーの時期については、58%の人が適切であると答えている。また、19%の人がもっと早いほうが良いと答えており、もっと遅いほうが良いとする人（9%）を上回っている。

### ③当落通知の時期はいかがでしたか？



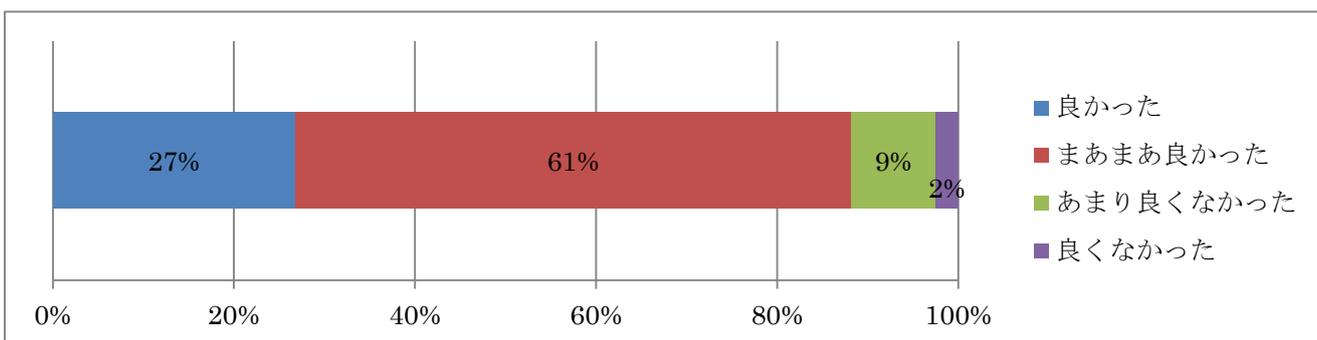
当落通知の時期については、48%の人が適切であると答えているが、37%の人がもっと早いほうが良いと答えており、当落通知の時期については再考する必要があるようである。

### ④エントリーの手続きの仕方はいかがでしたか？



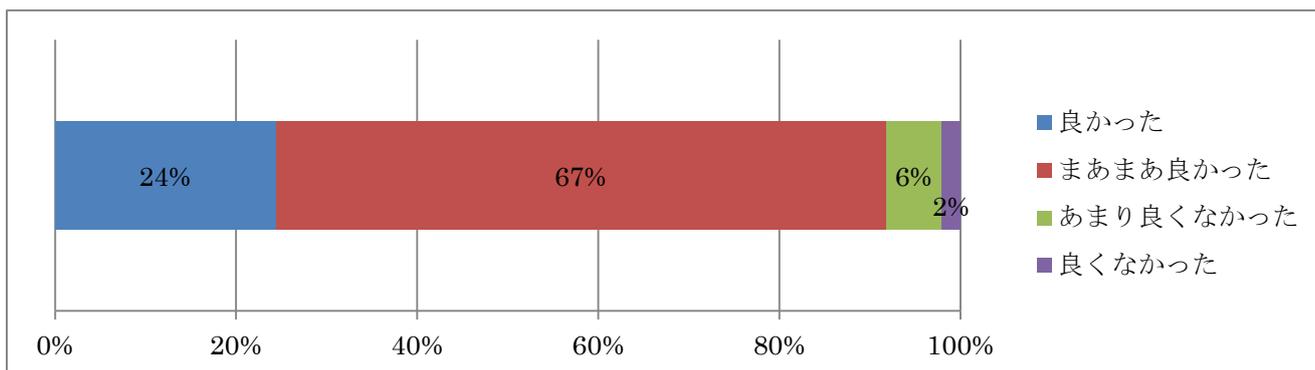
エントリーの手続きについては、43%の人が良かった、48%の人がまあまあ良かったと答えており、9割以上の人が満足している。

### ⑤公式ホームページやメルマガ等での案内はいかがでしたか？



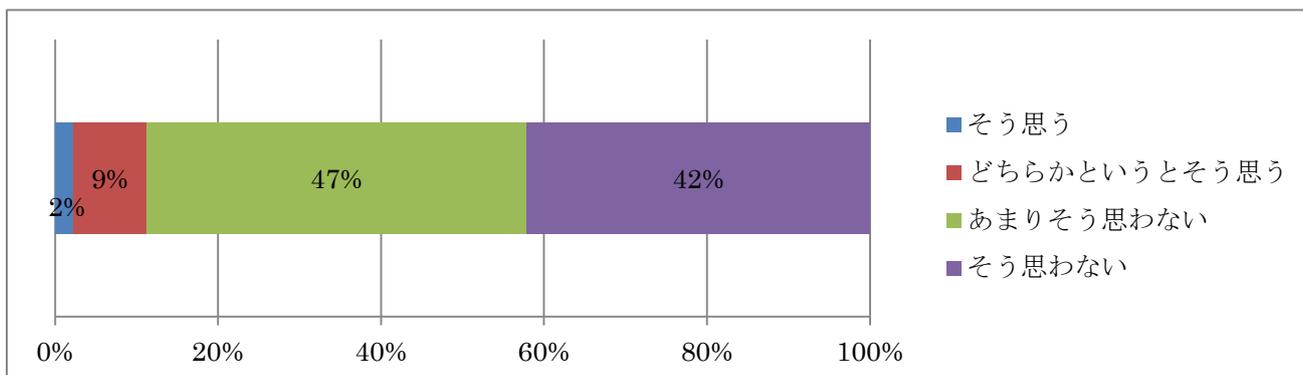
公式ホームページやメルマガ等による案内については、27%の人が良かった、61%の人がまあまあ良かったと答えており、9割近い人が満足している。

⑥ エントリーセンターやコールセンターの受け付け対応はいかがでしたか？



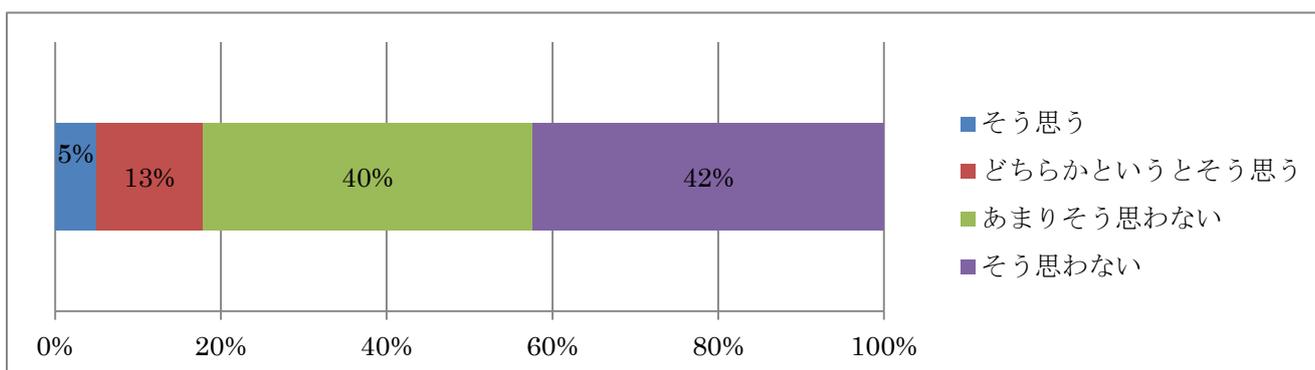
エントリーセンターやコールセンターの受付の対応については、24%の人が良かった、67%の人が良かったと答えており、9割以上の人が概ね満足していると言える。

⑦ エントリーなどに特典のある有料メンバーの会員組織を作った方がよい。



エントリーなどに特典のあるメンバーの会員組織を作ることについては、9割近い人が否定的である。

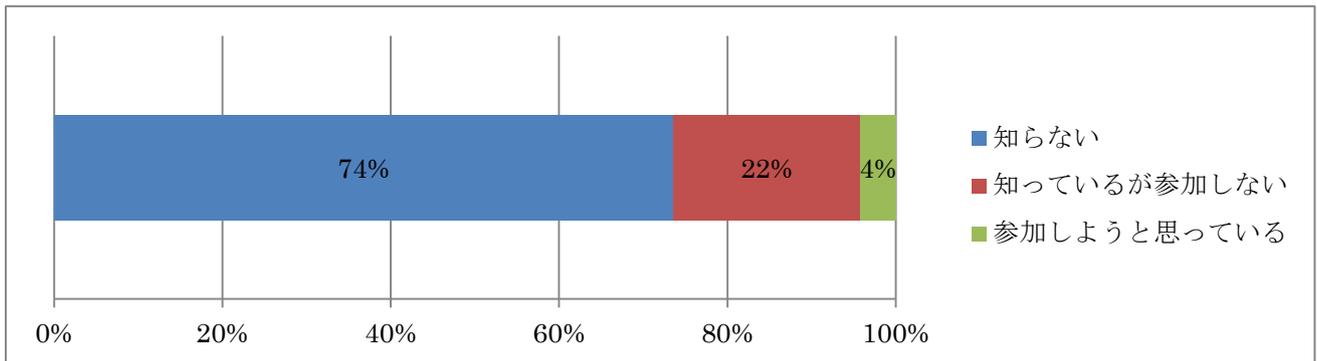
⑧ チャリティの額に応じて抽選優遇やランナーサービスなどの特典があってもよい。



また、チャリティの額に応じての優遇措置についても、8割の人が否定的に捉えている。これらの回答は、市民マラソンは参加するチャンスが平等である必要があると考えているからであろう。

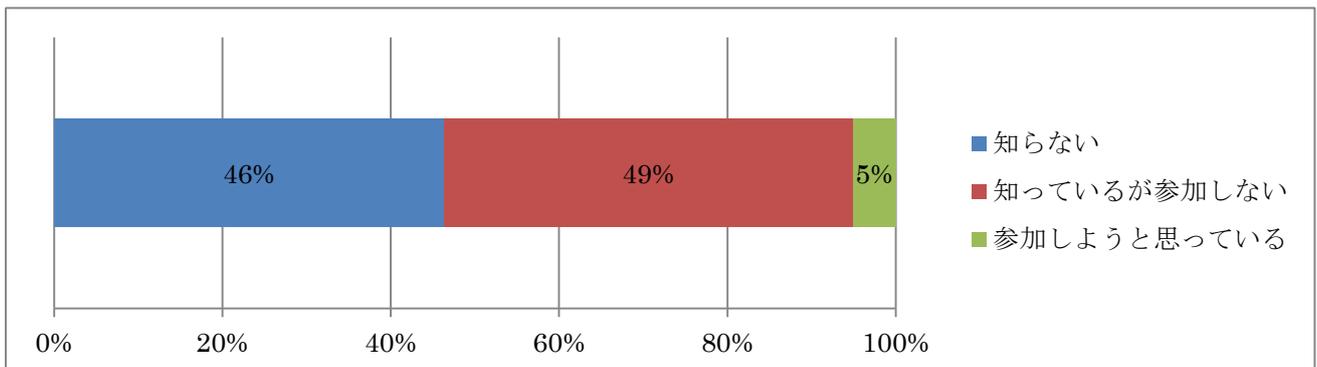
## <イベントについて>

### ①大阪“バル”マラソンについて



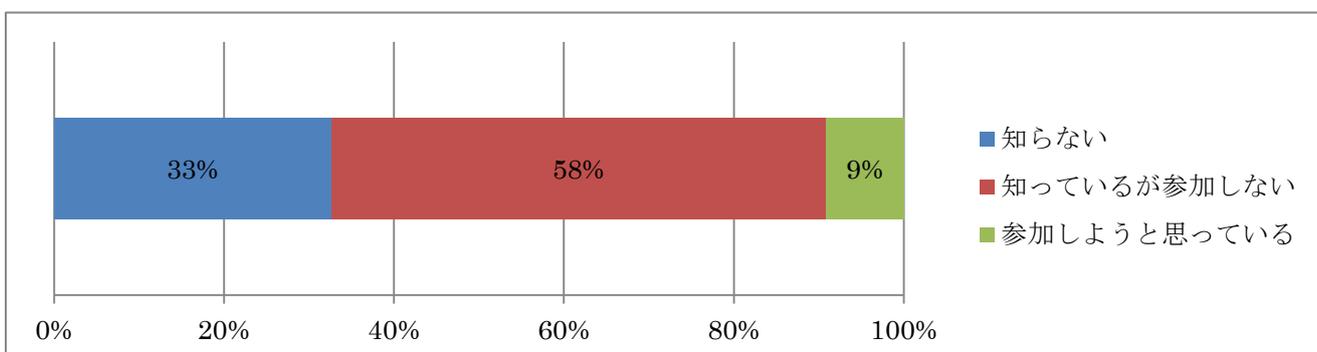
大阪“バル”マラソンについては、74%の人が「知らない」と答えており、認知度が低いと言える。今回初めてのイベントで、十分に情報が伝わっていなかったと言える。

### ②大阪マラソンチャリティシンポジウムについて



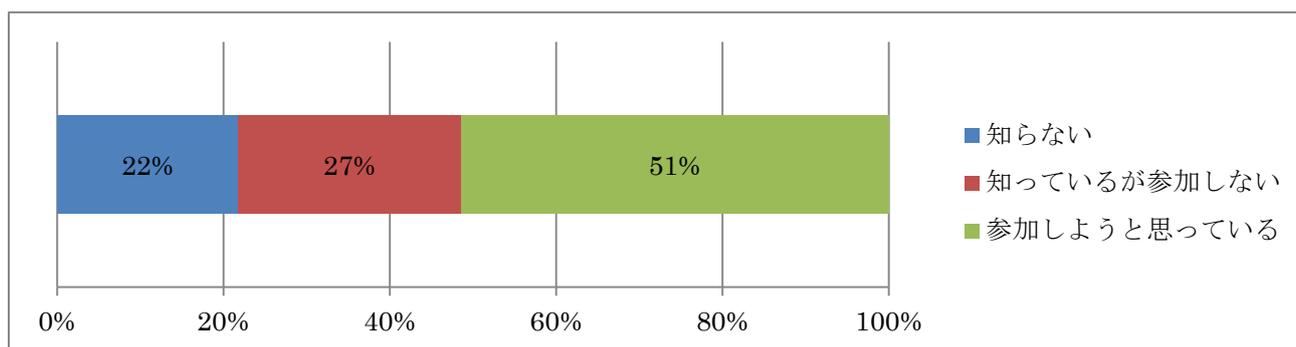
大阪マラソンチャリティシンポジウムについては、49%の人が「知っているが参加しない」と答えている。これは、大阪で行われるために、大阪近郊以外の人に参加することがむづかしいからと思われる。また、46%の人が知らないと答えており、関心の低さを示している。

### ③「PUSH」講習会について



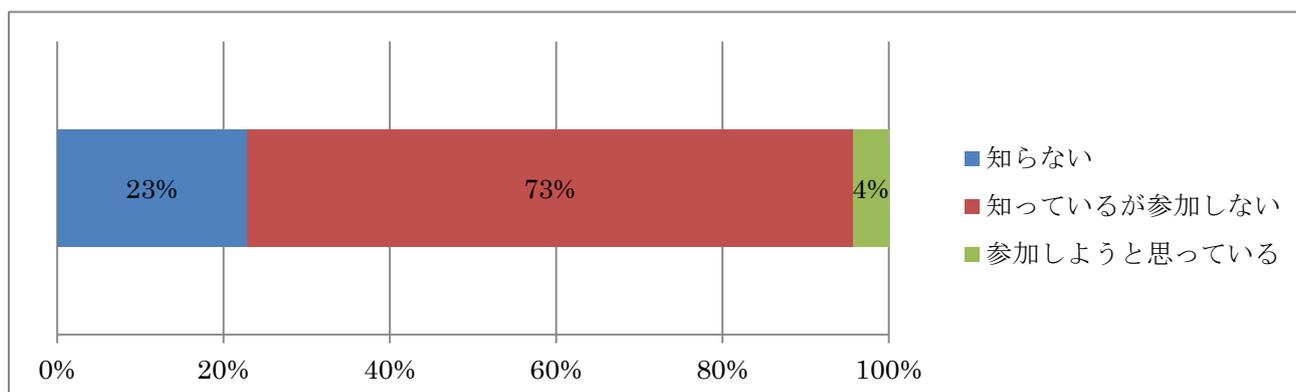
「PUSH」講習会については、58%の人が「知っているが参加しない」と答えており、これも、開催が大阪なので、大阪近郊以外の人に参加することがむづかしいと思われる。また、マラソンに関するイベントなので、認知度は高いと言える。

#### ④マラソン EXPO について



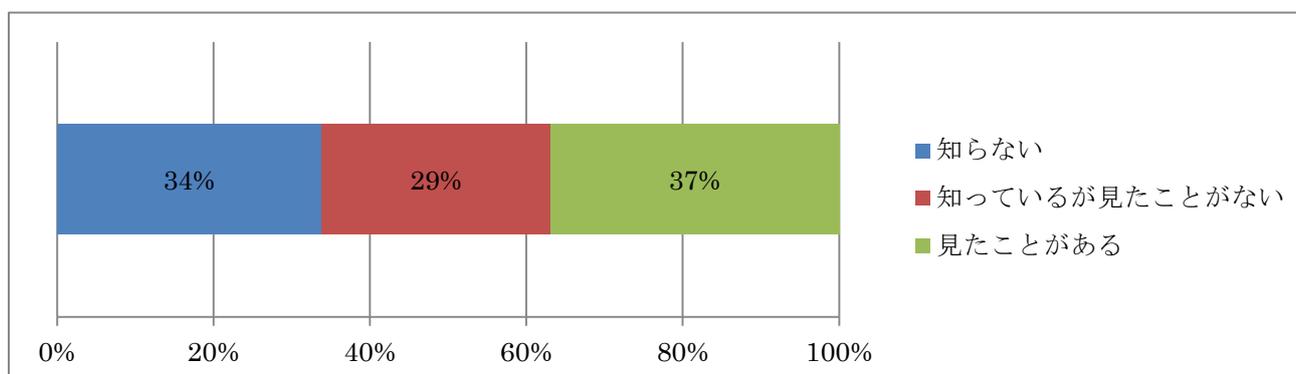
大阪マラソン EXPO2012 については、51%の人が「参加しようと思っている」と答えており、関心の高さを示している。これは、前日に手続きをするために、会場であるインテックス大阪に行く必要があり、その流れて参加する人が多いと言える。

#### ⑤大阪マラソン 2012 前夜祭 in USJ



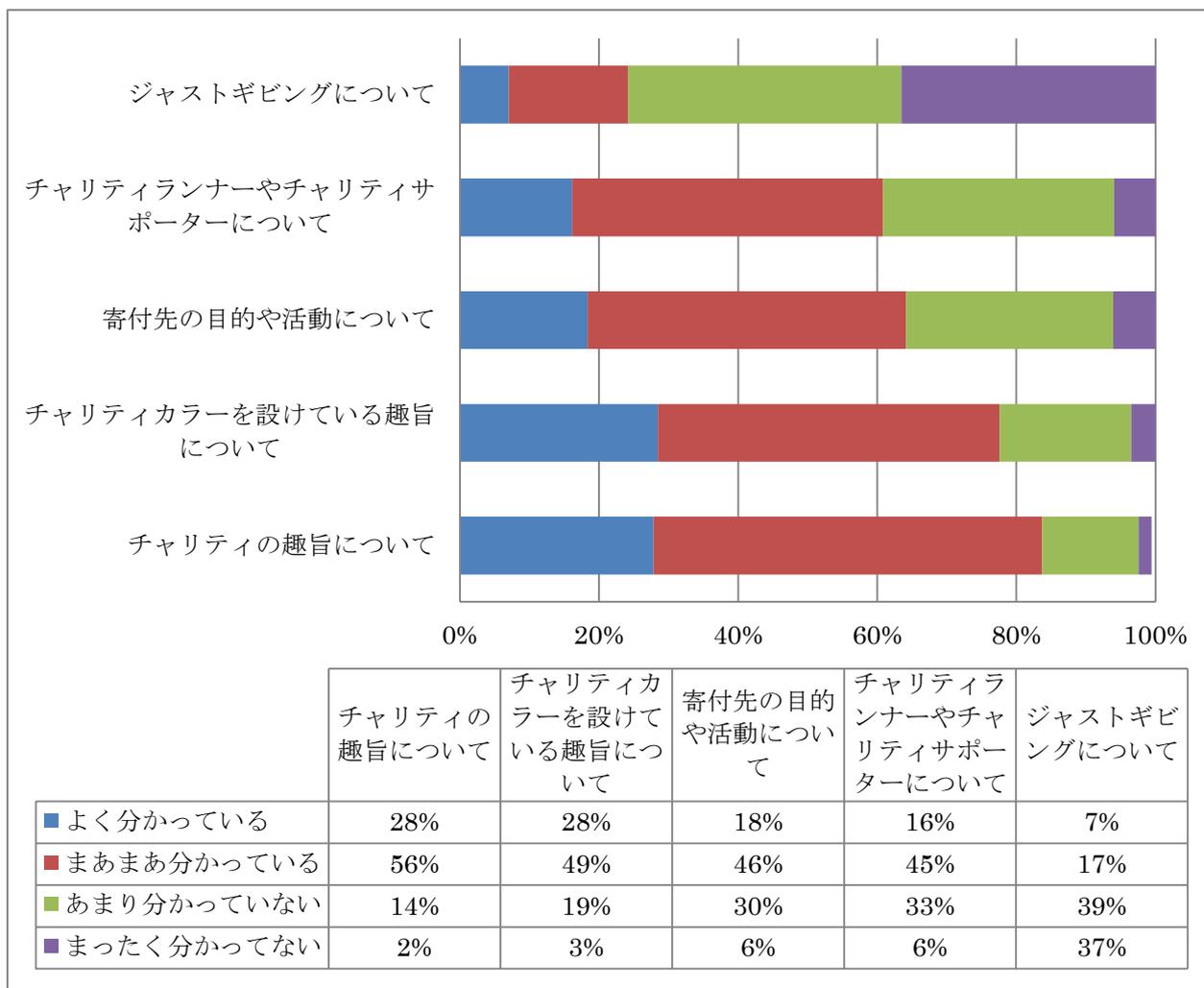
大阪マラソン 2012 前夜祭 in USJ については、今回が初めてのイベントであるにもかかわらず、73%の人が「知っているが参加しない」と答えており、認知度は高いと言える。

#### ⑥大阪マラソンファンクラブサイトについて



大阪マラソンファンクラブのサイトについては、37%の人が「見たことがある」と答えているが、同時に34%の人が知らないと答えており、サイトの見せ方に工夫が必要である。

#### (4) チャリティについて



「ジャストギビングを使ってチャリティに参加できる」ことについては、24%のランナーしか認識していなかった。また、「チャリティランナーやチャリティサポーターの役割」についても39%のランナーが理解していなかった。同じように「チャリティの寄付先の目的や活動」についても36%のランナーが分かっていないと答えている。「チャリティカラーを設けている趣旨」については77%のランナーが分かっており、「チャリティの趣旨」は84%が理解している。ちなみに、第1回調査ではチャリティの趣旨の理解は75%だったので、改善が見られたといえる。

## <大会前のチャリティに関するランナーの自由記述（抜粋）>

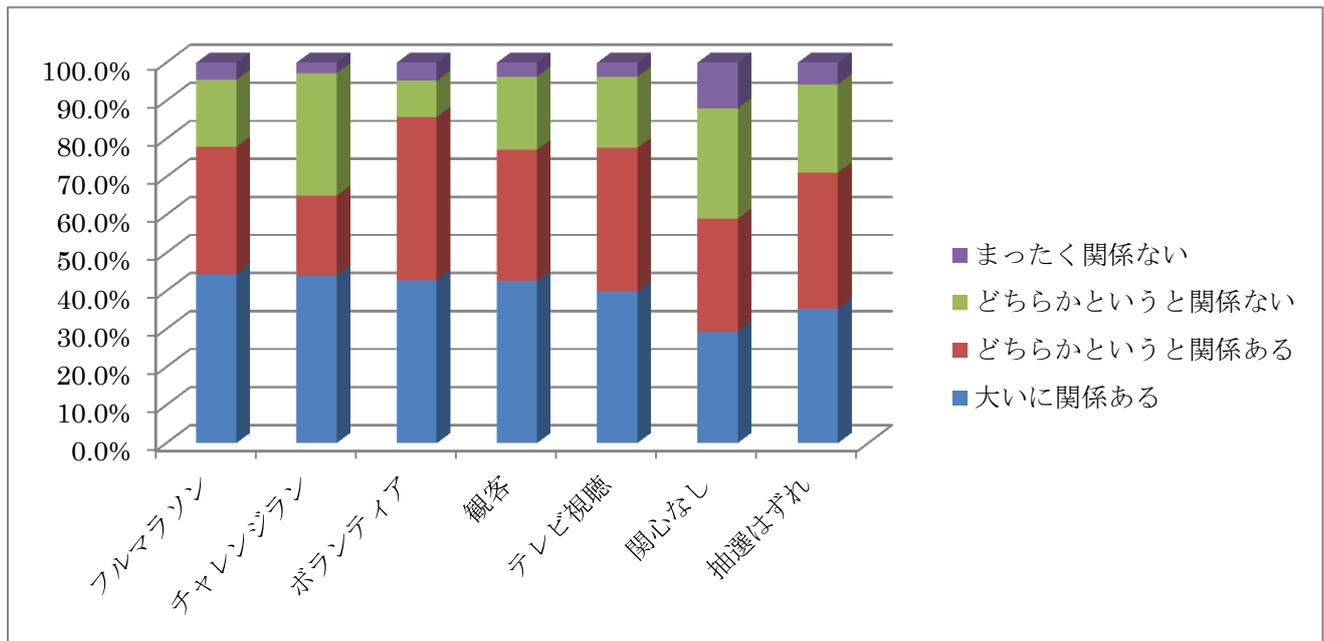
- 意義のある活動なのでチャリティは続けてほしい。チャリティがあるから 1 回目の大阪マラソンもぜひ参加したいと意を強くしたし、2 回目以降もエントリーし続けたいと思っています。ただ、チャリティの申し込み口数で出場しやすくなるというようなことはせず、出場権は公平に決定してほしい。
- チャリティの結果、誰にどう寄与したかを知りたいです。完走証に少し記載してもらうだけで長年それを見返した時に思いが強くなると思います。
- 全国に先駆けた取組で、走るプラス同じ気持ちを持った人が識別しやすく、話のきっかけにもなる。
- 最初は走るのにチャリティでお金取られるの・・・と思ったけど、こんな機会がないとなかなかチャリティに参加できないと思うのでいいと思います。
- チャリティカラーがあるのはいいなと思う。カラーを意識してウェアや小物を選ぶのも楽しい。
- 寄付数で当落が決まるのではないかと疑問が残る。一律に徴収すべきだ。
- 児童虐待防止、HIV 対策、自殺問題についてもなにかできることがないかなって思います。
- いくら集まりいくら寄与したのか、それが何に使われたのか（福祉車両の購入など）、毎年、昨年の実績を UP してくれれば、ランナーも【俺も貢献しているんだなあ】と実感が沸くはずである。
- チャリティランナーの意味はなんとなく理解できるが、チャリティサポーターの意味が全くわからない。
- チャリティの費用は先に払うけれども、どの分野かは、エキスポ会場などで、ジックリと選べるようなシステムのほうが良いのではないかと思います。今春、ヨーロッパのマラソン大会に参加しましたが、チャリティの概念が、さすが、しっかりしていると感じました。

(5) クロス分析

<第1回大会の参加形態と第2回大会の参加理由>

①コースの設定が良いと思ったから

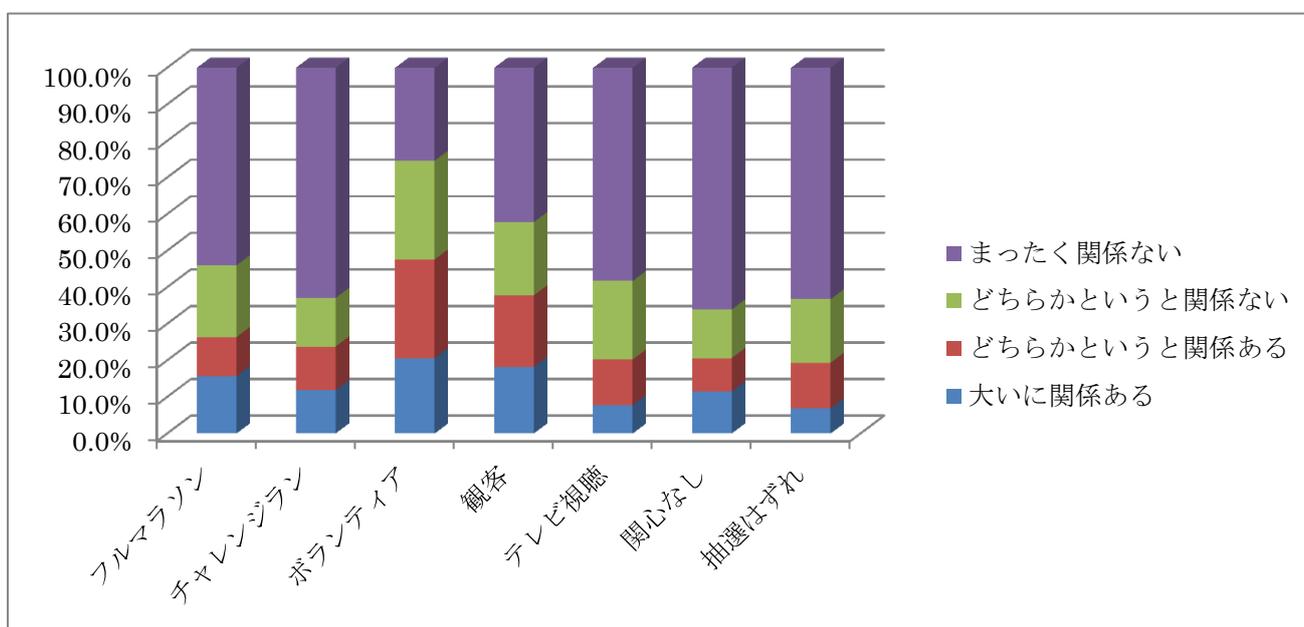
	大いに関係あ る	どちらかとい うと関係ある	どちらかとい うと関係ない	まったく関係な い	総計
フルマラソン	44.4%	33.4%	17.6%	4.5%	100.0%
チャレンジラン	44.1%	21.0%	32.2%	2.8%	100.0%
ボランティア	42.9%	42.9%	9.5%	4.8%	100.0%
観客	42.7%	34.4%	19.3%	3.6%	100.0%
テレビ視聴	39.8%	37.8%	18.7%	3.7%	100.0%
関心なし	29.4%	29.6%	29.0%	12.0%	100.0%
抽選はずれ	35.4%	35.7%	23.2%	5.7%	100.0%
総計	39.5%	34.4%	20.8%	5.3%	100.0%



第1回大阪マラソンでボランティアをした人は、第2回大阪マラソンにランナーとして参加する理由で「コースの設定がよいと思ったから」という人が多い。これは、多くの場合コースのある地点でボランティアをしていて、全体的なコースを把握していないため、イメージが先行していると考えられる。

## ②第1回の参加者に勧められたから

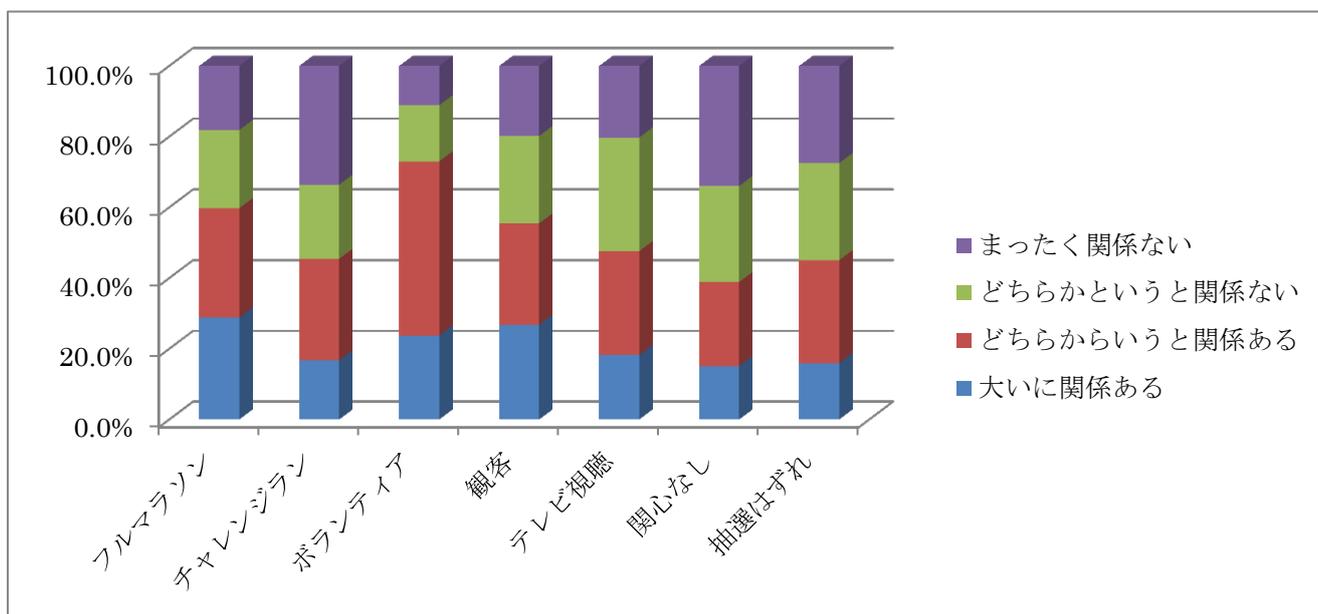
	大いに関係あ る	どちらかとい うと関係ある	どちらかとい うと関係ない	まったく関係な い	総計
フルマラソン	15.7%	10.7%	19.6%	54.0%	100.0%
チャレンジラン	11.9%	11.9%	13.3%	62.9%	100.0%
ボランティア	20.6%	27.0%	27.0%	25.4%	100.0%
観客	18.2%	19.5%	20.1%	42.2%	100.0%
テレビ視聴	7.8%	12.4%	21.5%	58.3%	100.0%
関心なし	11.5%	9.1%	13.3%	66.1%	100.0%
抽選はずれ	6.9%	12.5%	17.4%	63.3%	100.0%
総計	11.6%	12.2%	18.8%	57.3%	100.0%



第1回大阪マラソンでボランティアをした人と観客は、第2回大阪マラソンにランナーとして参加する理由で「第1回の参加者に勧められたから」という人が多い。これは、実際にランナーが走るのを目の当たりにして、ランナーとして参加することへの意識が高まったところで、さらに勧められることによって参加を決めたと考えられる。

### ③観客が多そうだから

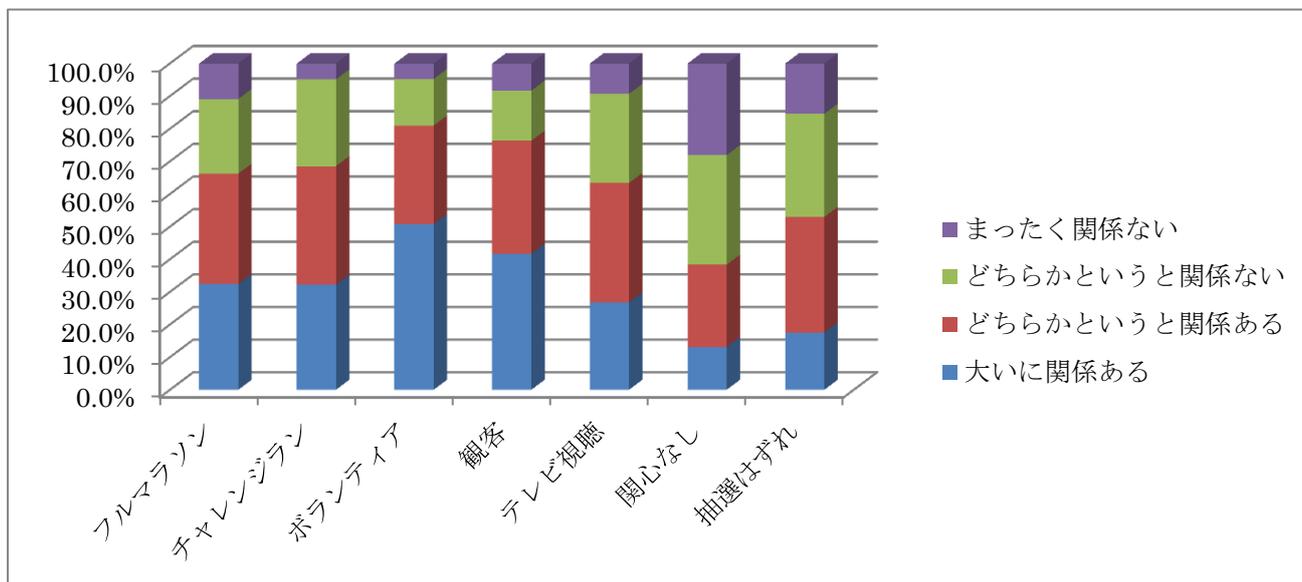
行ラベル	大いに関係あ る	どちらからい うと関係ある	どちらかとい うと関係ない	まったく関係な い	総計
フルマラソン	28.8%	31.0%	22.1%	18.1%	100.0%
チャレンジラン	16.8%	28.7%	21.0%	33.6%	100.0%
ボランティア	23.8%	49.2%	15.9%	11.1%	100.0%
観客	26.8%	28.6%	24.7%	19.8%	100.0%
テレビ視聴	18.2%	29.4%	32.2%	20.2%	100.0%
関心なし	15.1%	23.7%	27.2%	33.9%	100.0%
抽選はずれ	16.0%	29.1%	27.5%	27.5%	100.0%
総計	21.4%	29.4%	26.4%	22.9%	100.0%



第1回大阪マラソンでフルマラソンのランナーとボランティアとして参加した人は、第2回大阪マラソンにランナーとして参加する理由で「観客が多そうだから」という人が多い。これは、第1回大阪マラソンに参加してみて、ランナーにとって観客の応援が大きな支えになっていることを実感したからだと考えられる。

#### ④大阪を盛り上げたいから

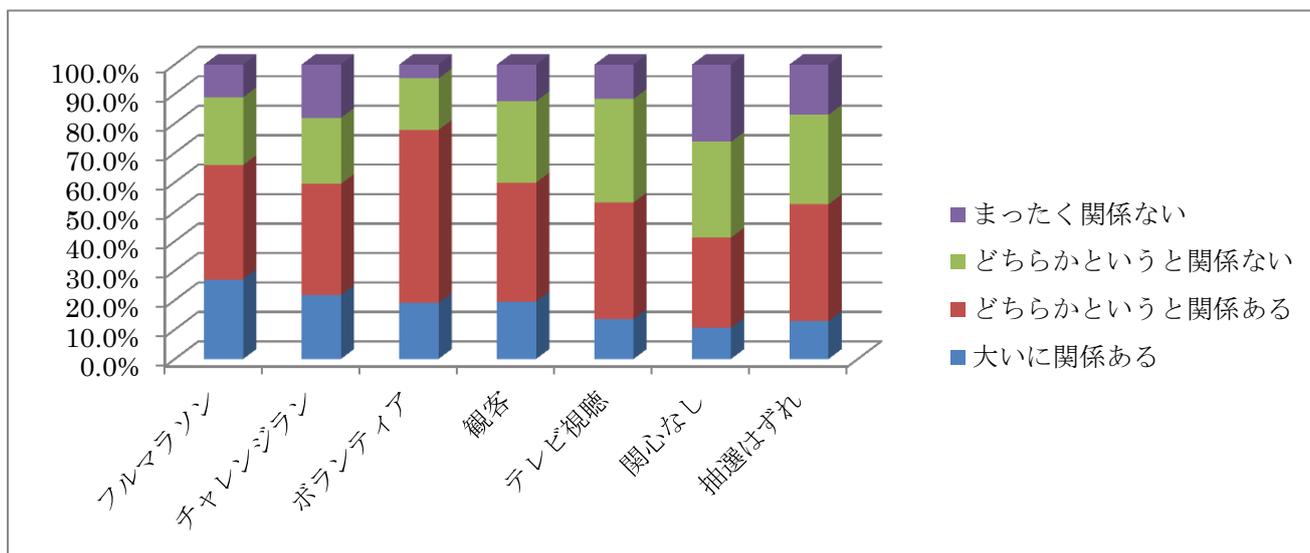
行ラベル	大いに関係あ る	どちらかとい うと関係ある	どちらかとい うと関係ない	まったく関係な い	総計
フルマラソン	32.4%	33.8%	22.9%	10.9%	100.0%
チャレンジラン	32.2%	36.4%	26.6%	4.9%	100.0%
ボランティア	50.8%	30.2%	14.3%	4.8%	100.0%
観客	41.7%	34.6%	15.4%	8.3%	100.0%
テレビ視聴	26.8%	36.6%	27.3%	9.3%	100.0%
関心なし	13.1%	25.2%	33.6%	28.1%	100.0%
抽選はずれ	17.6%	35.4%	31.6%	15.4%	100.0%
総計	26.6%	34.0%	26.4%	12.9%	100.0%



第1回大阪マラソンでボランティアや観客として参加した人は、第2回大阪マラソンにランナーとして参加する理由で「大阪を盛り上げたいから」という人が多い。これは、第1回大会に参加してみて、この大会が大阪を盛り上げることができると実感したからだと考えられる。

### ⑤ ボランティア等のサポート体制が充実しているから

行ラベル	大いに関係あ る	どちらかとい うと関係ある	どちらかとい うと関係ない	まったく関係な い	総計
フルマラソン	27.0%	38.8%	23.0%	11.1%	100.0%
チャレンジラン	21.7%	37.8%	22.4%	18.2%	100.0%
ボランティア	19.0%	58.7%	17.5%	4.8%	100.0%
観客	19.5%	40.4%	27.6%	12.5%	100.0%
テレビ視聴	13.5%	39.6%	35.2%	11.7%	100.0%
関心なし	10.6%	30.7%	32.5%	26.3%	100.0%
抽選はずれ	12.8%	39.7%	30.4%	17.1%	100.0%
総計	18.0%	38.6%	28.9%	14.5%	100.0%

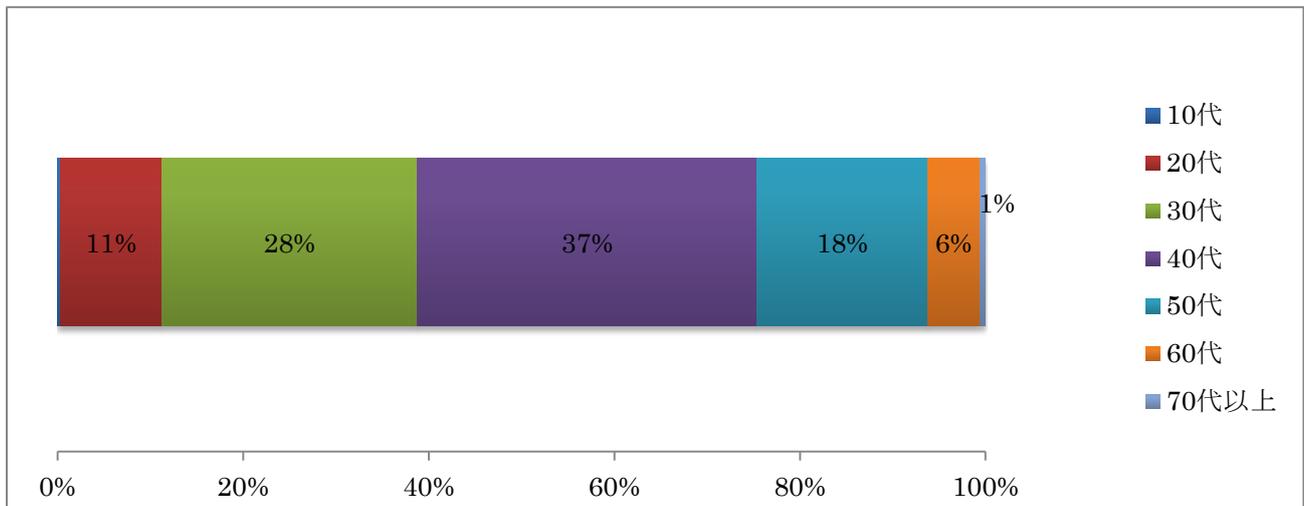


第1回大阪マラソンでフルマラソンのランナーとボランティアとして参加した人は、第2回大阪マラソンにランナーとして参加する理由で「ボランティア等のサポート体制が充実しているから」という人が多い。これは、ランナーとして走ることによってボランティアの支えの必要性を感じていたり、自分がボランティアをしてみて実際にサポートを体験しているからである。

## 2) 大会後調査

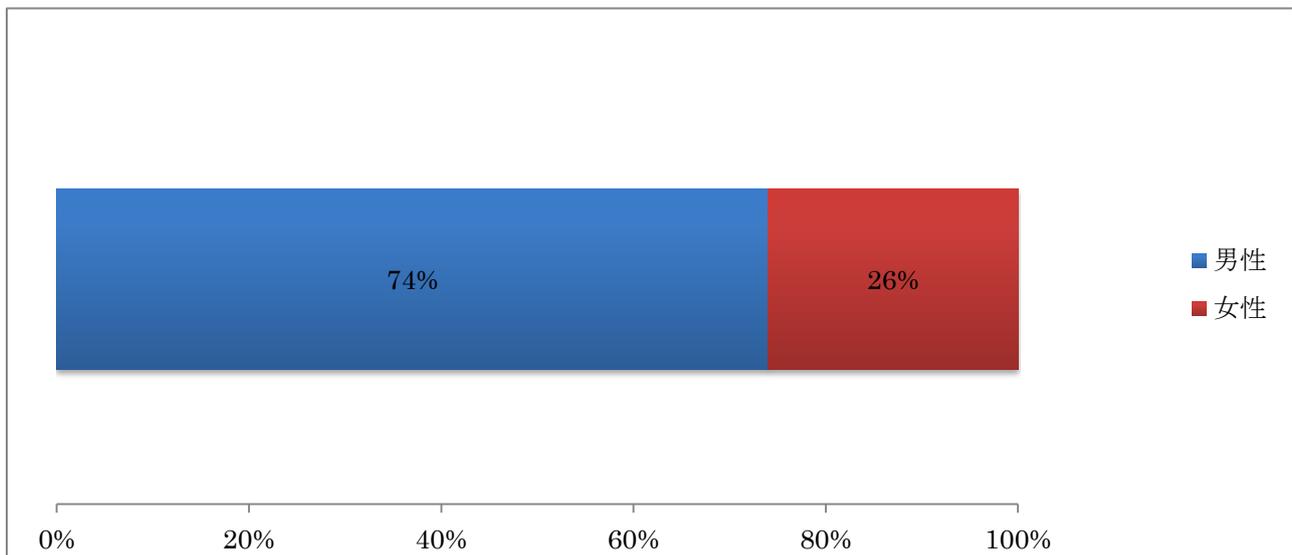
### (1) 調査対象の概要 (有効回答者数 : 7894)

#### ①年代



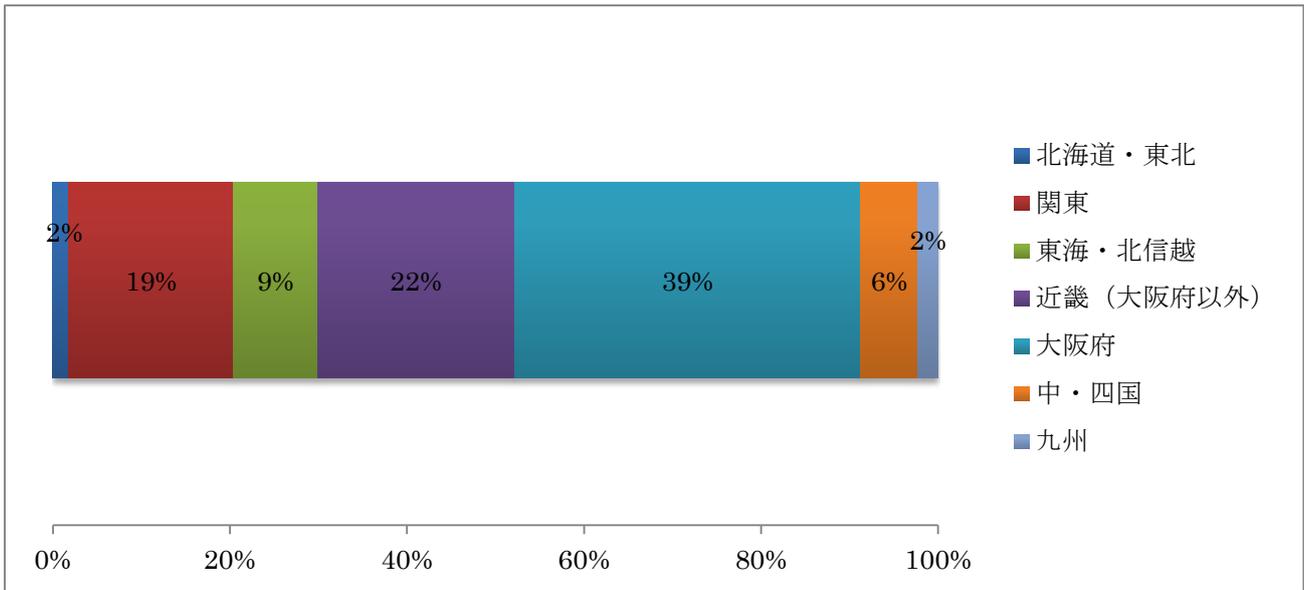
今回、大会後の調査に協力していただいたランナーは40代が37%（大会前38%）で最も多く、次に30代が28%（大会前25%）、50代は18%（大会前21%）となっている。これは、参加ランナーの年齢層とほぼ一致しているし、大会前の調査の年代別の割合とほぼ一致している。ちなみに、第1回大阪マラソンの調査を比較してもほぼ一緒であった。

#### ②性別



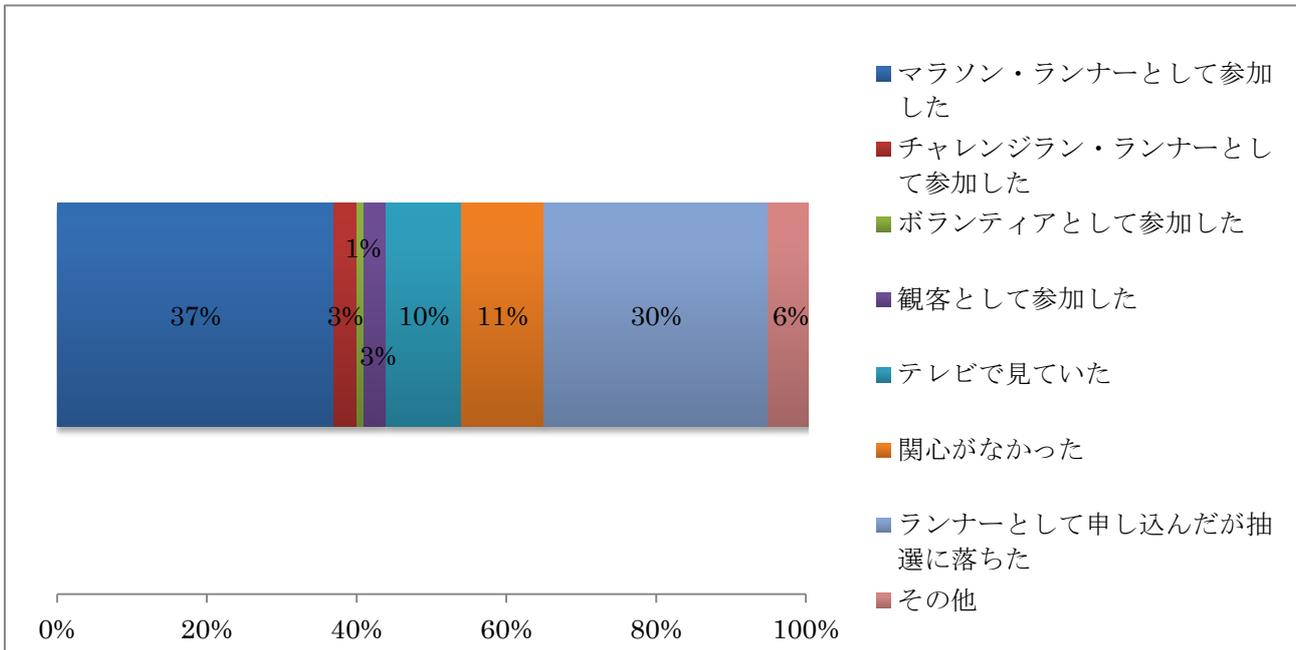
また、性別では、男性が74%、女性が26%と参加ランナーの性別割合とほぼ一致していて、大会前調査と同様に、母集団を代表するサンプルとなっており、この調査の信頼性は担保されているといえる。

### ③居住地



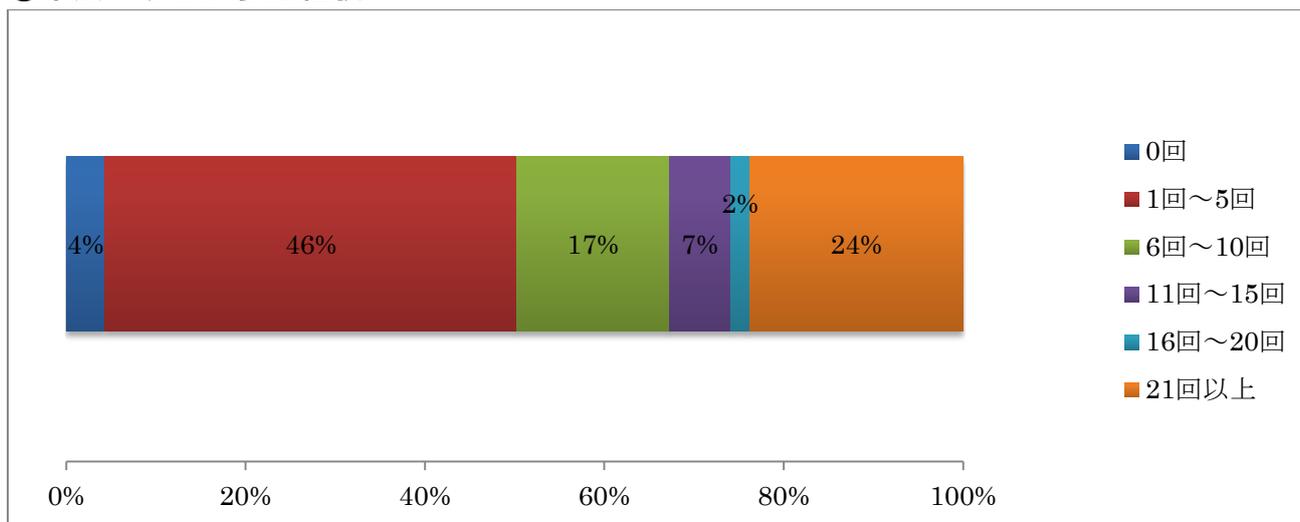
参加したランナーの居住地を尋ねたところ、大阪府の39%を含めると、近畿圏で6割を占めた。このデータは参加ランナー全体の地域別参加割合とほぼ一致している。ちなみに、第1回大阪マラソンの調査では、近畿圏からのランナーは52.7%だったので、近畿圏からのランナーが1割近く増加した。

### ④第1回大阪マラソンへの参加



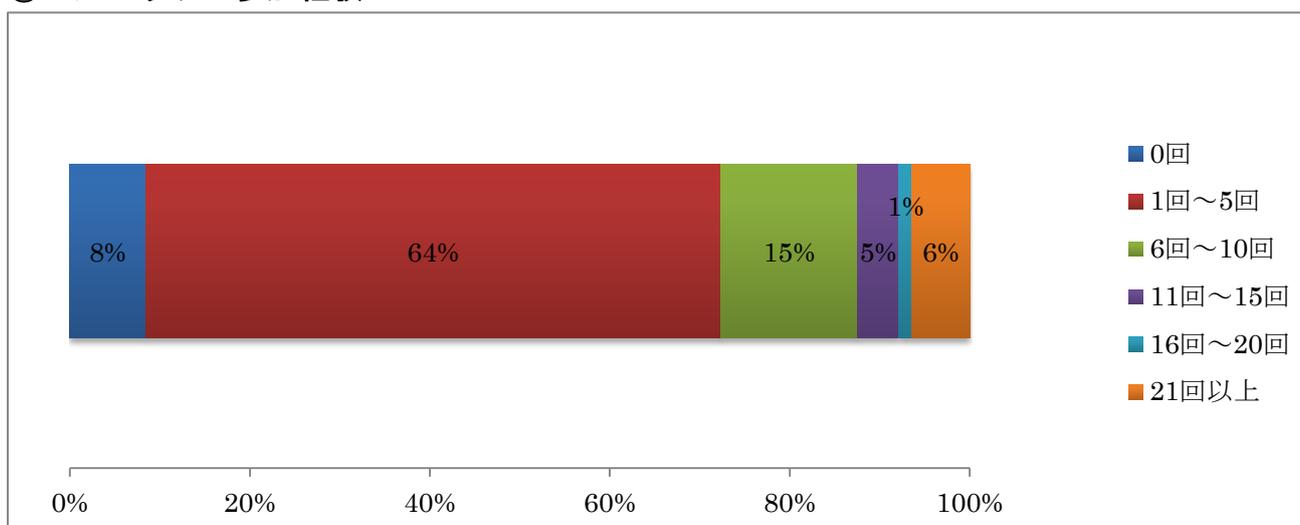
第1回大阪マラソンの参加者が37%と最多であり、リピーター率は高いといえる。次にランナーとして申し込んだが落選した人が30%おり、ランナー志向が強いと言える。また、観客として参加した人が3%、ボランティアとして参加した人が1%あり、大阪マラソンに関わることで、自分もランナーとして走ってみたいと考えられる。

## ⑤市民マラソン参加経験



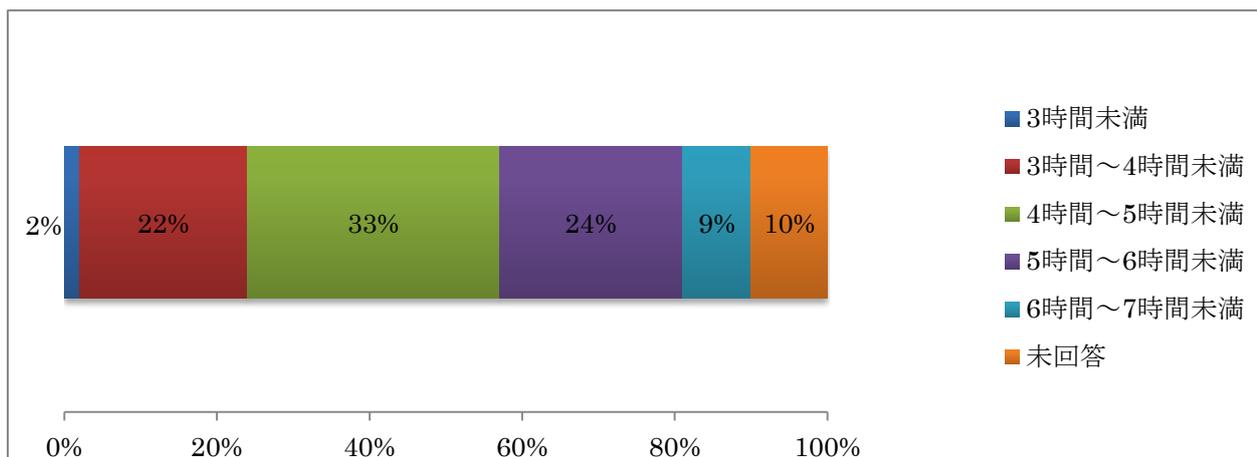
これまでの市民マラソンへの参加経験では、大阪マラソンが初めての参加となる人が、4%（第1回調査は19%）で、1回から5回は46%（第1回調査27%）となっており、第1回大阪マラソンで市民マラソンにデビューした人のリピーターがこのような結果となったと考えられる。6回以上の割合は、第1回調査とほとんど変わりがなかった。

## ⑥フルマラソン参加経験



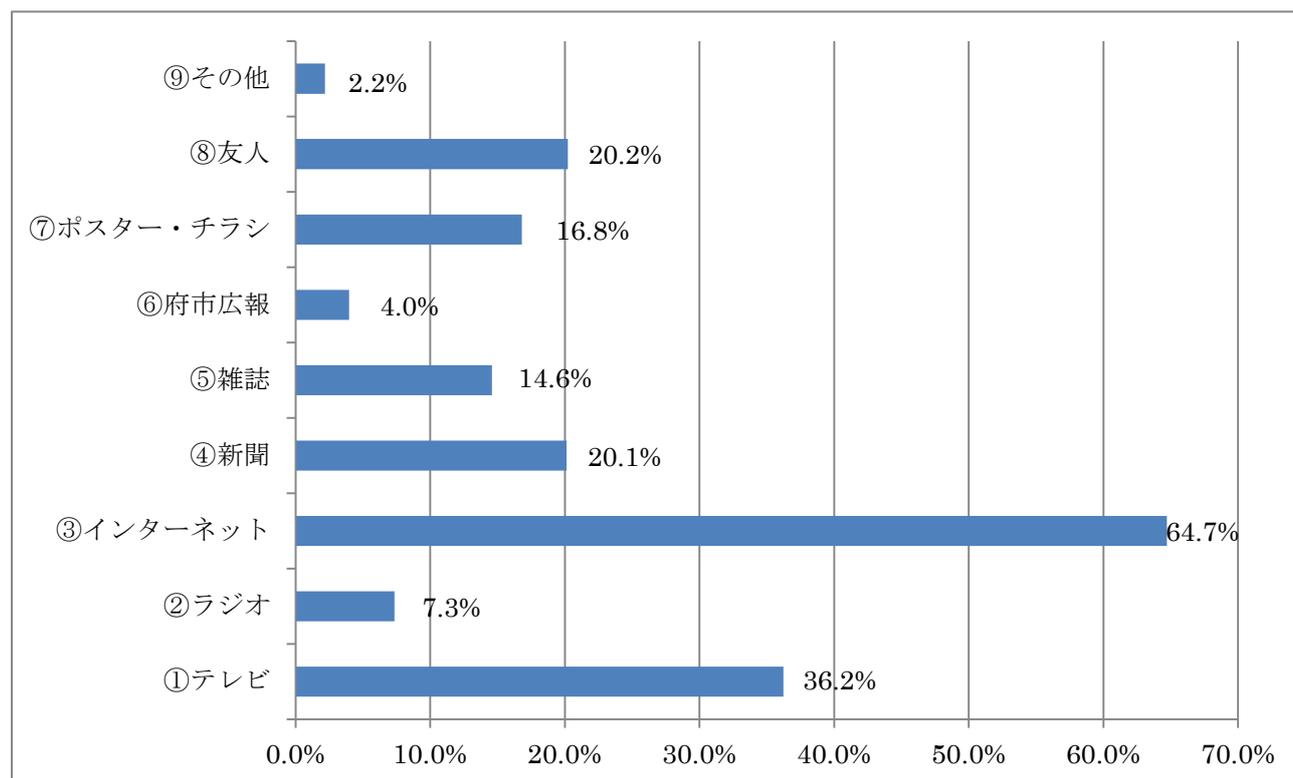
フルマラソンに初めて挑戦する人は8%（第1回調査26%）、1回から5回の経験者は64%（第1回調査44%）で、これについても、第1回大阪マラソンでフルマラソンに挑戦した人がリピーターとして走った結果であると考えられる。6回以上の割合は、第1回とほとんど変わりがなかった。

## ⑦完走タイム



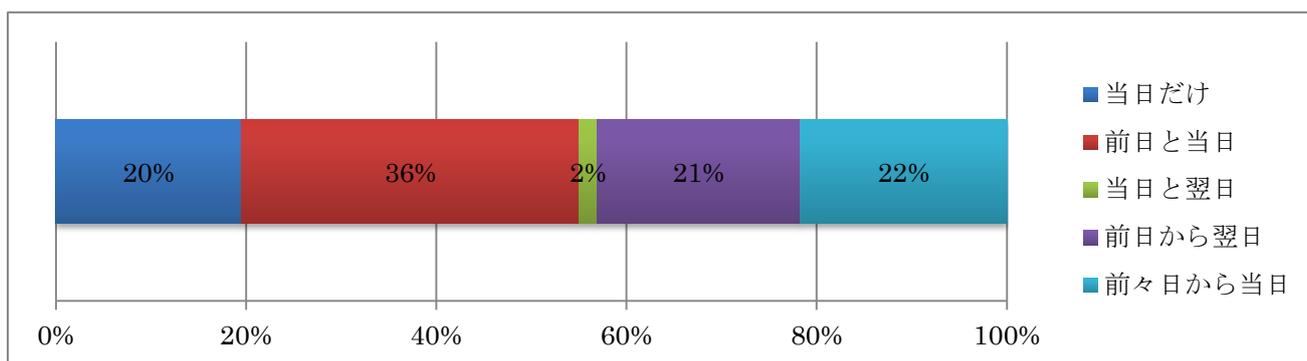
完走タイムは、4時間から5時間未満が33%（第1回調査35%）で最も多く、5時間から6時間未満が24%（第1回調査24%）で次に多く、3時間から4時間未満は22%（第1回調査19%）と、第1回の大阪マラソンとほとんどその割合は変わっていない。前述のマラソン経験からすると、妥当な完走タイムとなっている。

## ⑧大阪マラソンの認知



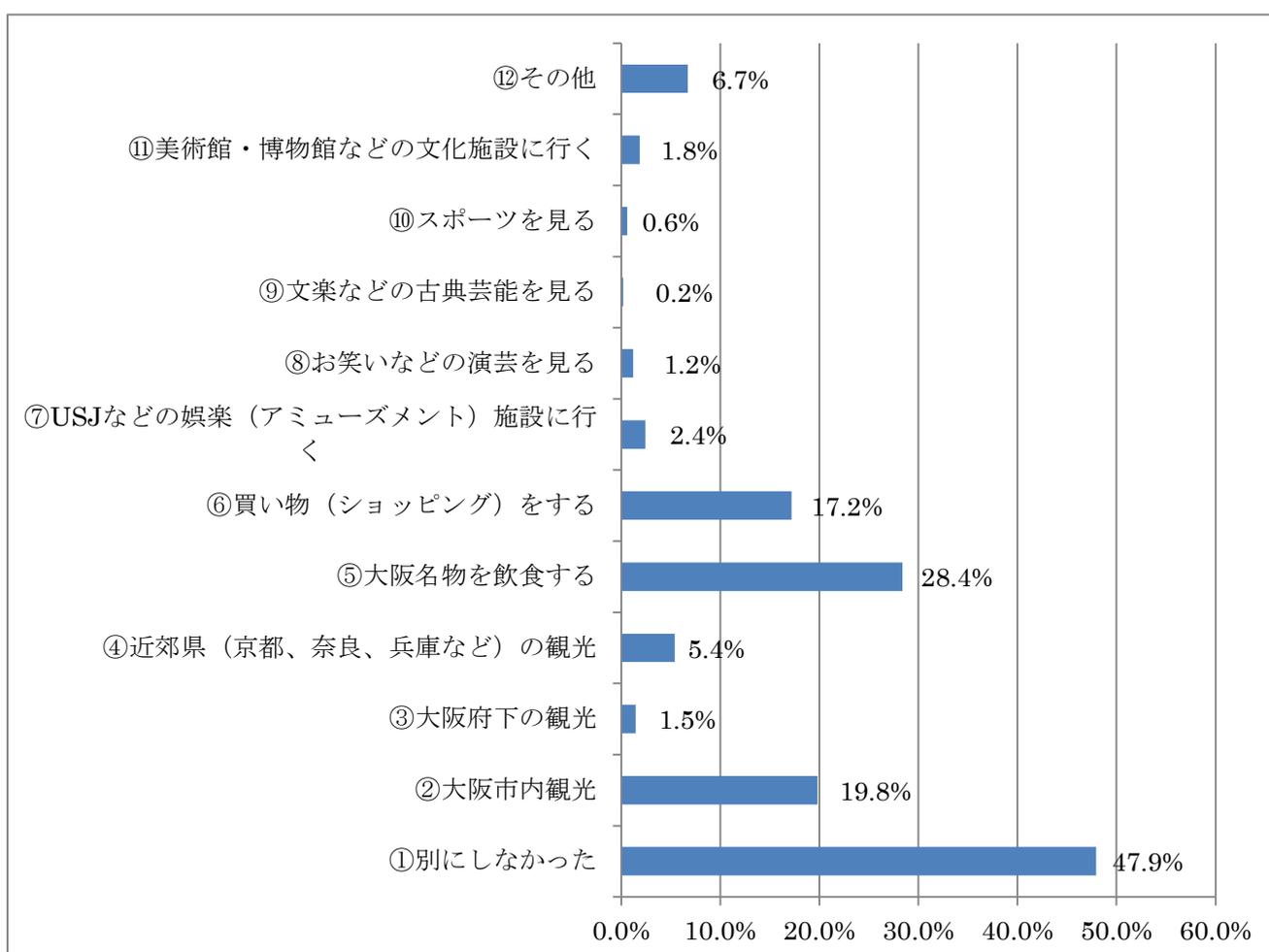
大阪マラソンをどのように知ったかでは、65%の人がインターネットと答えている。次にテレビの36%、新聞の20%、雑誌の15%で、大会前調査と同様に、メディアではインターネットの活用が際立っている。また、友人からの情報、いわゆる口コミによる情報入手が20%あることは特筆すべきことである。

### ⑨大阪での滞在形態（大阪在住の人を除く）



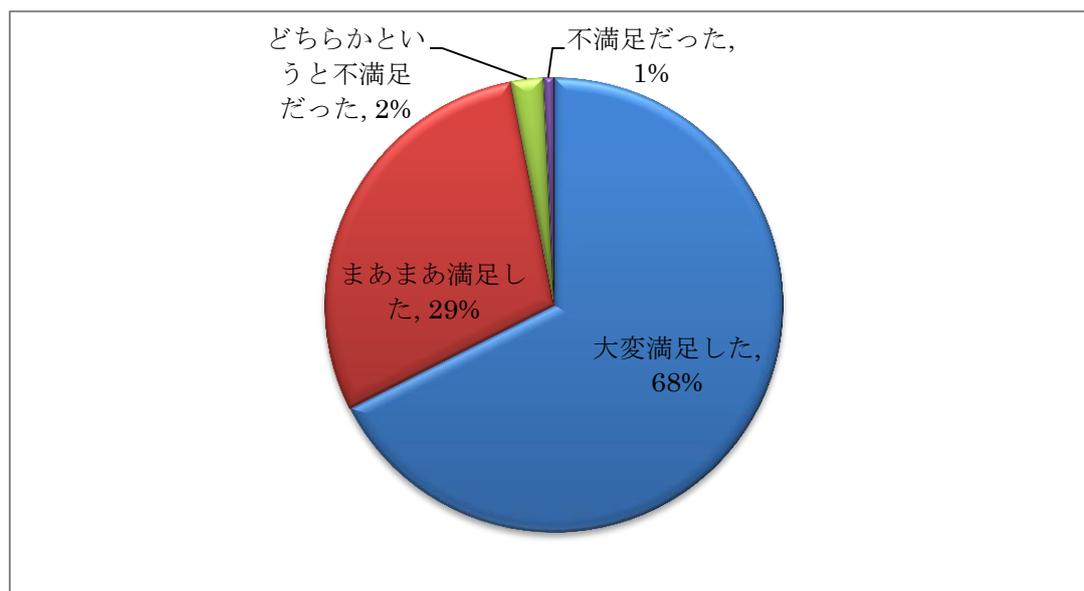
大阪在住の人を除き、大阪での滞在について聞いてみたところ、36%の人が前日と当日で最も多い。3連休であったことで前々日から当日が22%、前日から翌日が21%と2泊3日で滞在していた。

### ⑩大阪マラソン以外の活動



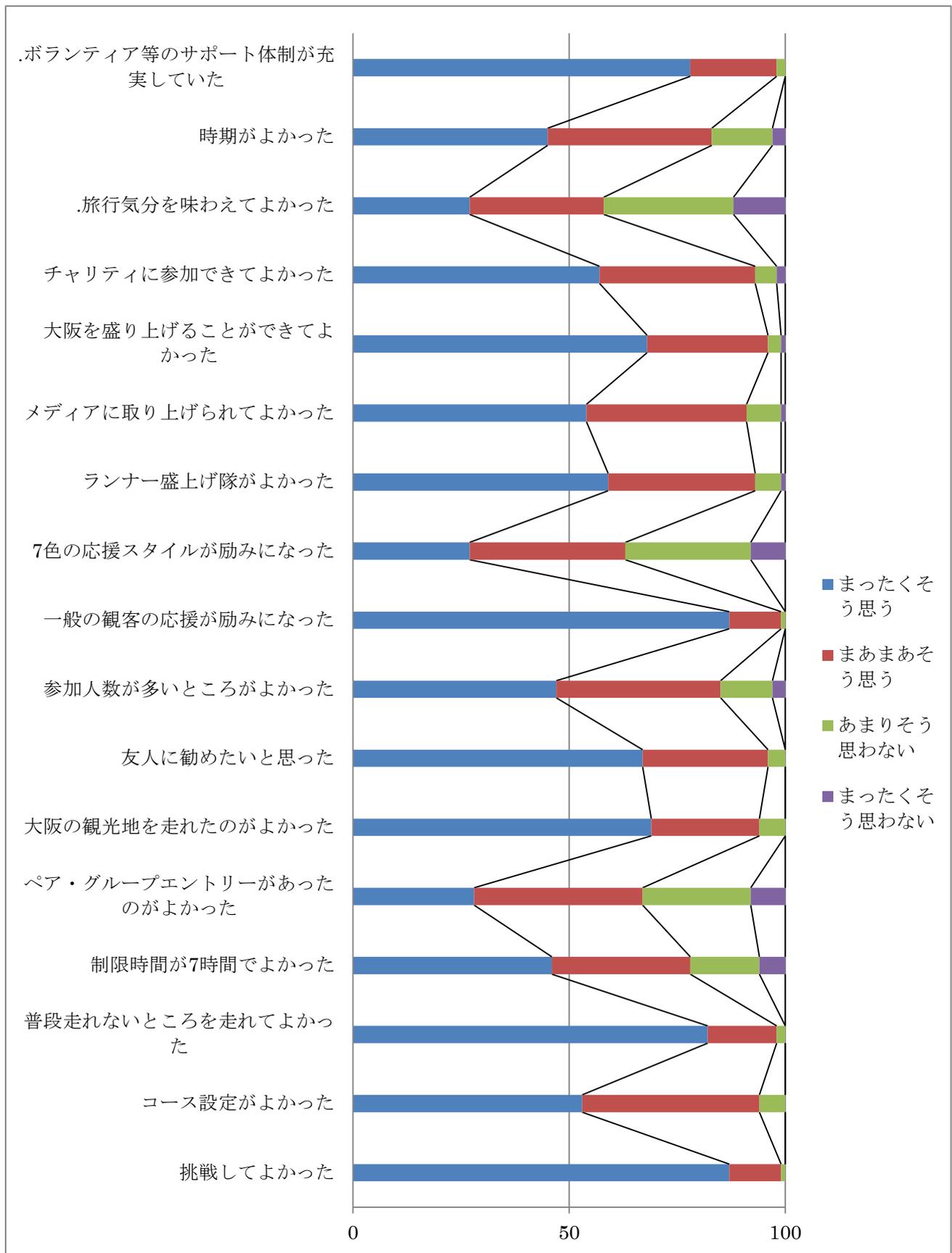
マラソン以外で大阪でどのような活動をしたかを聞いたところ、大阪名物を飲食したという人が28%でグルメ志向である。つぎに、20%の人が大阪市内観光しており、スポーツツーリズムの一端を垣間見ることができる。さらに、買い物（ショッピング）をしたという人も17%あり、大阪マラソンによる経済効果が見込まれる。この傾向は大会前の調査と変わらない。

## ⑪大会満足度



大阪マラソンに参加してみたの満足度を聞いてみた。68%の人が「大変満足した」と答えており、「まあまあ満足した」の29%を合わせると97%の人が満足であると答えており、大阪マラソンが高く評価されているといえる。また、第1回調査でも97%の人が満足であると答えており、二回の大阪マラソンを通して、満足度の高いマラソンであるといえよう。

## (2) 大阪マラソン大会評価



	まったく そう思う	まあまあ そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない
ボランティア等のサポート体制が充実していた	78	20	2	0
時期がよかった	45	38	14	3
旅行気分を味わえてよかった	27	31	30	12
チャリティに参加できてよかった	57	36	5	2
大阪を盛り上げることができてよかった	68	28	3	1
メディアに取り上げられてよかった	54	37	8	1
ランナー盛り上げた隊がよかった	59	34	6	1
7色の応援スタイルが励みになった	27	36	29	8
一般の観客の応援が励みになった	87	12	1	0
参加人数が多いところがよかった	47	38	12	3
友人に勧めたいと思った	67	29	4	0
大阪の観光地を走れたのがよかった	69	25	6	0
ペア・グループエントリーがあったのがよかった	28	39	25	8
制限時間が7時間でよかった	46	32	16	6
普段走れないところを走れてよかった	82	16	2	0
コース設定が良かった	53	41	6	0
挑戦してよかった	87	12	1	0

上記の大会満足度の内容について見るために、参加ランナーに第2回大阪マラソンについて大会評価をしてもらった。

参加理由が多かった「挑戦して良かった」は、「まったくそう思う」(87%)、「まあまあそう思う」(12%)を合わせると、99%の人が挑戦したことに満足している。また、「普段走れないところを走れてよかった」では「まったくそう思う」(82%)、「まあまあそう思う」(16%)を合わせると、98%の人が普段走れなかった道路を走ることに満足を覚えていた。第1回調査でも98%と、高い評価を得ている。ただ、「大阪の観光地を走れてよかった」では、「まったくそう思う」(69%)、「まあまあそう思う」(25%)を合わせると、94%の人が満足しており、第1回調査でも91%の人が満足している。したがって、参加の理由で挙げられた「挑戦」「非日常性」「観光」の上位の三つの要素に対して、高い満足度を示したといえる。

「一般の観客の応援が励みになった」では、「まったくそう思う」(87%)、「まあまあそう思う」(12%)

を合わせると、99%の人が観客の応援に支えられて走ったと感じている。第1回調査でも、99%の人が観客の応援を嬉しかったと答えている。同時に、「ランナー盛り上げ隊がよかった」と答えた人も93%あり、大阪マラソンにおける観客の重要性を感じさせるデータである。ただ、7色の応戦スタイルが励みになったと思っている人は63%にとどまっており、応援スタイルに課題を残した。さらに、「ボランティア等のサポート体制が充実していた」も、「まったくそう思う」(78%)、「まあまあそう思う」(20%)を合わせると98%の人が高く評価しており、第1回調査でも98%の人がボランティア活動に対して高く評価しており、満足しているといえる。これらランナーを支える観客とボランティアとの一体感に満足度が高い。このことは自由記述においても多く述べられており、ランナーと観客とボランティアが一体となって大阪マラソンを創り上げていると言えよう。

「大阪を盛り上げることができた」とする人は、「まったくそう思う」(68%)、「まあまあそう思う」(29%)を合わせて97% (大会前61%)と多く、第1回調査でも95%であり、大阪マラソンをひとつのお祭りとして、みんなで盛り上げようとする姿勢がみられる。

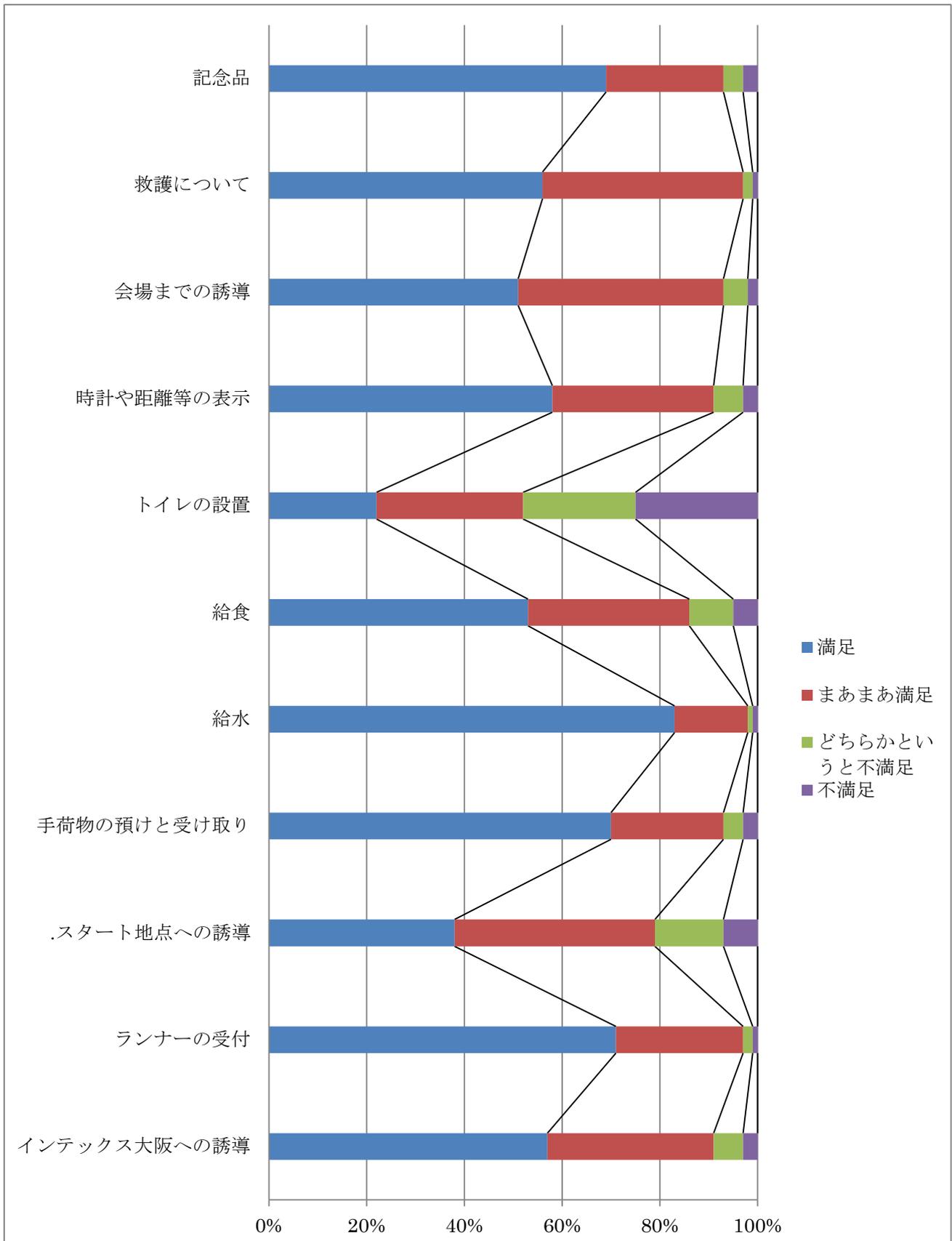
また、「友人に勧めたいと思った」では、「まったくそう思う」(67%)「まあまあそう思う」(29%)を合わせて96%となっており、大会満足度が高いから友人に勧めたいと思うわけである。

「チャリティに参加できてよかった」とする人は、「まったくそう思う」(57%)、「まあまあそう思う」(36%)を合わせると、93%の人がチャリティについて積極的に参加することで、満足を得ているといえる。

参加の理由ではあまり高くなかった「制限時間が7時間でよかった」は78%の人が支持しており、走ってみて初めてわかる要因である。同じように「ペア・グループエントリーがあつてよかった」も、67%の人が支持しており、実際走ってペアやグループで参加している人を見て、その良さを感じたと思われる。

「旅行気分を味わえてよかった」とする人は58%で、第1回調査では47%なので少しは改善されたようである。ただ、近県からきている人にとっては、旅行気分を味わうまでには至っていないと思われる。

### (3) 大会運営について



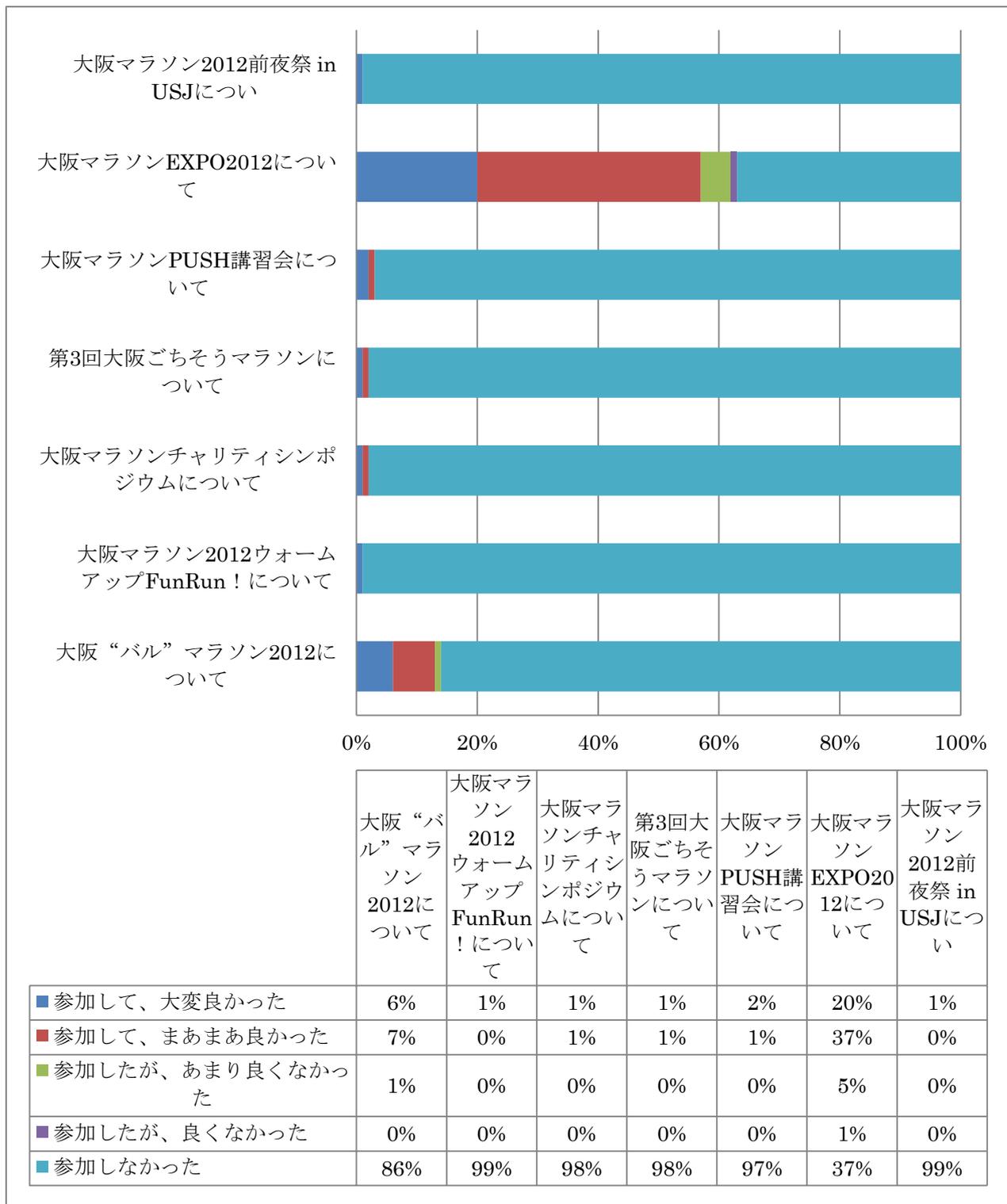
	満足	まあまあそ う満足	どちらかと いうと不満 足	不満足
記念品	69	24	4	3
救護について	56	41	2	1
会場までの誘導	51	42	5	2
時計や距離等の表示	58	33	6	3
トイレの設置	22	30	23	25
給食	53	33	9	5
給水	83	15	1	1
手荷物の預けと受け取り	70	23	4	3
スタート地点への誘導	38	41	14	7
ランナーの受付	71	26	2	1
インテックス大阪への誘導	57	34	6	3

大会運営についてランナーにその評価を聞いてみた。

「給水」については、「満足」(83%)、「まあまあ満足」(15%)を合わせると、98%の人がおおむね満足している。また、「ランナーの受付」では、「満足」(71%)、「まあまあ満足」(26%)を合わせると、97%の人が満足している。これらは、ボランティアが対応しているものであり、その対応の良さが、この満足度を上げているものと考えられる。救護についても 98%の人が満足しており、ランナーが走るうえでのサポートの良さがうかがえる。

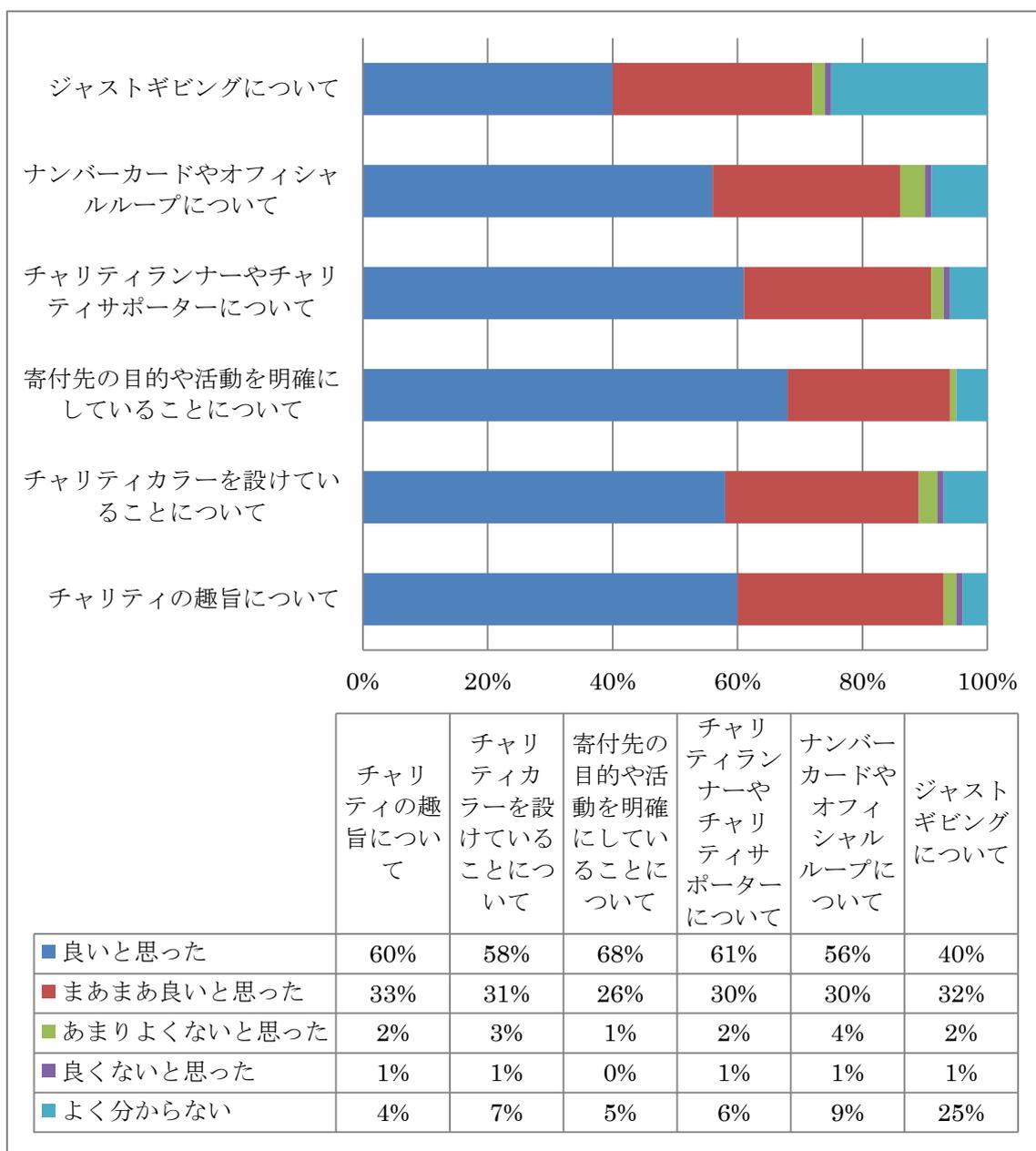
一方、課題が残るのは、「トイレの設置」であり、48%の人が不満足であると答えている。また、誘導では、「インテックス大阪への誘導」は 9%、「会場までの誘導」は 7%と不満を持つ人は少ないが、「スタート地点への誘導」については 21%の人が不満足であると答えている。これら、ランナーへのサービスの改善が求められると言えよう。

#### (4) イベントや関連取り組みについて



「大阪マラソン EXPO2012」は参加して良かったという人が 57%となっており、参加した人は満足している。また、「大阪”バル”マラソン 2012」も参加した 13%の人は良かったと答えている。その他のイベントについては、ほとんど参加しなかったため、評価できない状況である。

## (5) チャリティについて



「ジャストギビングを使ってチャリティに参加できる」ことについては、25%のランナーが「よく分からない」と答えており、大会前と変わらない。「ナンバーカードやオフィシャルループを身に着けて走ること」については86%のランナーが良いとしている。また、「チャリティランナーやチャリティサポーターを置くこと」についても91%のランナーが支持している。また、「寄付先の目的や活動を明確にしていること」は94%（第1回調査85%）、「チャリティカラーを設けていること」は89%（第1回調査68%）、「チャリティの趣旨について」は93%（第1回調査46%）のランナーがよいとしており、第1回調査より積極的に評価をしている。

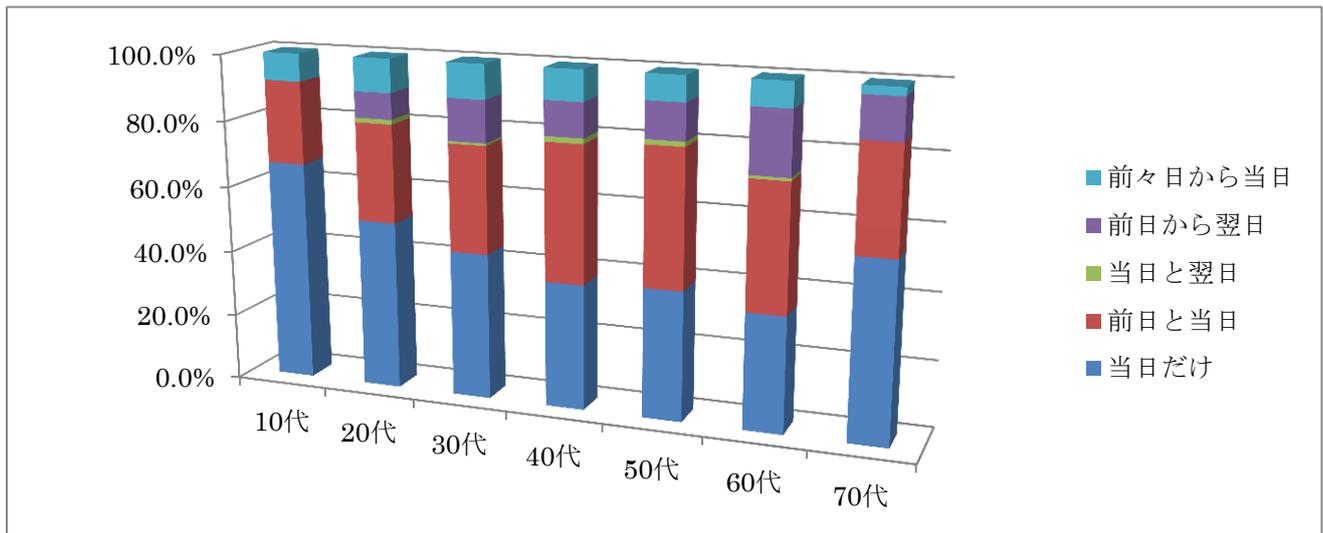
## ＜大会後のチャリティに関するランナーの自由記述（抜粋）＞

- インテックス大阪でチャリティイベントをして、タレント等を使ってオークションなどを催して募金を募ったほうがいいと思う。
- チャリティの輪を広げるのであれば、広場に応援者も参加できるチャリティバザーのようなコーナーを設けたらいかがでしょうか。
- 自分が参加したチャリティの色は紺色でした。が、前日に受付で紺色の腕のリングが品切れでないとわれ、紫のリングを渡された。参加してもいないチャリティの色を渡されても嬉しくもなんともなく、リングをつけずに走った。
- 沿道の人にもチャリティカラーを持つという話だったが、ランナーにはあまり分からなかった。
- お金を集めるチャリティだけでなく、ほかのこともやってみては。（例えば、ほかのマラソン大会でもらったけど着ない新品のTシャツをランナーから集め、途上国の子供たちに贈る、とか。）
- 応援する人たちも募金できるように募金箱など設置しては。
- 自分の選んだチャリティカラーのウェアで走ることで、一層気持ちが盛り上がりました。いっそ、顔や手足に貼れるチャリティーペイントシールなどがあってもよかったかなと思いました。
- いろんな有名人と同じ大会を走れるのは光栄ですが、本人にも、御付きの方にも、ランナーとしてマナーは守っていただきたいです。
- チャリティランナーは具体的にどのようにチャリティに関わっているのかという点が見えにくかった。それよりも Expo の時にでもチャリティがこのような活動に役立ったということを大きく見せて欲しい。
- チャリティで集まった金額（それぞれの用途に対し集まった金額も）、今後の実際の用途を後日、公表してもらえると来年また参加したいなーという気持ちも大きくなることと思います。
- チャリティが身近に感じられるようになりました。大阪マラソン以外にもチャリティに参加しようと思いました。
- 走らない人へのアピールももっとして、応援とランナーが一体感を持ってチャリティに参加している誇りを持てるように盛り上げてほしい。
- 私は、4年前に母を癌で亡くしました。今回のチャリティカラーは赤でした。何故か不思議と、リストバンド？をしている事で母と一緒にフルマラソンを走れているような気持ちになれました。今後も、是非継続していただきたいです。
- 芸能人の参加とチャリティについては、取り上げられた番組では一切その発言がなかったので、チャリティの意識は全く感じられないと思った。

(6) クロス分析 (ランナー大会後)

①滞在期間と年代

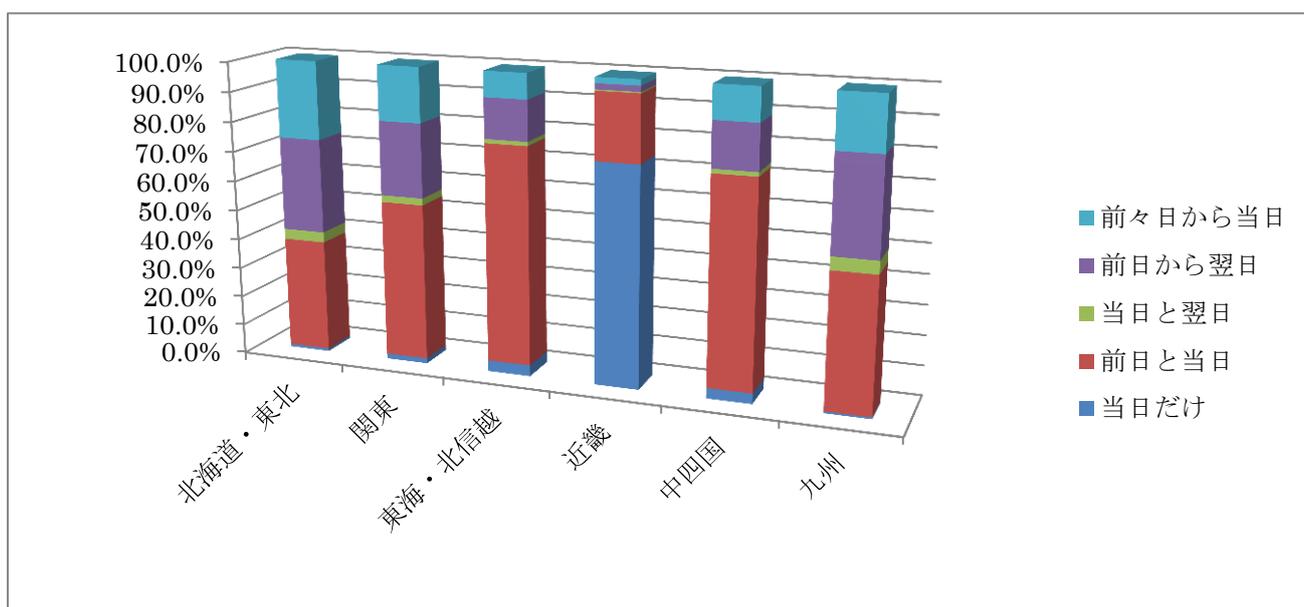
	当日だけ	前日と当日	当日と翌日	前日から翌日	前々日から当日	総計
10代	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%
20代	51.0%	29.7%	1.4%	7.8%	10.1%	100.0%
30代	44.1%	32.3%	0.7%	12.5%	10.3%	100.0%
40代	37.8%	41.2%	1.6%	10.3%	9.2%	100.0%
50代	38.9%	41.3%	1.5%	10.8%	7.5%	100.0%
60代	34.7%	38.0%	0.9%	18.9%	7.5%	100.0%
70代	53.7%	31.7%	0.0%	12.2%	2.4%	100.0%
総計	41.0%	37.3%	1.3%	11.3%	9.1%	100.0%



今回、大阪に滞在した人を年代別でみてみた。70代を除いて、年齢が上がるとともに当日だけという人は減少する。2泊3日の滞在では、前日から翌日というパターンでは、60代が最も多い。これは、退職していて比較的時間に余裕があるからであろう。また、前々日から当日というパターンでは、20代、30代が多いという結果であった。これは、スポーツツーリズムの表れであろう。

## ②滞在期間と地域（大阪府を除く）

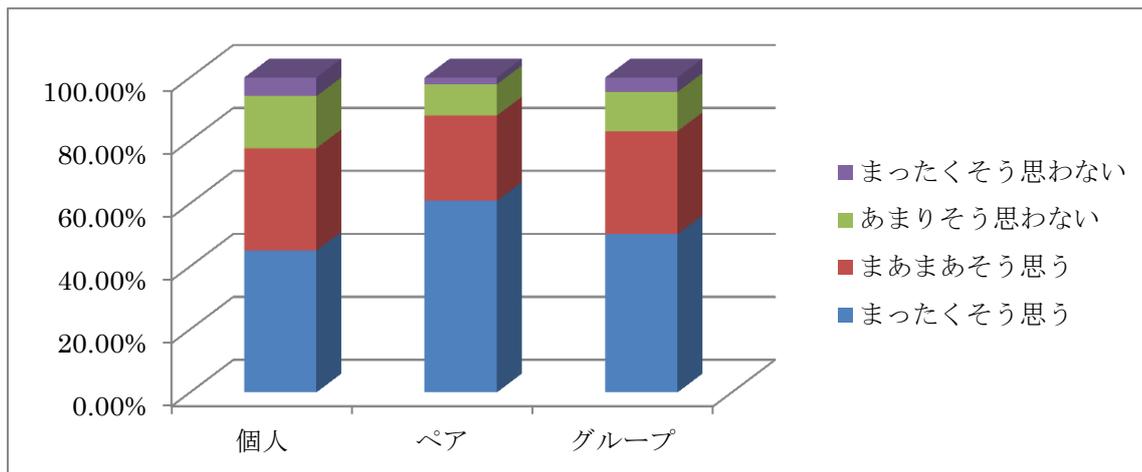
	当日だけ	前日と当日	当日と翌日	前日から翌日	前々日から当日	総計
北海道・東北	0.9%	37.7%	3.5%	31.6%	26.3%	100.0%
関東	1.7%	52.7%	2.3%	24.8%	18.4%	100.0%
東海・北信越	3.7%	73.0%	1.4%	13.4%	8.4%	100.0%
近畿	73.6%	22.1%	0.4%	1.9%	2.0%	100.0%
中四国	3.5%	69.1%	1.4%	15.0%	11.1%	100.0%
九州	0.6%	45.1%	4.3%	32.1%	17.9%	100.0%
総計	28.8%	45.8%	1.5%	13.8%	10.1%	100.0%



今回、大阪に滞在した人を地域別（大阪府を除く）に見てみた。当然のことであるが、近畿圏の人は当日だけの日帰りが多かった。前日と当日の1泊2日は東海・北信越と中四国が多く、前々日から当日、前日から翌日の2泊3日は北海道・東北、関東、九州で多い。つまり、遠方になるほど、長く滞在する傾向があるといえる。

### ③参加単位と大会評価

	まったくそう 思う	まあまあそう 思う	あまりそう思 わない	まったくそう 思わない	総計
個人	45.00%	32.52%	16.54%	5.94%	100.00%
ペア	60.82%	27.10%	9.94%	2.14%	100.00%
グループ	50.31%	32.64%	12.47%	4.57%	100.00%
<b>総計</b>	<b>46.35%</b>	<b>32.18%</b>	<b>15.86%</b>	<b>5.61%</b>	<b>100.00%</b>



大会の評価で「制限時間が7時間でよかった」と答えた人が、その参加単位で違うのかどうかをみてみた。ペアで参加した人あるいはグループ参加の人は、個人参加の人に比べてこの制限時間についてよかったとしている人が多い。ペアやグループ参加は、相手のペース、仲間のペースと一緒に走り、一緒にゴールするということが目的なので、遅い人のペースに合わせることになり、この制限時間に対してよかった評価しているのであろう。

(7)第2回大阪マラソン大会後ランナー自由記述

回答数 7,894 人(うち自由意見記述あり 4,242 人から抜粋)

年代	性別	地域	参加後の感想・大会運営に関してのご意見
30代	男性	北海道	とにかく応援がすごかった。とても気持ちよく走ることができました。チャリティも、普段思ってもなかなかできないのでこのような機会があってもよかったです。大阪ということで、北海道から行くには何かきっかけが必要で、そういう意味でもマラソンだけでなく観光も一緒にできてよかったです。毎年申し込みしたいと思わせる大会でした。ありがとうございました。
30代	女性	滋賀県	ボランティアの人達がとても暖かく応援してくれてよかった。一人で参加したので尚更です。エントリー会場のイベントも楽しめました。
30代	男性	大阪府	「参加費1万円」は参加する前は高い！と感じたが、実際に走り終えて、十分1万円以上の価値はありました。ボランティアの充実したサポート体制、沿道の応援。数々のマラソン大会を経験してきましたが、1番良かったです。是非来年も参加したいと思いますし、是非マラソン未経験の方にも参加して欲しいと思う、また勧めたい大会です。
40代	女性	鹿児島県	紅葉に青い空。全てにおいて、満足でした。何よりも、沿道の鳴りやまない声援！何ともいえないパワーになります。goalした達成感もありますが、あの声援が聞きたくてふれあいたくて、走ってます。私、来年も…行きます、大阪マラソンに。連続参加目指します！
30代	男性	東京都	素晴らしい大会だと思います。ボランティアの方や沿道で応援してくださった方に感謝しています。途中苦しい箇所があったのですが、沿道の方に「このペースなら4時間切れる！」と応援いただいて、不思議とチカラが出ました。おかげでサブ4達成できました。
30代	男性	東京都	思い出に残るすばらしい大会でした。フィニッシャーメダル&タオルをボランティアの方から頂いた瞬間に感動が駆け巡りました。
40代	男性	大阪府	37キロ地点の上り坂で、音楽(ウルフルズのガッツだぜ)が流れてあり非常に励みになった。しんどい地点で、元気になるような曲を流すのも良いと思う。昨年は41キロ付近で女子高校生がZARDの「負けないで」を熱唱しており非常に頑張れた。39キロ以降の埋立地には応援のギャラリーも少ないのでぜひ音楽を流して欲しい。
40代	男性	千葉県	4年前、東京マラソンを走った際、トイレ渋滞に大変閉口しました。1回あたり10分以上の待ち時間はあたり前状態。大阪はほぼ1キロおきに設置されており、かつ、一列行列待ちが徹底されており、とてもスムーズで感心しました。
50代	男性	東京都	こんなに盛り上がる楽しい大会は他にはないですね！マラソンをただ走るだけではなく自分の力以上のものが出るような声援、応援をしてくれます。皆が大会に参加していると言う一体感の気持ちが伝わってきます。帰宅後は皆に生き生きしていると言われた程です。仕事等にも大変プラスになりました。そして楽しい大阪の思い出ができました。ますます大阪が好きになりました。皆さん！

			本当にありがとうございました。そしてごくろうさまでした。来年も絶対に行きたいです。
30代	女性	大阪府	ボランティアのみなさん、本当にありがとうございました、苦しい時、みなさんの応援が大変力になりました。御堂筋通りなどの横断が出来ない時、地下道をみなさん歩かれたそうですが、ボランティアの方がお年寄りなどの自転車を担いで地下階段を上り下りするお手伝いされたとのこと、あとで聞いて本当に感動しました。大阪は熱いです。ありがとうございました。
20代	女性	大阪府	ボランティアの優しさがすごく伝わってきた大会だった。前日の expo や大会会場でも、ただ事務的な作業をこなすだけでなく、「頑張ってください!」、「完走おめでとうございます!」など、何か元気の出る一言をかけてくれる笑顔の人が多く、すごく嬉しかった。沿道でハイタッチしてくれたボランティアスタッフのグループにはすごく元気を貰った。また、ゴールした後に沿道付近にいたら、ある沿道のボランティアスタッフが、ランナー全員に向けて何十分もずっと拍手して応援しているのを見たら、感謝の気持ちでいっぱいになった。ボランティアスタッフ全員の優しさ、温かさが嬉しくて、涙が出た。大会に来て良かったと思った。
20代	女性	兵庫県	もう走れないとあきらめかけた時に、「一番になるために走ってるんじゃない」という歌詞の歌声が聞こえてきてその瞬間から辛さが飛んで大変励みになりました。涙を流しながら足の痛みになんか辛くなっていると、ボランティアの方々や街の子供達が「頑張れー!もうちょっと!」と叫び声を上げてくれたのも大変心に染み、38km 地点で最終的に完走はできなかったですが良い経験と共に感動を味わえました。
30代	女性	大阪府	昨年度チャレンジランに参加して、沿道の応援を含め、雰囲気がとても楽しくて、次はフルマラソンを走りきりたい!と強く思いました。走るのはとても苦手で、大会の週に体調を崩し完走はあきらめていたのですが、コースの良さ・ボランティアの方々・沿道の声援など大会のすべてに支えられてつらくも楽しく完走することができました。これからも永く続く大会となることを切に願っています。ありがとうございました。
30代	男性	大阪府	何よりも一番よかったのは、辛い練習に耐えて、本番、完走でき、何物にも替えられない感動を得たことです。この感動をメディアは一生懸命伝えてくれました。これを見て自分もチャレンジしてみようと思った人は沢山いると思います。そういう人が増えれば、世の中何か変わるかもしれません。と思いました。
20代	女性	大阪府	結婚が決まっている彼氏に、完走できたら逆プロポーズしようと思っていて、言葉を考えながらずっと走ってました。20km 過ぎてから体が重くなって辛かったけど、たくさんの応援で最後まで走りきることができ、目標の6時間もきることができました!!ゴールした瞬間、電話ですが完走と気持ちを伝えることができたので良かったです。とてもいい1日でした!

20代	女性	大阪府	高校を卒業してから運動を何もやってなかったのでチャレンジランの8.8kmでさえ完走できるか不安でしたが、実際に大阪マラソンで走ると沿道からの応援が後押ししてくれて、いつもより早くたくさん走ることができました。そのおかげでめっちゃ楽しく満足した大阪マラソンになったので、これから1年間がんばって練習し、来年こそはフルマラソンに挑戦します！！
40代	女性	埼玉県	マラソンがあたってから6ヶ月間自分なりに練習してきました。健康に対しての意識も変わり目的ある楽しい時間を過ごさせていただきました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。ジョギングはこれから先趣味になりそうです。
50代	男性	静岡県	今年2月の東京マラソンと今回の大阪マラソンに参加させていただきました。コース設定と時期は大阪が上回っています。景色がよく5キロを走るときに気分転換できます。応援は東京が断然人も多く元気に感じました。給水は東京も大阪も差はありませんが、30キロ過ぎの大阪の給食には感激しました。
40代	男性	滋賀県	ボランティアスタッフの情熱が心に響く、本当に良い大会。体調悪く平凡な結果に終わったけれど、振り返ってみればとても楽しい1日となったのは、ひとえに運営の素晴らしさや、大阪の街の人達の歓迎ムードが伝わり、とても居心地が良かったからです。本当にどうもありがとうございましたと言いたいです。
40代	女性	東京都	ボランティアの人たちがとびきり明るいのが印象的でした。東京マラソンと比べるとどうしても規模の差で劣って見えがちですが、チャリティーシステムなど独自のやり方も取り入れられていて、良かったと思います。とても楽しい大会でした。
20代	女性	千葉県	初めて参加しましたが、大満足の内容でした。正直言って、東京マラソンより大阪マラソンの方が好きになりました^^!!!実は大阪自体、初めての地だったのですが大阪の人の面白さ、風土の良さすべてが大好きになりました。またマラソン以外でも、来ます!!
30代	男性	兵庫県	インテックス大阪でチャリティイベントをして、タレント等を使ってオークションなどを催して募金を募ったほうが良いと思う。走り終わった後のランナーは完走後に充実した気分になれるのでそのほうが純粋にチャリティに参加して募金もするようになると思う。
30代	女性	滋賀県	記念に残るものがあるのは嬉しい。荷物預かり用の袋が前泊される方が多いと思うのでもう少し大きいとよいのにと思いました。
30代	女性	東京都	ラン自体はとてもたのしかったです、なにせ人が多すぎ。とくに帰りは駅までとおまわり(コスモスクエア)、道中混雑しすぎてマラソンよりもつかれた。
50代	男性	神奈川県	観客より1m程度にコーンを道路に置き、交通整理をしていたが、これではランナーと観客の一体感がでないです(なお、東京ではこのような規制はしていない)。来年の大会ではこのような規制はない方が観客との一体感が出ると思っています。

30代	女性	岐阜県	私だけかもしれませんが、通天閣を見過ごしたのが残念でした。以前、名古屋のウィメンズマラソンに参加したのですが、コースは比較しようがないくらい良かったです。
50代	女性	福岡県	遠方からだとマラソン当日以外のイベントに参加しにくいのでネット参加できるような楽しいことがあると嬉しいです。
30代	男性	大阪府	「参加費1万円」は参加する前は高い！と感じたが、実際に走り終えて、十分1万円以上の価値はありました。ボランティアの充実したサポート体制、沿道の応援。数々のマラソン大会を経験してきましたが、1番良かったです。是非来年も参加したいと思いますし、是非マラソン未経験の方にも参加して欲しいと思う、また勧めたい大会です。
40代	男性	大阪府	大阪“バル”マラソン2012には、参加したかったのですが、大会前なので、禁酒しており、参加できなかった。ぜひ、大会終了後一週間くらいはやって欲しい。ランナーはみんな行くと思います。
30代	男性	大阪府	寄付先が少なく、自分の思いに一番合うのを選ぶのに苦労した。もう少し寄付先を増やしてもらった方が、選びやすい。
40代	男性	兵庫県	水とスポーツドリンクでは、圧倒的に後者を選ぶランナーが多く、水担当のボランティアの方が暇で物足りないのでは？と余計な心配をしてしまいました。でも、皆さん、その分、応援している姿にはビックリしました。
40代	男性	北海道	PUSH講習会をEXPOでも開催して頂ければ参加したかったです。去年と比較すれば、多分会場は確保できたはず。遠方からでは参加し難いので、ご一考をお願いします。
50代	男性	愛知県	後ろのブロックのランナーにスタートピストルの音が聞こえませんでした。ストップウォッチが押せません。マイクの設置をお願いしたいです。
30代	男性	宮城県	有名建造物や、有名観光名所の手前数百メートルのところに「～m先左手に～が見えます」のような標示が欲しかった。
40代	男性	東京都	荷物を受け取ってから休息ができる十分なスペースがほしい。少しでも座ることができればだいぶ楽なので。
50代	男性	千葉県	ゴール地点の室温が寒すぎた。ランナーはエネルギーを消耗しきっている状態のため体温調節が困難で、私も強い寒気に襲われた。
40代	女性	北海道	完走メダルと見せると割引になるとかあるとうれしい
50代	女性	徳島県	トイレに時間がかかり、あせってしまいました！転倒してガーミンが壊れタイムも距離もわからず・・・標識だけがたよりでした！トイレの標識も右左どちらにあるか？もう少しでまえでだしていただけたら・・・スタートに1時間かかり、スタート直後のトイレは貴重でした！！
50代	女性	和歌山県	メダルの渡し方にもう一工夫を。もう少し早い時点でかけてもらった方が、完走したという実感がわくような気がする。

30代	女性	愛知県	今回は受付があるので EXPO について寄ったという感じです。EXPO はもう少し多くの出展があるとよかったです。マラソンに関係した芸人さんのステージがあったり、大阪出身の歌手のステージとか、女性に偏ってしまうかもしれませんが、ランニングウェアのファッションショーとかあると EXPO ももっと参加したくなります。
40代	女性	大阪府	今回初心者だったので、知らない事ばかりで正直大会前に不安になったこともあったので、ベテランランナーさんからの声とかをもっとサイトに UP したら初心者ランナーには心強いと思います。

## <第2回大阪マラソン・ランナー感想文>

### 「多くの人に支えられて」

私は11月25日に開催された、大阪マラソン2012にランナーとして参加しました。一言ではまとめられないような経験を、マラソンを通じて体験させてもらったし、人とのつながり、応援してくれる人の存在の大きさを痛感しました。

私は昨年の第一回大阪マラソンに給水ボランティアとして参画し、ランナーからとてもパワーをもらったし、様々な人が42.195キロに挑戦している姿を見て、感動をもらい熱い気持ちになりました。今年も何らかの形で大阪マラソンに関わりたいと思っていたところに、運よくランナーとしての出場権を得ることができました。

私のランナーとしての大阪マラソンの経験を振り返ると、「笑いあり、涙あり。山あり、谷あり。」の42.195キロだったと思います。その中でも沿道からの応援が一番印象に残っています。大阪マラソンでは、1歳ほどの小さな子どもから中高年の方まで、さまざまな人が応援してくれていました。学生の応援はパワーがあり、自分の学校という鼻息目ではありませんが、関大の給水ブースが一番盛り上がっていたなと感じます。一緒に走っていたランナー方もその応援に圧倒されて「学生からパワーをもらいましょう！」という呼びかけをされていました。

それとは逆に、中高年の方の応援はというと、的を射た応援というか、かけてくれる言葉がストレートに心に響くものだったなと感じます。「腕ふって！」というフリップを持ち、ガードレールから身を乗り出し、リズムに合わせて応援してくれ、それに反応して腕を振ったら「そうや！」とってくれるおばちゃん。「君らは15万人の中から選ばれたんやから、しっかり走らなあかん！」と、喝をいれてくれるおじいちゃん。私がつらいときに「お姉ちゃん、下向いたらあかん、頑張りやー！」とってくれたおっちゃん。そんな応援をしてくれる方に対して、自然と笑顔なり、身体の力が抜け癒されました。

私はこの絶え間なく声をかけてくれた観客やボランティアの方の応援に励まされ、完走できたのではないかと思います。私は昨年ボランティアをしたときに、ランナーがハイタッチをしてくれたことがすごく嬉しかったので、今回出来る限り観客の横で走り、ハイタッチをし、「ありがとうございます」「頑張ります」と言いました。そうするとどんな苦しいときでもハイタッチをした後は、ちょっと足が動くようになり、不思議なパワーだと感じました。しかも、今までに会ったことも喋ったこともない人から



応援してもらって、普段では味わうことのできない感動を覚えました。

大阪マラソンでは、7時間という比較的余裕のある時間設定で、私は大体20キロに入ったときに第一目標にしていた「完走」という目標は、多分達成できるだろうと感じていました。しかし、その後は足の痛みが尋常ではなく、気持ちはもっと走りたいけど、足がついてこないというもどかしさに直面しました。私は「完走」とは別に「どんなことがあっても

歩かない」という目標を立てて取り組んでいました。私は昨年ボランティアをして、ランナーには様々な目標があるんだということを目で見、肌で感じたので、「私は私の目標を達成する」と自分に言い聞かせて走りました。25キロ以降の1キロ1キロは非常に長くて、周りの歩いている人を見ると、私の気持ちは何度も揺らぎました。それと同時に、自分に負けそうな自分、それに打ち勝ちたい自分との葛藤で、ここでもし負けてしまったら、これからもきっと辛いときに妥協する人間になるんやろうなと思うと、恐怖感さえ芽生えました。35キロ地点では、残りたった7キロ、されど7キロ。ゴールはまだまだ見えず、インテックスの横に建つMIZUNOが遠くに見え、目の前には大きな坂が見えたときには、本当に涙が出てきました。しかし、その時も観客の飴のサービスや、「ここまで頑張ったあんたはえらい!」「足が痛い?そんなん気のせいや」というフリップ、応援に助けられました。ゴール付近になると、先にゴールされたランナーの方が応援にかけつけてくれました。私たちは一緒の大阪マラソンというイベントを共有している仲間であることを実感し、年齢や性別、様々な垣根を超えて繋がれるこのイベントの素晴らしさを感じたし、一人で走っているのではないという気持ちになり、また涙が出ました。

ゴール後は、「完走」「歩かない」という目標をクリアできた達成感というよりは、「妥協したい自分」に負けなかった自分への安堵感が強かったです。

私はこの二回の大阪マラソンを通して、この大阪マラソンは様々な目標を達成できる場であると思ったし、何より大阪マラソンを通して知らない人たちが繋がり、「仲間」へと変わるものだと思いました。私はボランティアをしたときには、みんなのお世話をさせてもらう気持ちになりました。ランナーとして参加した今年も、みんなのおかげで走らせてもらえるという気持ちになれました。こんなに周りに感謝できる素晴らしいイベントは他にはないと思います。

来年もまた走りたいと思いましたが、こんな素晴らしい思いができるイベントをより多くの人に経験してみたいと思ったので迷っています。

大阪マラソンに関わって下さった多くの方々に、こころから「ありがとう」。

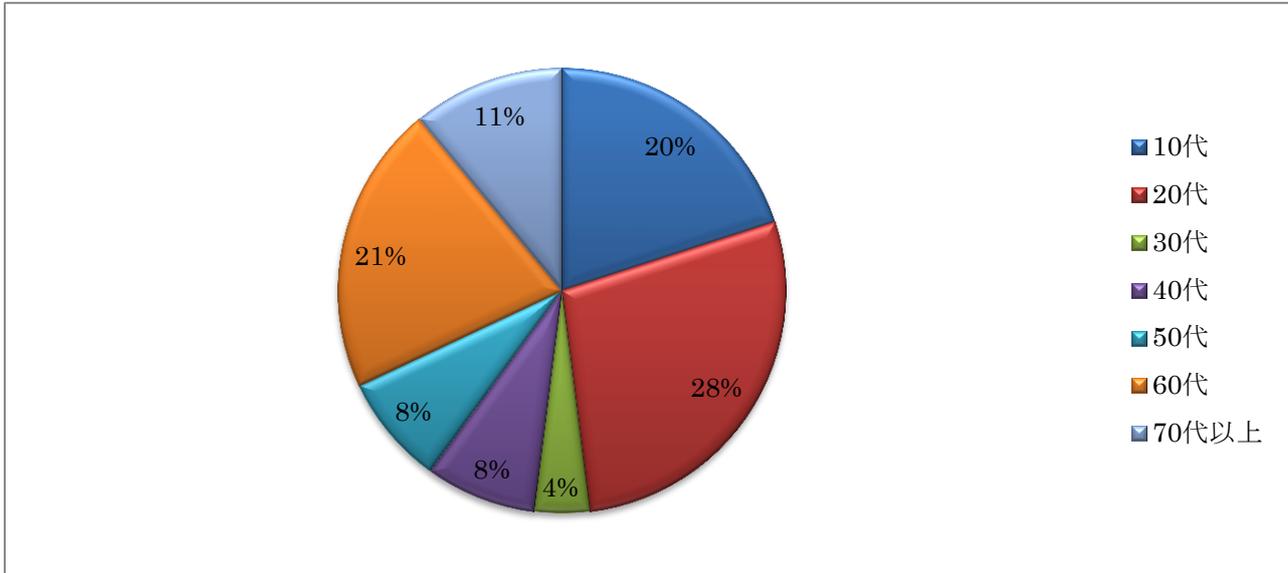
(関西大学3年生、河合悠里)

## Ⅱ ボランティア

### 1) 大会前調査

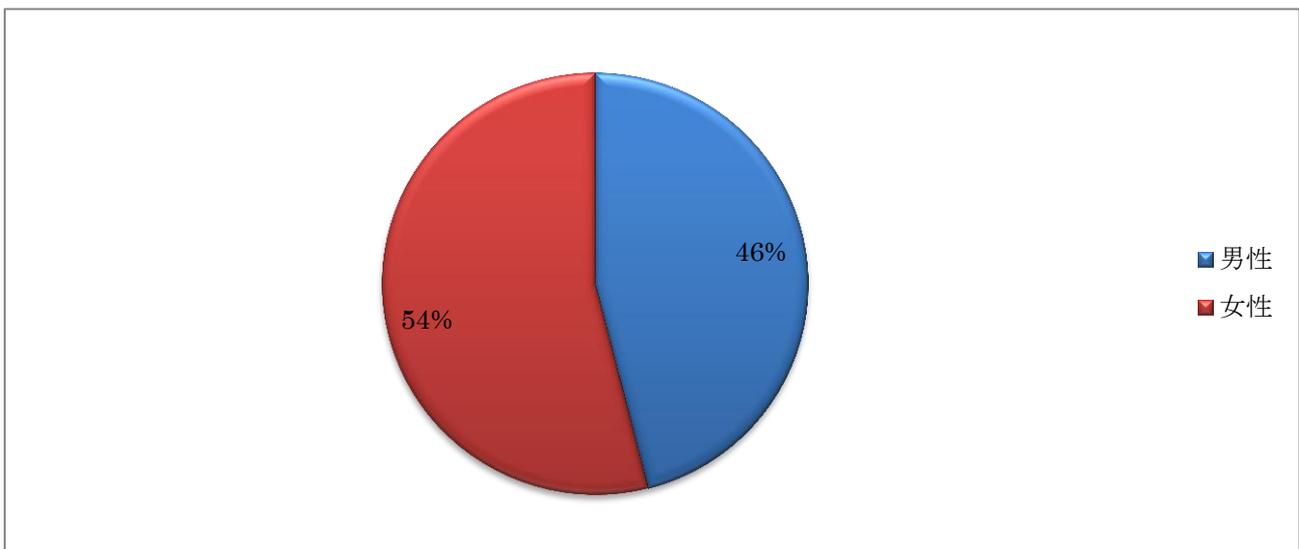
(1) 調査対象の概要 (有効回答者数 : 897)

#### ①年代



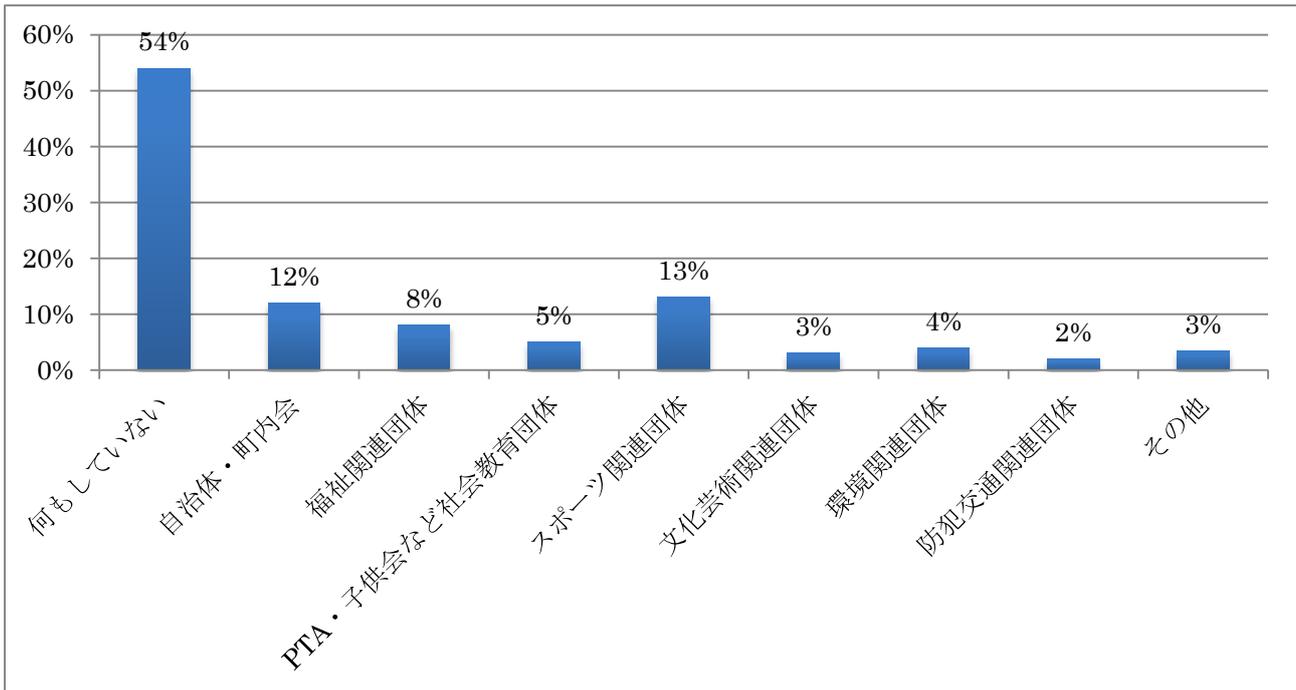
今回、大会前に調査に協力いただいたボランティアの方の年齢構成は 20 代が 28% (第 1 回調査 10%)、60 代が 21% (第 1 回調査 24%)、10 代が 20% (第 1 回調査 5%) となっており、第 1 回調査に比べ、若者の参加者の割合が格段に高くなっている。

#### ②性別



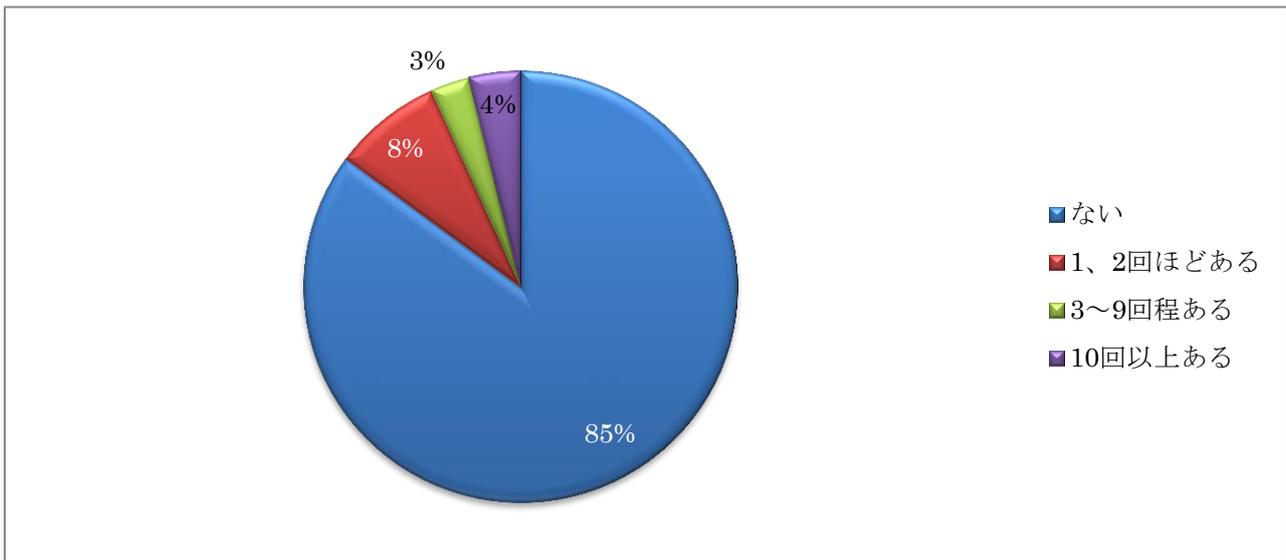
性別では、男性が 46%、女性が 54%となっており、ほぼ同数の割合でバランスの良い構成になっているといえる。第 1 回調査では男性が 52%、女性が 48%だったので、男女比は多少の変化が見られた。

### ③ 普段の地域活動



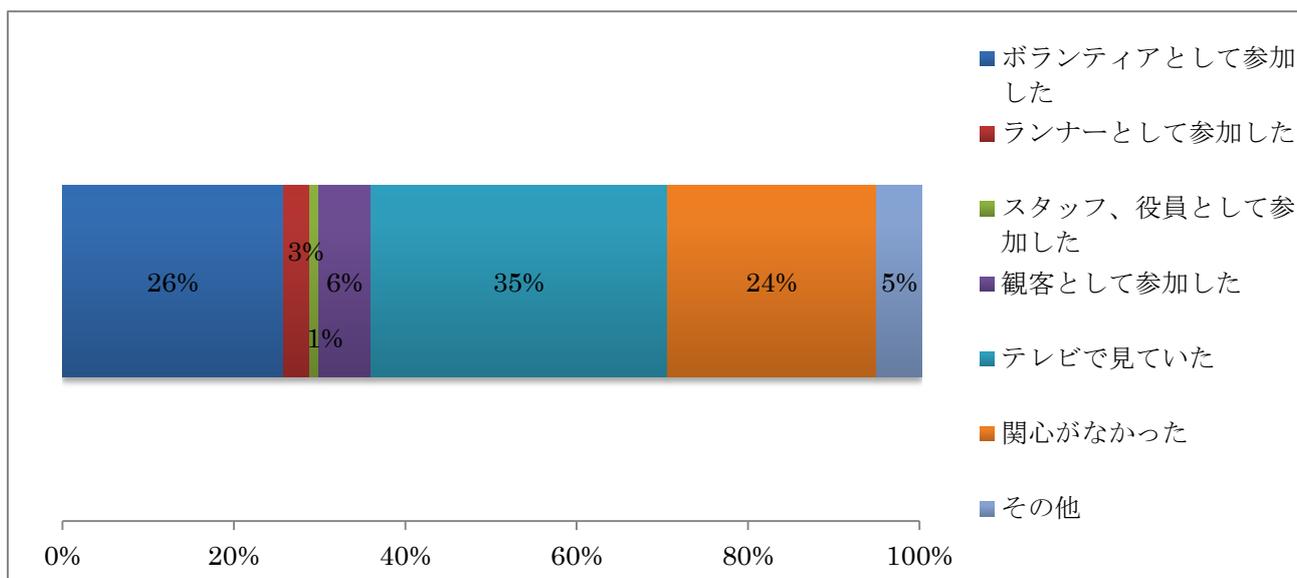
ボランティアの人の普段の地域活動の様子を調査すると、普段は何もしていないという人が 54%で大阪マラソンだけ活動するという人の割合が高かった。第 1 回調査では何もしていない人の割合は 38%だったので大きく増加している。次に多かったのが「スポーツ関連団体」の 13%、「自治体・町内会」の 12%という結果であった。「自治体・町内会」は第 1 回調査のときは 17%だったので少し下がった結果となった。

### ④ 市民マラソンにランナーとして参加経験



市民マラソンへのランナーとしての参加経験を尋ねたところ、85%が一度もないと答えた。第 1 回調査では、ランナーとしての参加経験がない人は 70%だったので大きく割合が上がった。

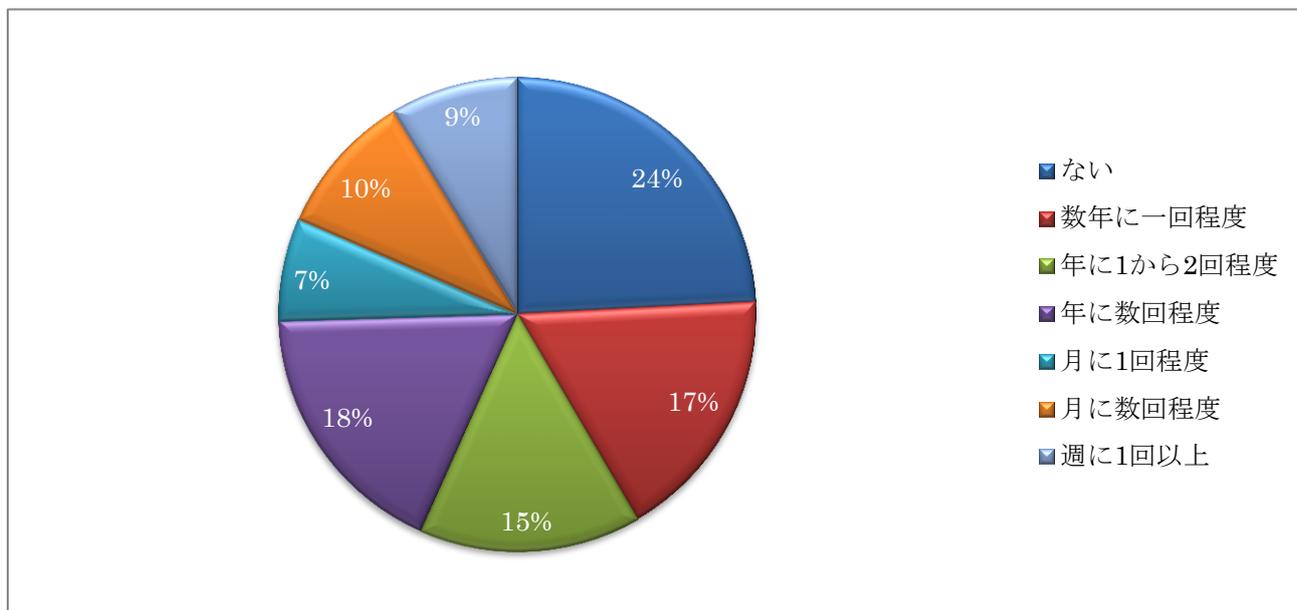
## ⑤第1回大阪マラソンへの参加形態



第1回大阪マラソンに参加したかということに関して、最も多かったのは「テレビで見ていた」という人で35%を占めた。前回はボランティアとして参加し、今回もボランティアで参加する人は26%でありリピーター率が高いといえる。また、24%の人が「関心がなかった」と答えている。

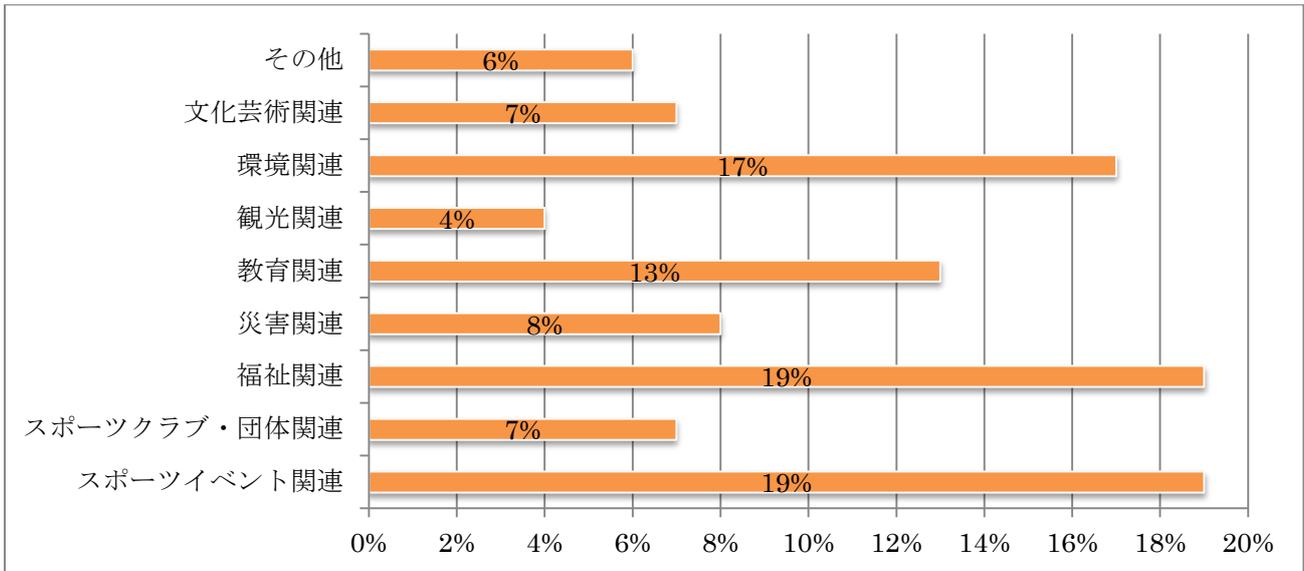
## (2) ボランティア活動経験について

### ①ボランティア活動への参加頻度



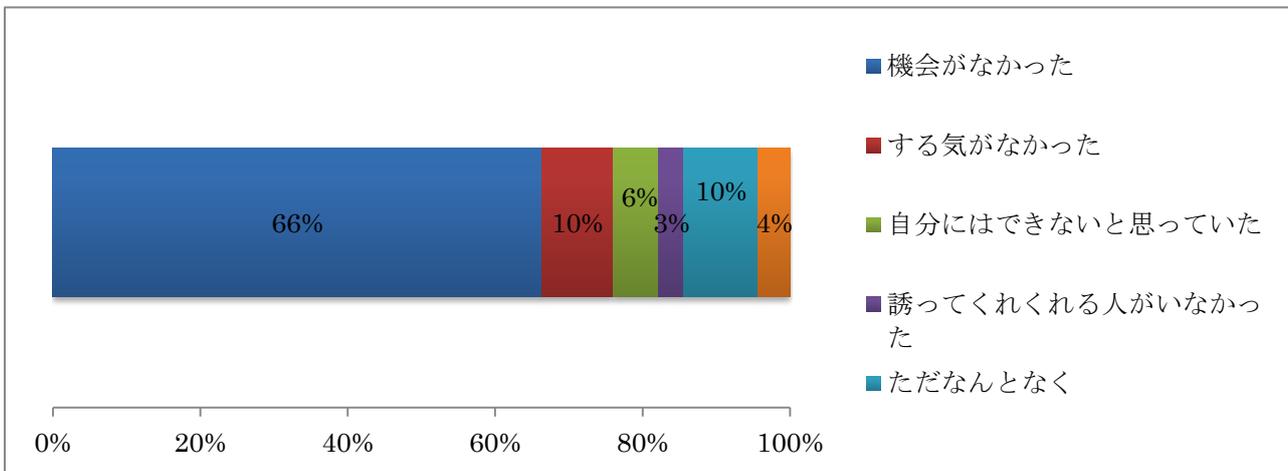
これまでのボランティア活動への参加頻度を聞いてみたところ、24%の人が「したことがない」と答えた。次に「年に数回」が18%、「数年に一回程度」が17%という結果になった。第1回調査では、ボランティア活動をしたことがないという人が40%だったが、第1回大会でボランティアした人が再び来ているので、初めての人が少なくなったといえる。

## ② ボランティアの内容



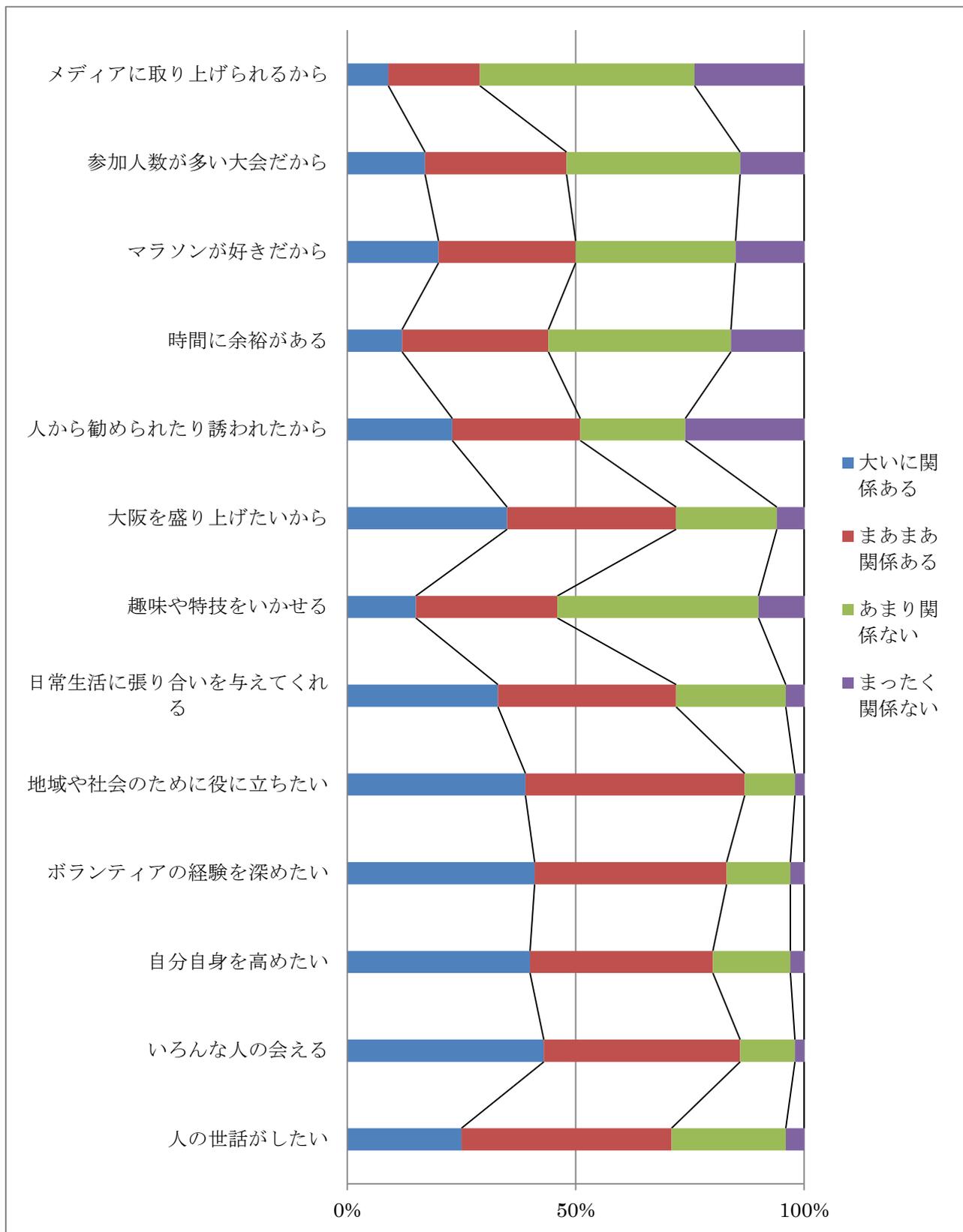
ボランティアを経験した人の活動内容を聞いてみた。「スポーツイベント関連」と「福祉関連」が19%と最も高く、次いで「環境関連」の17%という結果であった。第1回調査では、「スポーツイベント関連」が32%、「福祉関連」が25%だったので、その割合は少し下がっている。逆に「環境関連」は前回7%だったので大きく上昇した。前回の調査結果に比べ、ボランティア活動の内容に偏りが少なく、さまざまな活動を行なっている人が参加しているといえる。

## ③ ボランティアをしなかった理由



ボランティア活動の経験がない人に、その理由について聞いてみたところ、機会がなかったという答えが66%と最も多かった。次いで「する気がなかった」、「ただなんとなく」という人が10%ずつであった。大阪マラソンがボランティア活動を初めて経験する機会を提供しているといえることができる。

### (3) ボランティア活動への参加意識



(%)

	大いに関係ある	どちらかというに関係ある	どちらかというに関係ない	まったく関係ない
メディアに取り上げられるから	9	20	47	24
参加人数が多い大会だから	17	31	38	14
マラソンが好きだから	20	30	35	15
時間に余裕があるから	12	32	40	16
人から勧められたり誘われたりしたから	23	28	23	26
大阪を盛り上げたいから	35	37	22	6
趣味や特技をいかせる	15	31	44	10
日常生活に張り合いを与えてくれる	33	39	24	4
地域や社会のために役立ちたい	39	48	11	2
ボランティアの経験を深めたい	41	42	14	3
自分自身を高めたい	40	40	17	3
いろいろな人に会える	43	43	12	2
人の世話がしたい	25	46	25	4

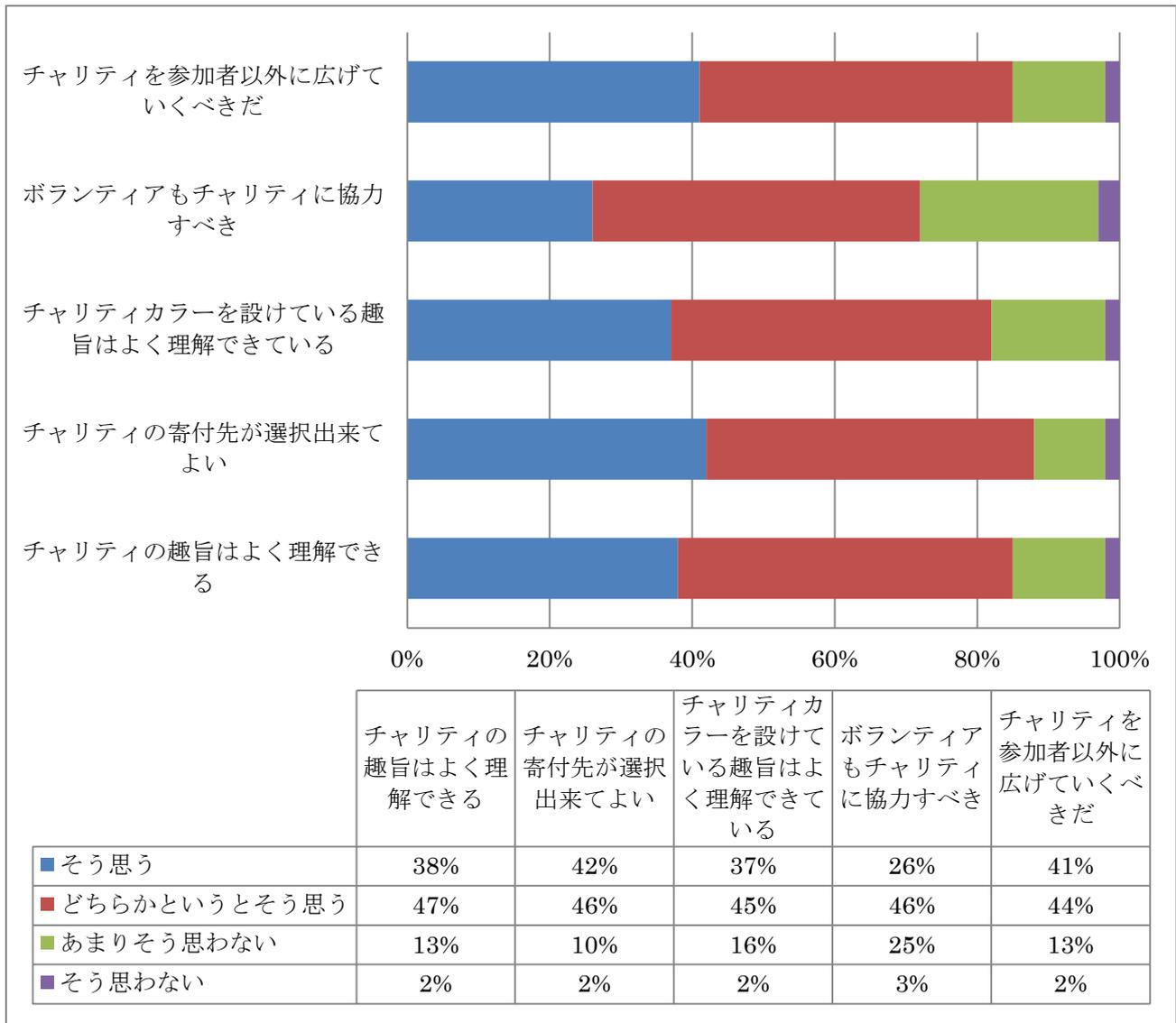
大阪マラソンのボランティア活動に参加した動機について聞いてみた。

最も多かったのは、「地域や社会のために役立ちたい」で、「大いに関係ある」(39%)「どちらかというに関係ある」(48%)を合わせると87%になる。第1回調査では84%で、大阪に対する地域愛(ローカルアイデンティティ)が強く、地域貢献型ボランティアといえる。次に「いろいろな人に会える」が86%(第1回調査80%)、「ボランティアの経験を深めたい」が83%(第1回調査74%)、「自分自身を高めたい」が80%(第1回調査77%)、「日常生活に張り合いを与えてくれるから」が72%(第1回調査74%)と自己実現の動機が高まっている。第1回調査では85%で最も多かった「大阪を盛り上げたいから」は、72%と動機としては減少している。

一方、「人から勧められたり、誘われたりしたから」は51%となっており、第1回調査では32%であったので、第1回の大阪マラソンでボランティアした人たちが、その楽しさを知って積極的に誘ったものと考えられる。

「趣味や特技をいかせる」は46%(第1回調査47%)、「時間に余裕があるから」は44%(第1回調査40%)と個人的な条件は相変わらず少ない傾向にある。

#### (4) チャリティについて



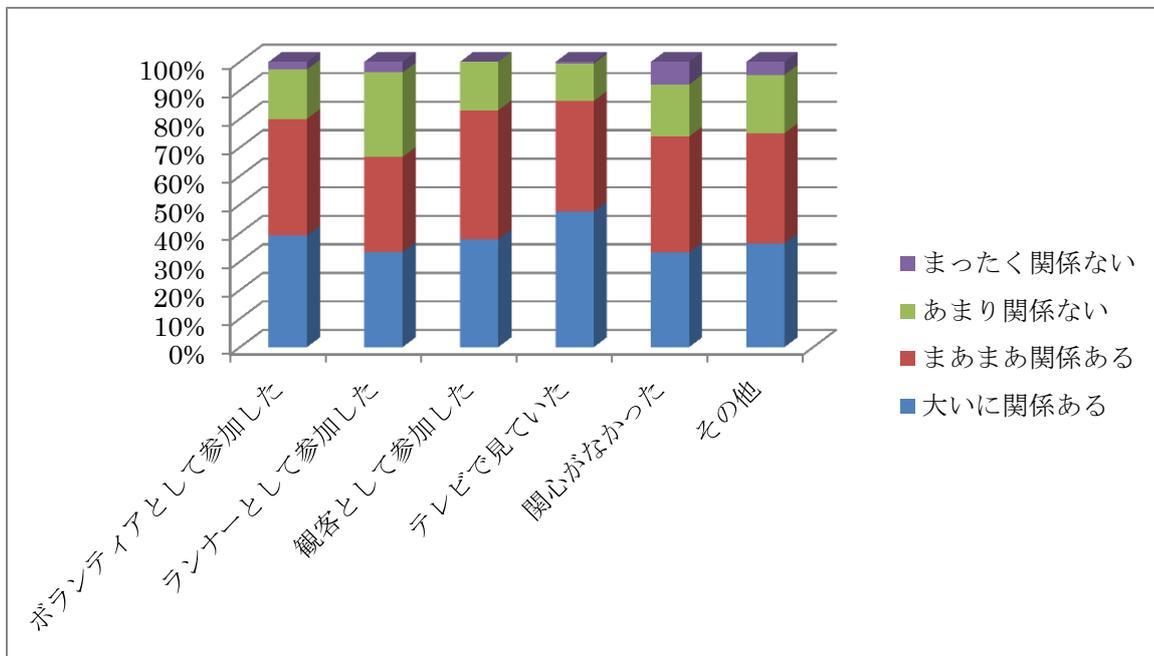
大阪マラソンの特徴の一つであるチャリティについて聞いてみた。「チャリティの寄付先が選択できてよい」ということに対しては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見の人が合計で86%と大きな支持を集めている。「ボランティアもチャリティに協力すべき」という問いに対しては、70%以上の人が肯定しているものの、28%の人が否定的にとらえており、金銭的なチャリティより、ボランティアとしての人的なチャリティをしているという自負があると考えられる。

(5) クロス分析 (ボランティア大会前)

第1回大阪マラソンの参加形態と第2回大阪マラソンのボランティア参加理由

①自分自身を高めたい

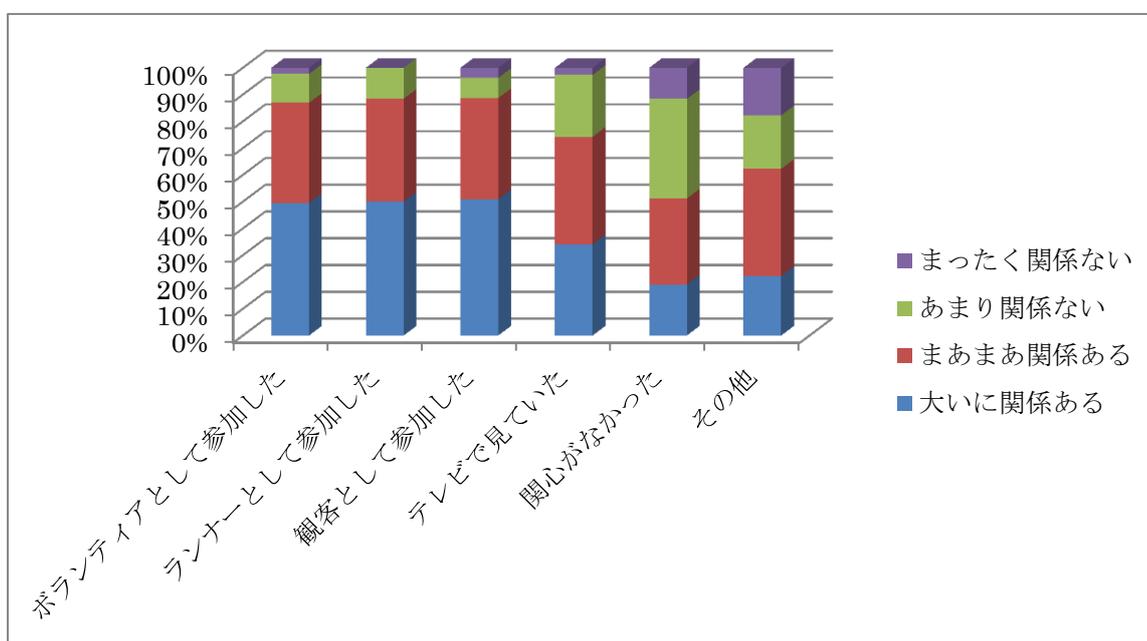
	大いに関係ある	まあまあ関係ある	あまり関係ない	まったく関係ない	総計
ボランティアとして参加した	39.1%	40.9%	17.3%	2.7%	100.0%
ランナーとして参加した	33.3%	33.3%	29.6%	3.7%	100.0%
観客として参加した	37.7%	45.3%	17.0%	0.0%	100.0%
テレビで見ていた	47.5%	38.8%	13.0%	0.7%	100.0%
関心がなかった	33.2%	40.7%	18.2%	7.9%	100.0%
その他	36.4%	38.6%	20.5%	4.5%	100.0%
<b>総計</b>	<b>40.1%</b>	<b>40.0%</b>	<b>16.6%</b>	<b>3.3%</b>	<b>100.0%</b>



第1回大阪マラソンの参加形態によって、ボランティアへの参加の理由が違ってくるのかどうかをみてみた。ボランティアをすることで「自分自身を高めたい」と思っている人は、テレビで見ていた人がその割合が高い。また、ボランティアとして参加したあるいは観客として参加した人も、ランナーとして参加した人に比べて高い割合となっている。これは、ランナーは走ることに、それ以外はボランティアに自己実現を求めているといえる。

## ②大阪を盛り上げたいから

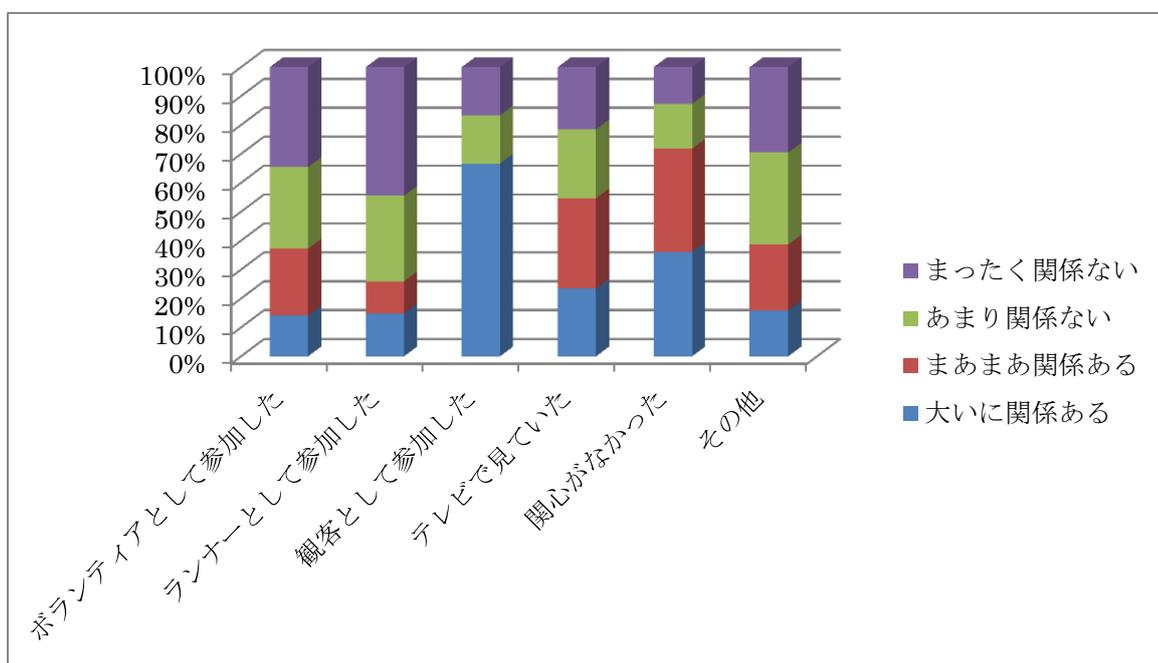
	大いに関係ある	まあまあ関係ある	あまり関係ない	まったく関係ない	総計
ボランティアとして参加した	49.5%	37.4%	10.8%	2.3%	100.0%
ランナーとして参加した	50.0%	38.5%	11.5%	0.0%	100.0%
観客として参加した	50.9%	37.7%	7.5%	3.8%	100.0%
テレビで見ていた	34.1%	40.1%	23.1%	2.7%	100.0%
関心がなかった	19.1%	32.1%	37.2%	11.6%	100.0%
その他	22.2%	40.0%	20.0%	17.8%	100.0%
<b>総計</b>	<b>35.2%</b>	<b>37.2%</b>	<b>22.0%</b>	<b>5.6%</b>	<b>100.0%</b>



ボランティアをする理由として、「大阪を盛り上げたいから」をあげている人は、第1回大阪マラソンにランナーとして、ボランティアとして、観客として参加した人の割合が高い。これは、実際に第1回の大阪マラソンの盛り上がりを経験したことから、ボランティアをする理由にあげていると考えられる。

### ③人から勧められたり誘われたりしたから

	大いに関係ある	まあまあ関係ある	あまり関係ない	まったく関係ない	総計
ボランティアとして参加した	14.1%	23.2%	28.2%	34.5%	100.0%
ランナーとして参加した	14.8%	11.1%	29.6%	44.4%	100.0%
観客として参加した	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
テレビで見ていた	23.5%	31.2%	23.8%	21.5%	100.0%
関心がなかった	36.2%	35.7%	15.5%	12.7%	100.0%
その他	15.9%	22.7%	31.8%	29.5%	100.0%
<b>総計</b>	<b>23.9%</b>	<b>28.8%</b>	<b>23.4%</b>	<b>23.9%</b>	<b>100.0%</b>

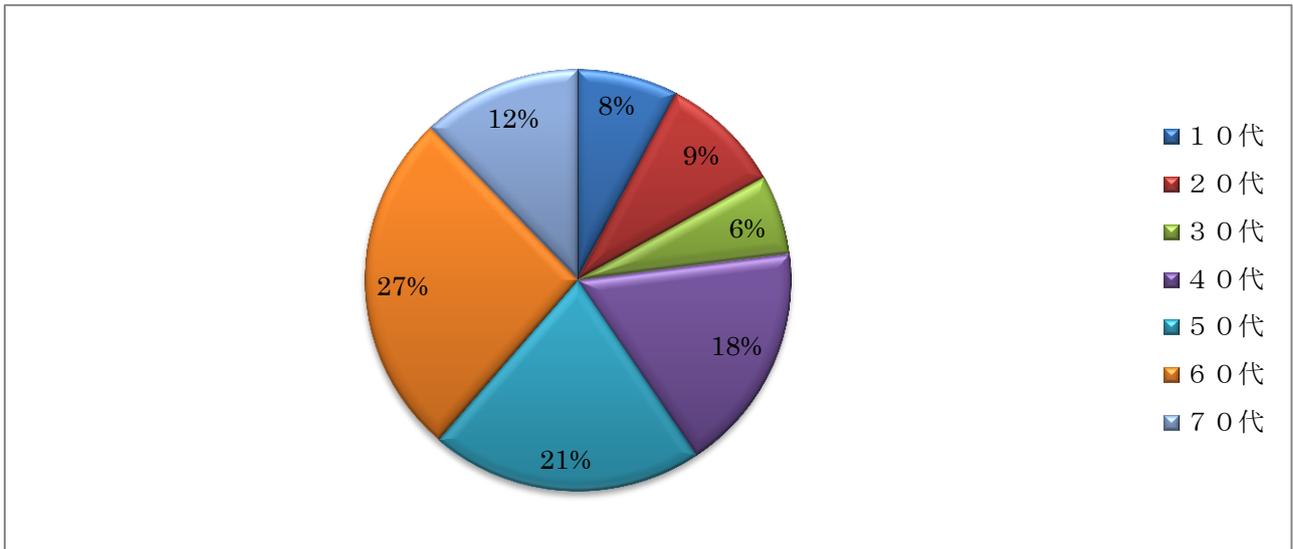


ボランティアをする理由として「人に勧められたり誘われたりしたから」をあげている人は、第1回マラソンに観客として参加した人の割合が高い。また、関心がなかった人やテレビで見ていた人の割合も多く、実際にボランティアの体験がない人には、やはり、人からの勧めや誘いが大きな要因になっていると思われる。

## 2) 大会後調査

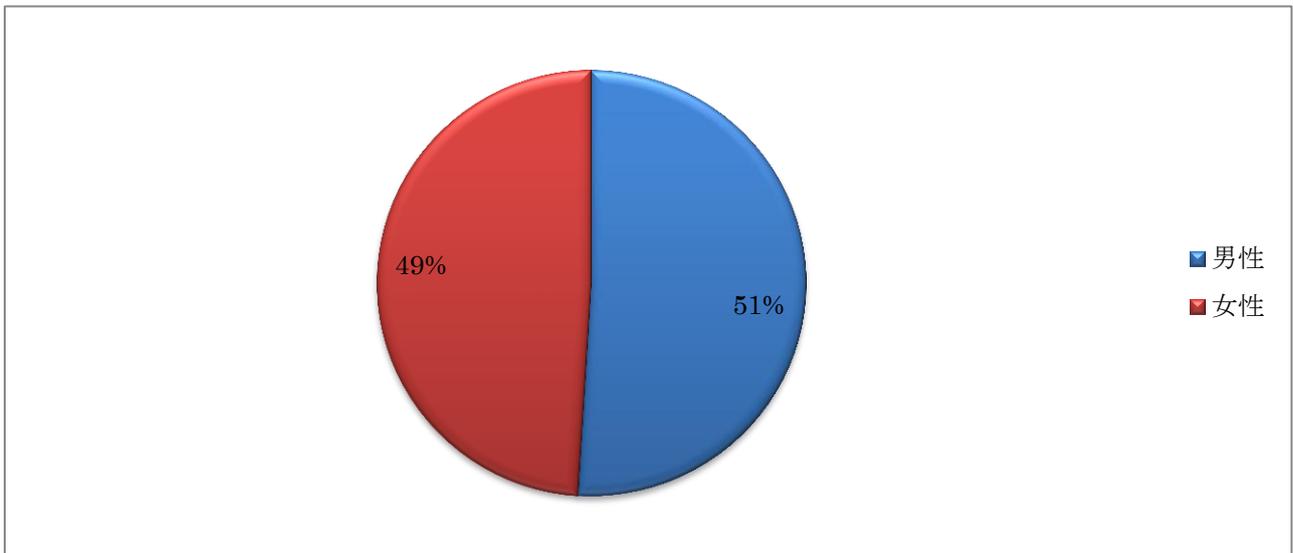
### (1) 調査対象の概要 (有効回答者数 : 352)

#### ①年代



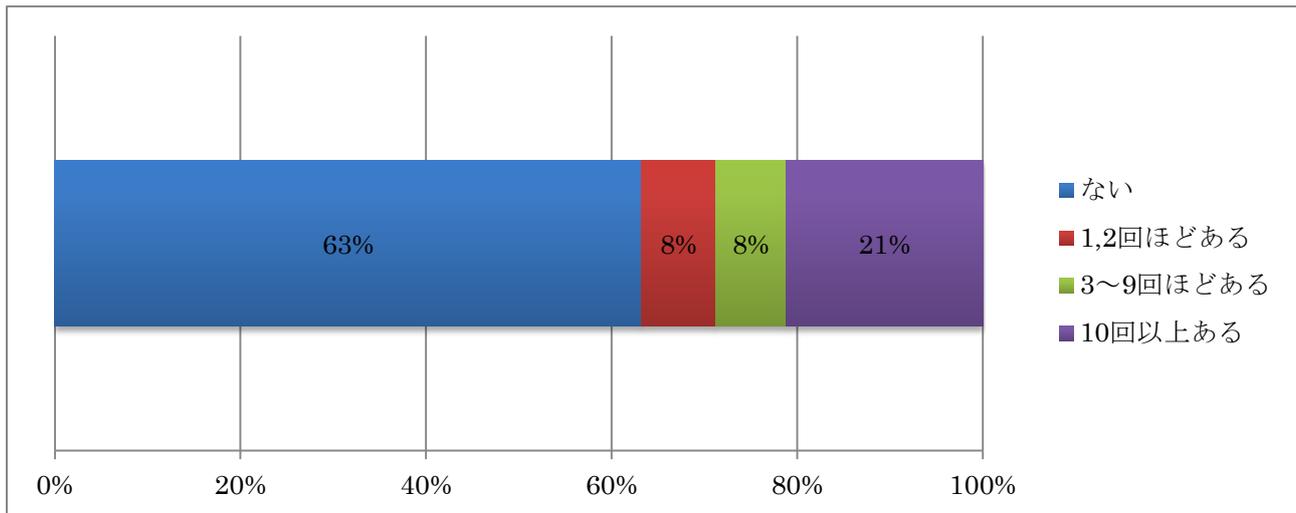
今回、大会後に調査に協力いただいたボランティアの方の年齢構成は60代が27% (大会前21%)と最も多い結果となった。大会前の調査では、10代、20代が合計で48%と約半数を占めていたが今回の調査では合計で17%と少なくなったが、ボランティアの構成年齢とほぼ一致している。

#### ②性別



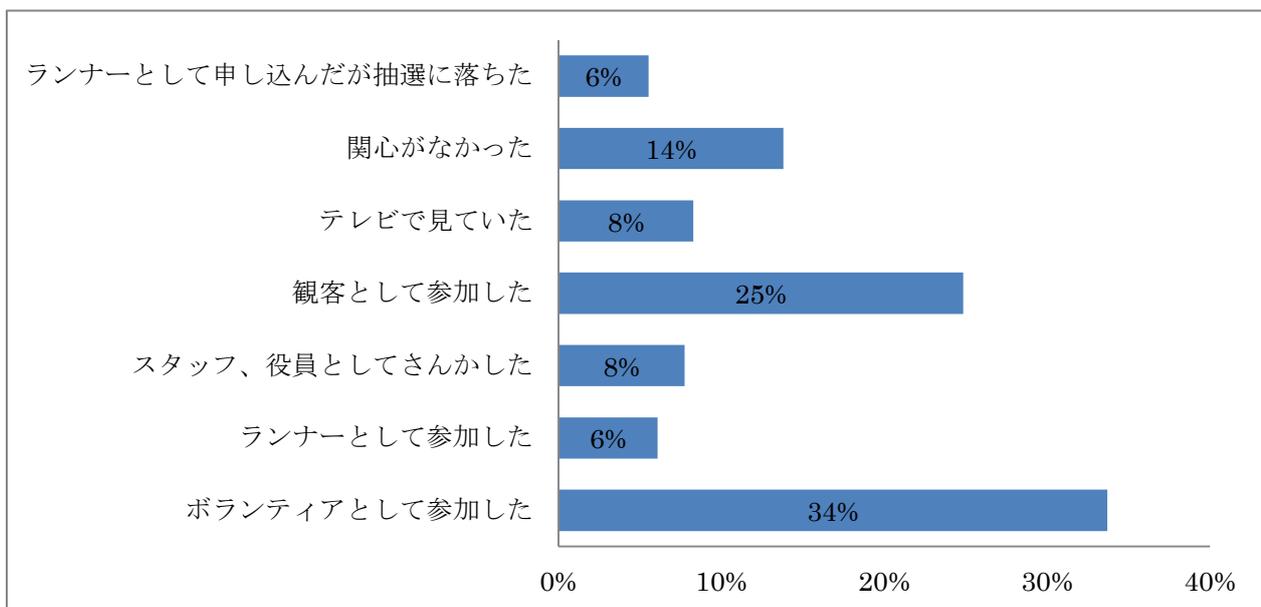
性別では男性が51% (大会前46%)、女性が49% (大会前54%)となっており、大会前の調査とは逆転している。

### ③市民マラソン参加経験



市民マラソンへの参加経験を聞いてみたところ、経験がないと答えた人が63%であった。第1回調査では、70%の人が市民マラソンの経験がないと答えており、若干減っている。これは、昨年、第1回大阪マラソンを走った人が、今回はボランティアで参加しているという人も比較的多いからである。

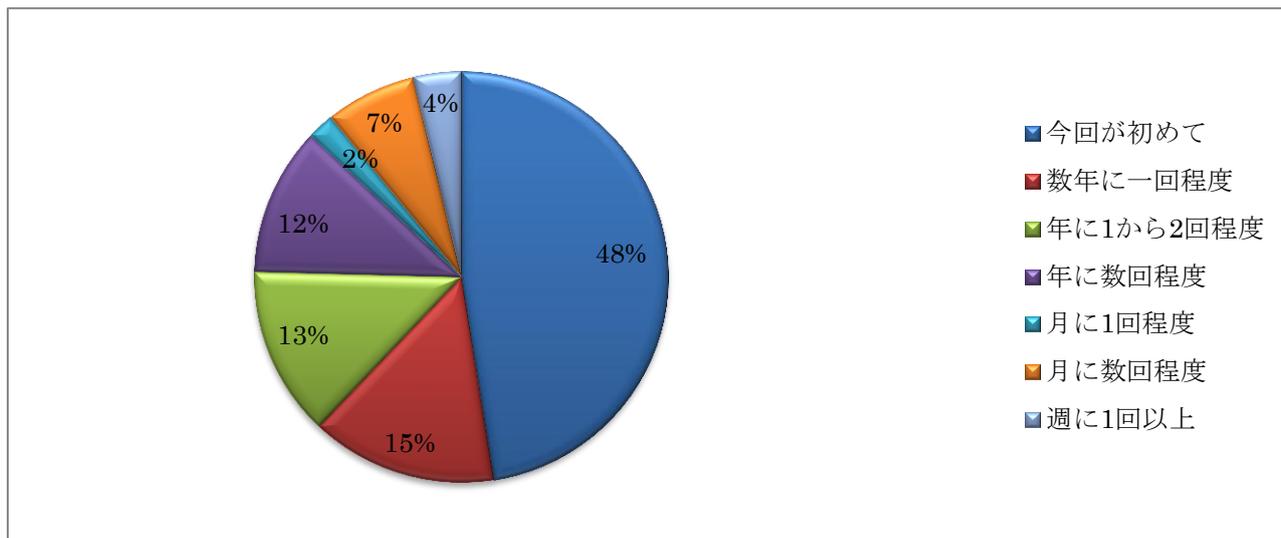
### ④第1回大阪マラソンへの参加形態



第1回大阪マラソンへの参加形態について聞いてみた。「ボランティアとして参加した」と答えた人が34% (大会前26%)と最も多く、ボランティアのリピーター率が3割を超えているとみることができる。次いで「観客として参加した」と答えた人が25% (大会前6%)で、昨年から一歩進んで、主催者側としてランナーを支えるボランティアを選んだといえる。また、「ランナーとして参加した」と答えた人は6%であった。このようなランナー、観客、ボランティアの関わり方の変化は、大阪マラソンへのアイデンティティを高めるものである。

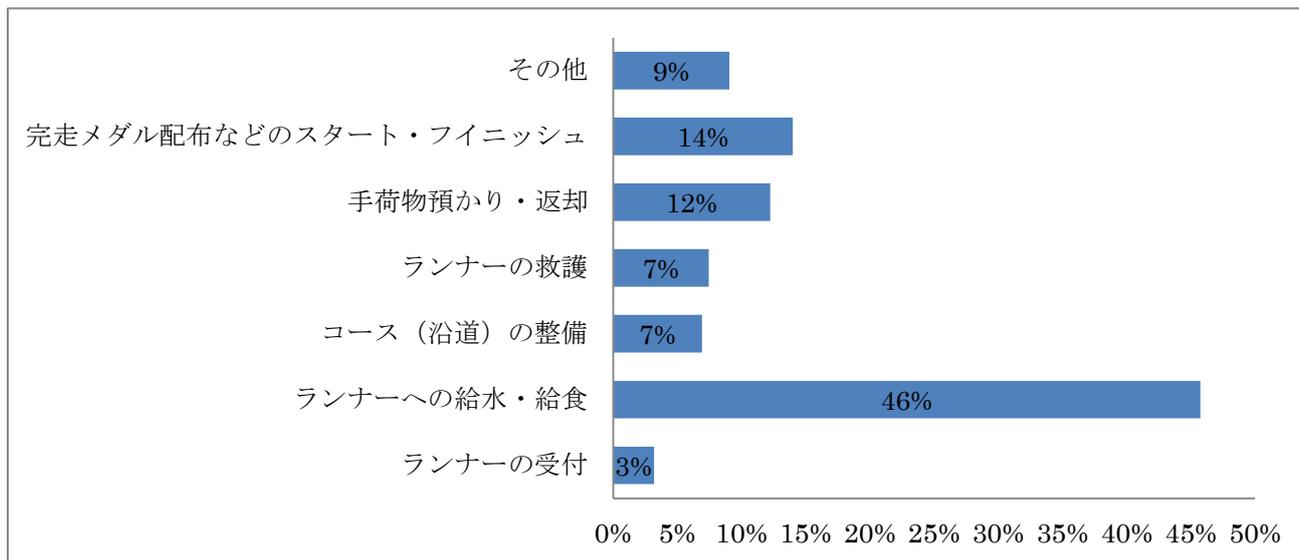
## (2) ボランティア活動経験について

### ①ボランティア活動の頻度



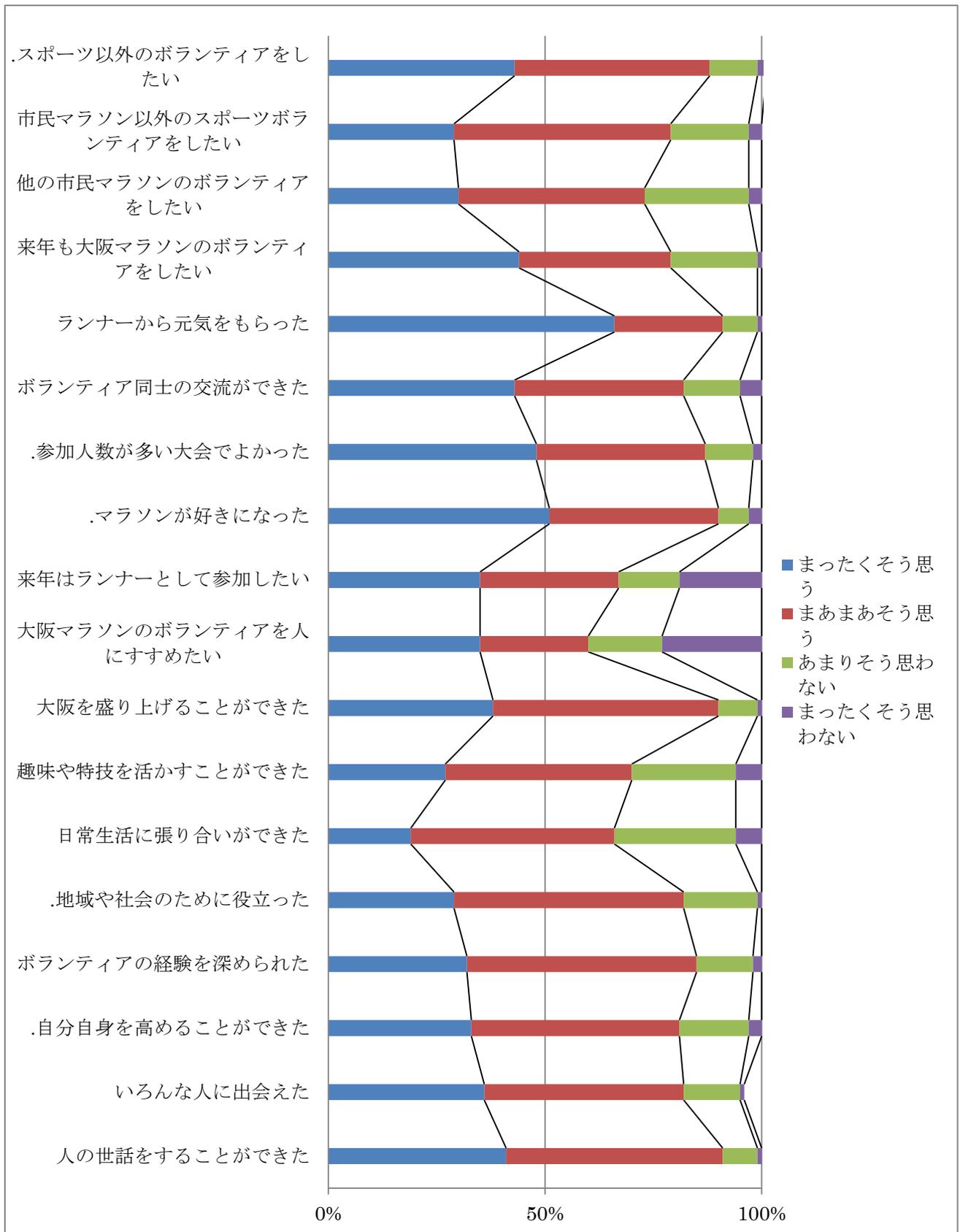
これまでボランティア活動にどれだけ参加しているのかという頻度を聞いてみたところ、「今回が初めて」という人が48%で最も多かった。次いで「数年に1回程度」が15%、「年に1から2回程度」が13%であった。第1回調査では、初めての人が40%であったので、大阪マラソンがボランティアの入門編の色合いが濃くなっているといえる。

### ③ボランティア活動内容



今回の大阪マラソンでのボランティア活動内容について聞いてみた。ランナーへの給水・給食が46%と最も高く、次いで完走メダル配布などのスタート・フィニッシュ地点での活動が14%、手荷物預かり・返却が12%と直接ランナーと関わる仕事が多くなる。第1回調査では「ランナーと直接かかわる仕事」が84%であったので、今回は裏方の仕事をする人が少し増えたといえることができる。

### (3) ボランティア活動の評価



(%)

	まったく そう思う	まあまあ そう思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない
スポーツ以外のボランティアをしたい	43	45	11	1
市民マラソン以外のスポーツボランティアをしたい	29	50	18	3
他の市民マラソンのボランティアをしたい	30	43	24	3
来年も大阪マラソンのボランティアをしたい	44	35	20	1
ランナーから元気もらった	66	25	8	1
ボランティア同士の交流ができた	43	39	13	5
参加人数が多い大会でよかった	48	39	11	2
マラソンが好きになった	51	39	7	3
来年はランナーとして参加したい	35	32	14	19
大阪マラソンのボランティアを人にすすめたい	35	25	17	23
大阪を盛り上げることができた	38	52	9	1
趣味や特技を活かすことができた	27	43	24	6
日常生活に張り合いができた	19	47	28	6
地域や社会のために役立った	29	53	17	1
ボランティアの経験を深めることができた	32	53	13	2
自分自身を高めることができた	33	48	16	3
いろいろな人に出会えた	36	46	13	1
人の世話をすることができた	41	50	8	1

大阪マラソンのボランティア活動に参加してみて自己評価をしてもらった。

最も多かったのは、「ランナーから元気もらった」で、「まったくそう思う」(66%)「まあまあそう思う」(25%)を合わせると91%になる。これは、災害ボランティアや福祉ボランティアではあまり見られない感想で、スポーツボランティアの特徴であると言えよう。第1回調査のデータはないが、自由記述ではこのことが多く語られていた。

また、「人の世話をすることができた」も、「まったくそう思う」(41%)「まあまあそう思う」(50%)を合わせると91%になる。とりわけ、給水などで直接ランナーと接することができたボランティアは、感謝されることで世話をした実感を持つことができたといえる。ちなみに、第1回調査では93%の人が人の世話ができたとしている。

「大阪を盛り上げることができた」とする人は90%（第1回調査90%）あり、「地域や社会のために

役立った」と思う人は82%（第1回調査89%）あり、地域の活性化に役立っているという自覚があると考えられる。

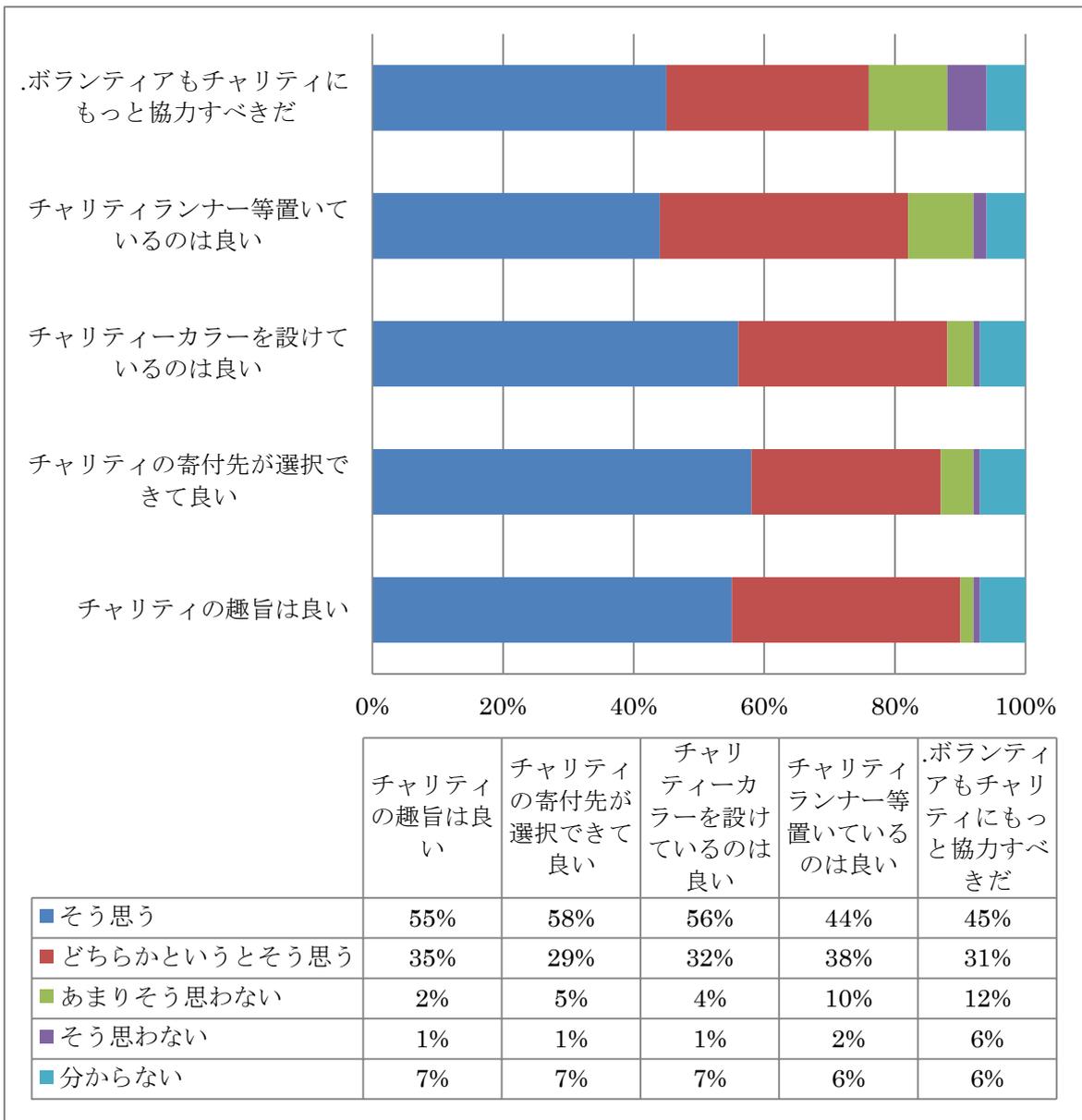
「マラソンが好きになった」とする人も90%おり、参加動機の中では50%しかいなかったものが、ボランティアをすることで、マラソンが好きになったのである。第1回調査でも89%で高い値となっている。その結果、「来年はランナーとして参加したい」と思う人が67%と、第1回調査の57%を10%も上回っている。

「来年も大阪マラソンのボランティアをしたい」と考えている人は79%いる。そして、「大阪マラソンのボランティアを人に勧めたい」と考える人が60%もおり、自分の経験したスポーツボランティアが楽しかったことを物語っている。さらに、「他の市民マラソンのボランティアもしたい」と思う人が73%、「市民マラソン以外のボランティアもしたい」と思う人が79%とボランティア活動の広がりを感じさせる。

次に自己実現の要因であった「いろんな人に出会えた」は82%（第1回調査70%）、「ボランティアの経験を深めることができた」が85%（第1回調査89%）、「自分自身を高めることができた」が81%（第1回調査83%）、「日常生活に張り合いができた」が66%（第1回調査79%）と当初の目的を達成したといえる。

「ボランティア同士の交流ができた」では、82%の人がそう思っており、第1回調査の課題であったボランティア同士の交流が図られたと思われる。

#### (4) チャリティについて



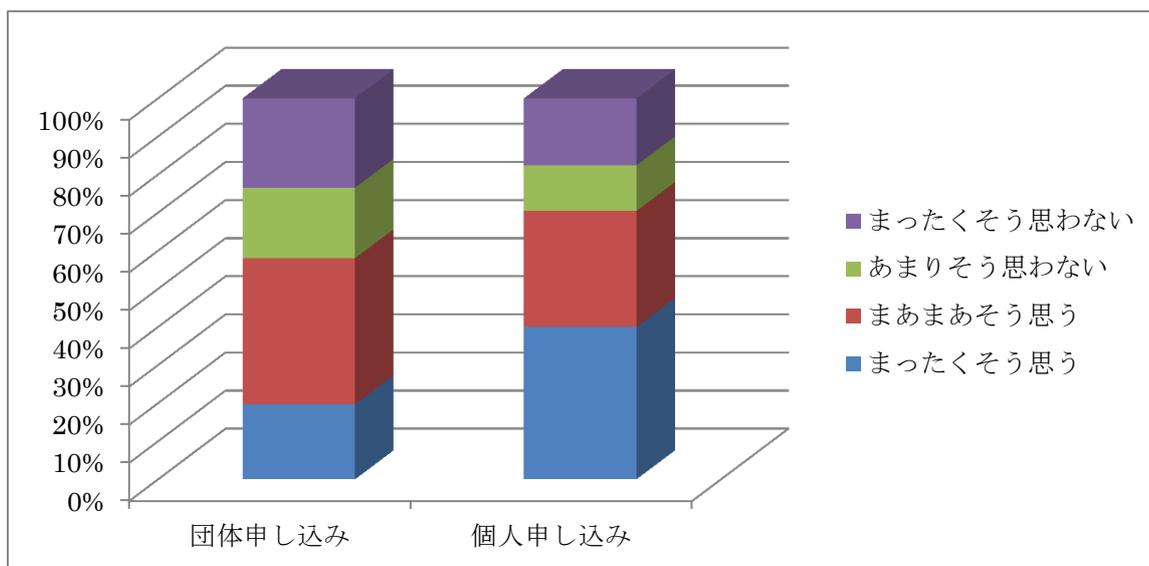
大阪マラソンの特徴であるチャリティについて聞いてみた。「チャリティの趣旨は良い」と肯定的に捉える人は90%を超えた。また「チャリティの寄付先が選択できて良い」という項目について「そう思う」と答えた人が58%にのぼり、多くの人が確信をもって良いと感じていることが分かった。「ボランティアもチャリティにもっと協力すべきだ」という点については否定的な意見が16%と少し他の項目に比べ高かった。大会前の調査よりも「あまりそう思わない」「そう思わない」という割合は全体的に大きく下がっており、大会を通してチャリティについての理解が深まったのではないかと考えられる。

(5) クロス分析 (ボランティア大会後)

ボランティアの申し込み方法とボランティア活動評価

① 来年はランナーとして参加したい

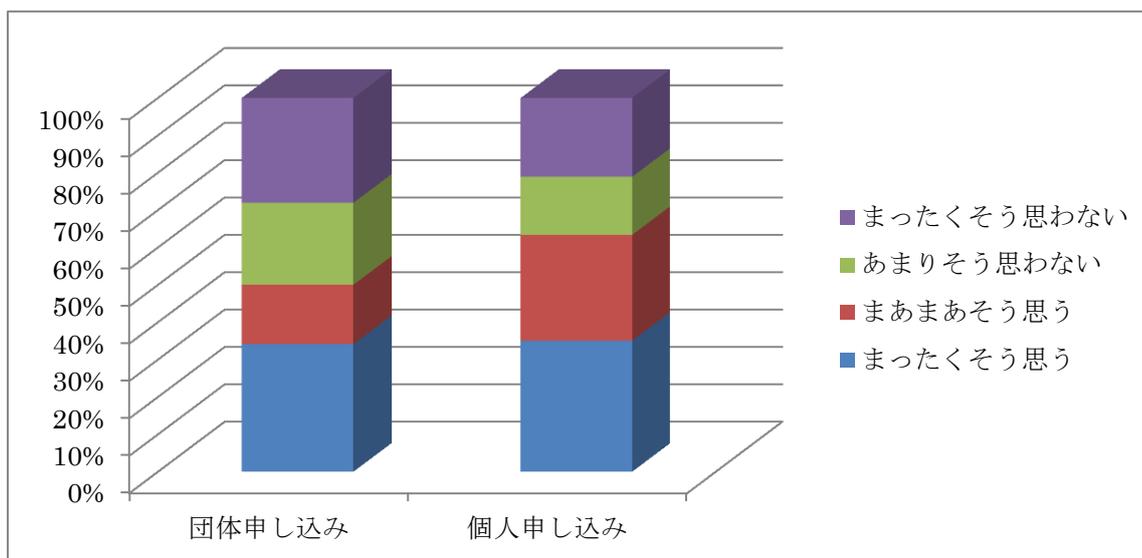
	まったくそう思 う	まあまあそう 思う	あまりそう思わ ない	まったくそう思 わない	総計
団体申し込み	19.8%	38.3%	18.5%	23.5%	100.0%
個人申し込み	40.0%	30.4%	12.0%	17.6%	100.0%
<b>総計</b>	<b>35.0%</b>	<b>32.3%</b>	<b>13.6%</b>	<b>19.0%</b>	<b>100.0%</b>



ボランティアの申し込みが、団体として申し込んだのか、個人で申し込んだのかによって、ボランティア活動の評価が違ってくるのかについてみてみた。「来年はランナーとして参加したい」と思っている人は、個人申し込みの人に多い。このことは、個人的に申し込んだ人の方が、積極的に役割の移動をする可能性が高いといえる。

## ②大阪マラソンのボランティアを人に勧めたい

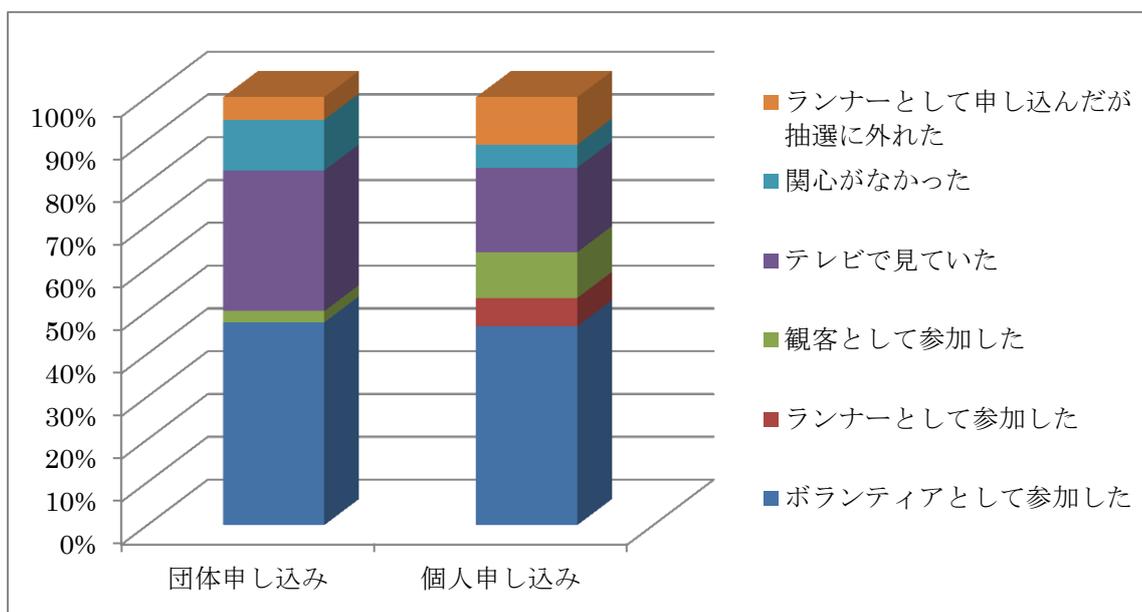
	まったくそう 思う	まあまあそ う思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	総計
団体申し込み	34.1%	15.9%	22.0%	28.0%	100.0%
個人申し込み	35.1%	28.3%	15.5%	21.1%	100.0%
<b>総計</b>	<b>34.8%</b>	<b>25.2%</b>	<b>17.1%</b>	<b>22.8%</b>	<b>100.0%</b>



「大阪マラソンのボランティアを人に勧めたい」と思っている人は、個人申し込みの人に割合が多い。これは、団体申込みだとある面、依頼されたという意識が強く、自ら勧めるという立場に立ちにくいのではないかと考えられる。一方、自発的にボランティアに個人申し込みした人は、自分の体験したボランティアを個人的に勧める傾向にあるといえる。

### ③団体・個人の申し込みと第1回大阪マラソンへの参加形態

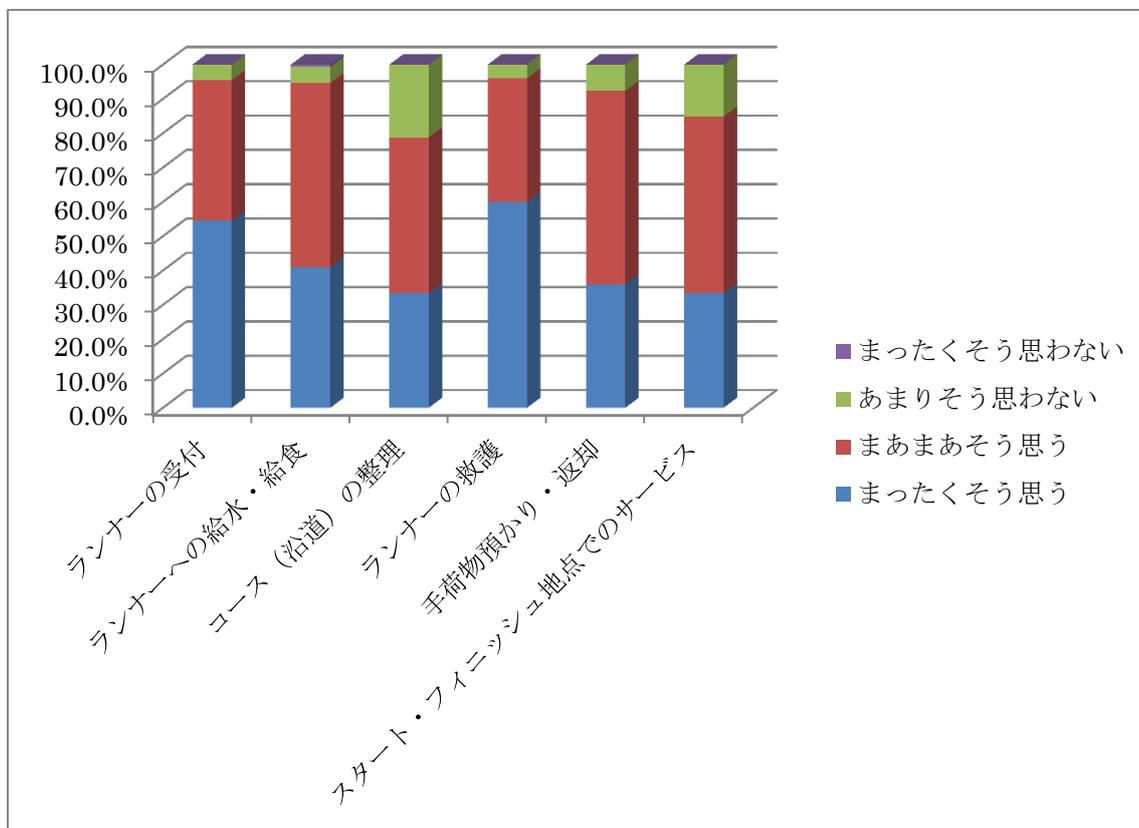
	ボランティアとして参加した	ランナーとして参加した	観客として参加した	テレビで見っていた	関心がなかった	ランナーとして申し込みしたが抽選に外れた	総計
団体申し込み	47.37%	0.00%	2.63%	32.89%	11.84%	5.26%	100.00%
個人申し込み	46.50%	6.58%	10.70%	19.75%	5.35%	11.11%	100.00%
<b>総計</b>	<b>46.71%</b>	<b>5.02%</b>	<b>8.78%</b>	<b>22.88%</b>	<b>6.90%</b>	<b>9.72%</b>	<b>100.00%</b>



ボランティアの申し込み方法の違いが、第1回の大阪マラソンへの参加形態とどのように関係してくるのかをみてみた。個人申し込みの人は、ランナーとして参加したり、観客として参加したりと多様化していることが分かる。一方、団体申込みの人は、テレビで見っていたか、あるいは関心がなかった人の割合が高く、実際に大阪マラソンを体験している人の割合が少ない傾向であった。これも、団体申込みの人が、どちらかというといふと依頼されてボランティアをしていると考えられる。

#### ④人の世話をすることができた

	まったくそう 思う	まあまあそう 思う	あまりそう思 わない	まったくそう 思わない	総計
ランナーの受付	54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	100.0%
ランナーへの給水・給食	40.9%	53.7%	4.7%	0.7%	100.0%
コース(沿道)の整理	33.3%	45.5%	21.2%	0.0%	100.0%
ランナーの救護	60.0%	36.0%	4.0%	0.0%	100.0%
手荷物預かり・返却	35.9%	56.4%	7.7%	0.0%	100.0%
スタート・フィニッシュ地点での サービス	33.3%	51.5%	15.2%	0.0%	100.0%
<b>総計</b>	<b>41.2%</b>	<b>50.5%</b>	<b>8.0%</b>	<b>0.3%</b>	<b>100.0%</b>



「人の世話をすることができた」とボランティア活動を評価している人は、コース（沿道）の整理をしていた人には割合が低い。また、スタート・フィニッシュ地点でのサービスをした人にもこの評価は高くない。つまり、ランナーに直接触れることができるボランティアの方が人の世話をできたとしている人が多いといえる。

(6) 第2回大阪マラソン・ボランティア大会後自由記述

回答数 448 人 (うち自由意見記述あり 166 人から抜粋)

年齢	性別	大阪マラソンについてのご意見
40代	女性	2回ともボランティアで参加しましたが、ランナーの方に声掛けした時、ハイタッチであるとか、笑顔を見ると、自分も参加してる実感が湧いて、元気をもらいました。来年も、ランナーかボランティアの何らかの形で関わりたいです。
60代	男性	ボランティアを通して、大阪マラソンに参加(社会貢献)出来て良かった。来年も、是非、やりたい。
20代	女性	チャリティマラソンということで、ボランティア参加者に対してもチャリティ参加をもう少し案内してほしい。例えば、ランナーは参加費が寄付にも使用されるので、ボランティアの場合は一口500円ぐらいで何口か募金できるシステムを作る、など。また、説明会の時に募金箱の設置をしても良いと思う。
60代	男性	これほど大きなイベントの一員として参加出来たことに感謝すると共にランナーの皆さんや他のボランティア、観衆の方々から感激をもらう事が出来た。
40代	男性	他府県からのボランティアの方が多数来られてて、そしてスキルが高いので驚きました。大阪のボランティアの意識と違いがあるように思いました。
40代	女性	すごく楽しめました。ボランティアで年齢・性別が違い普段交流する事がない人達と一緒に活動できた事が新鮮でした。
60代	男性	ボランティアを通して、大阪マラソンに参加(社会貢献)出来て良かった。来年も、是非、やりたい。
20代	男性	チャリティの意義を、もう少し大々的に宣伝しても良いのではないかと思います。新聞等では見ましたが、民放のTV番組では、チャリティの意義を説明している様子はあまり見る機会が無かったかと思います。
50代	女性	今年は 抽選に外れて ボランティア活動しましたが、来年こそは 走りたい!でも もしも 外れたら また ボランティア活動に参加します
70代	男性	次回も、走りは苦手なので必ずボランティアで参加したい。走りながら笑顔でこたえてくれて感無量。
60代	女性	大阪で生まれ育った私が市民としてお手伝い出来ることが、このマラソンのボランティアですので、来年も再来年も元気であれば、生きがいの一つとしていきたいと思っております。楽しい1日を有難うございました。
40代	女性	素晴らしいマラソン大会なので、来年だけでなくずっと続けて欲しい。どんどん大阪を盛り上げて欲しい。
60代	男性	サラリーマン生活を終え、何かスポーツ関連のボランティアに参加したいと考えており初めて参加させていただきました。テレビの中継番組や関連番組を録画し、帰宅後改めて見ましたが、給水以外にもいろんなボランティア活動があり、特に自転車の運搬活動には驚かされました。大阪人らしい発想で、きめの細かい配慮だと感心いたしました。プレイベ

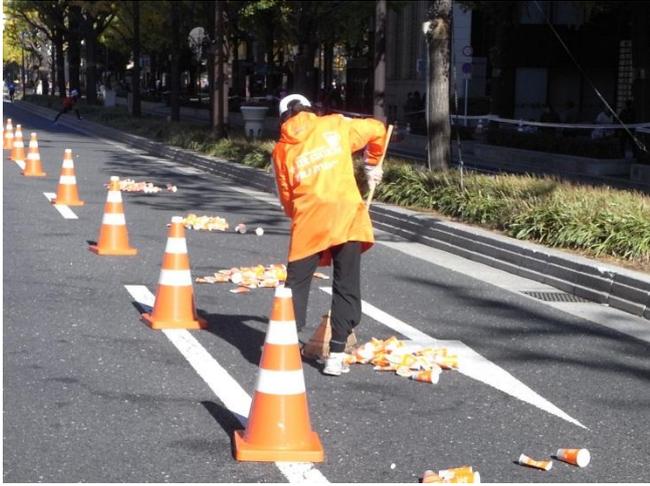
		ントもたくさん開催されており、来年も是非参加したいと思っています。
40代	女性	できればランナーで参加したいので、ボランティア活動は良かったが、来年もどうしたいかとかという質問は、正直迷います。ただ、大会はランナーだけのものではなく、沿道の応援の方やボランティアも含めたものだということが実感できたし、ランナーとして参加することが多いが、大会を支える人が居るからこそということが体験できてよかったと思う。
70代	女性	大阪にはこのような明るいイベントが似あう。
60代	女性	大勢の人が様々な格好で楽しそうに走っているのをまじかにみれて感激した
70代	男性	車いすマラソンのランナーのスピード感と懸命さに心打たれました。
60代	男性	多くの人々のおかげで無事に済みました。ボランティアを通じて友人も多くでき、大阪を盛り上げることもできたと思います。
50代	男性	各資料が詳細に作成してあってすごかった。ボランティアの立ち位置まで記入してあり準備から後片付けまでの大変さがよくわかった。
60代	女性	ランナーから感動をいただいたので、来年もぜひ参加したい。
60代	男性	ボランティア経験者にも、ランナー出場枠を検討してほしい。
50代	女性	こんなに楽しい大阪のお祭りが昨年からはまったことを、とてもうれしく、またいっそう大阪人のことを自慢に思うことができました。
20代	女性	楽しかったです。とても活気があってよいと思います。今回はリーダーとして参加させていただきました。メンバーにも恵まれ楽しく活動できました。たくさんの人とふれあう事で同じ目的を持つ同士としてとても充実した時間でした。

## <第2回大阪マラソン・ボランティア感想文>

### 「ボランティアをさせてもらって・・・」

私は、第1回大阪マラソンにランナーとして参加した。初めてのフルマラソンだったが、ボランティアや沿道から声援を送ってくれた方々、たくさんの人達の励ましのおかげで完走することができた。その経験から今年はランナーの支えになりたいと思い、第2回大阪マラソンに給水ボランティアとして参画した。

給水ボランティアは、台を組み立て、紙コップに水をいれ並べる簡単な作業だったが、「させてもらっている」という精神で、自ら積極的に動いた。大会が始まり、初めはランナーが一瞬で目の前を駆け抜けて行く姿に圧倒され、見ているだけだった。しかし、途中から走っているたくさんのランナーを見て、じっとしてられなくなり、「がんばれ」と声援を送りながら無意識に手を出し、ランナーとハイタッチをしている自分がいた。更に、気持ちが熱くなり、気付かないうちに体が前へ出て、ボランティアのリーダーの人に前に出すぎないように何度か注意された。よりランナーの近くで声をかけ、頑張ってもらいたいという気持ちが、自然に体を前に押し出したのではないと思う。また、走って



いるランナーを見ていると、自分も一緒に走っているつもりになって、気がつくと、その場でずっと足踏みしていた。

ランナーの中には、「ボランティアありがとう」と書いた紙を持って走っている人や「ありがとう」と言って走っていく人がいた。その人達に対しては「どういたしまして」ではなく、こちらこそ「大きな感動をありがとう」という気持ちで「ありがとう」と応えた。このような気持ちになれたのも去年はランナー、今年はボランティア、この両方を経験したからだと思う。そして、時間内に5キ

ロ地点を通過できず、マラソンを終わってしまう人を目の当たりにした。なんともいえない気持ちになったが、最後まで一步一步、前を向いて真剣に走っている姿に感動し、「ナイスラン」と声をかけ自然と拍手をしていた。

来年は、もう一度ランナーに応募しようと思う。もし、走れるならば、ボランティアや沿道で声援を送ってくださる方々、大阪マラソンの企画・運営に携わっている全ての方々に感謝の気持ちを持ち、走りたい。なぜなら、去年は、何も知らなくて、ただ自分が完走することだけを考えて走っていたが、今回ボランティアを経験して、大会を運営するために朝早くから準備をしてくれた多くの人達に支えられて、大阪マラソンが成り立っていることを実感できたからである。

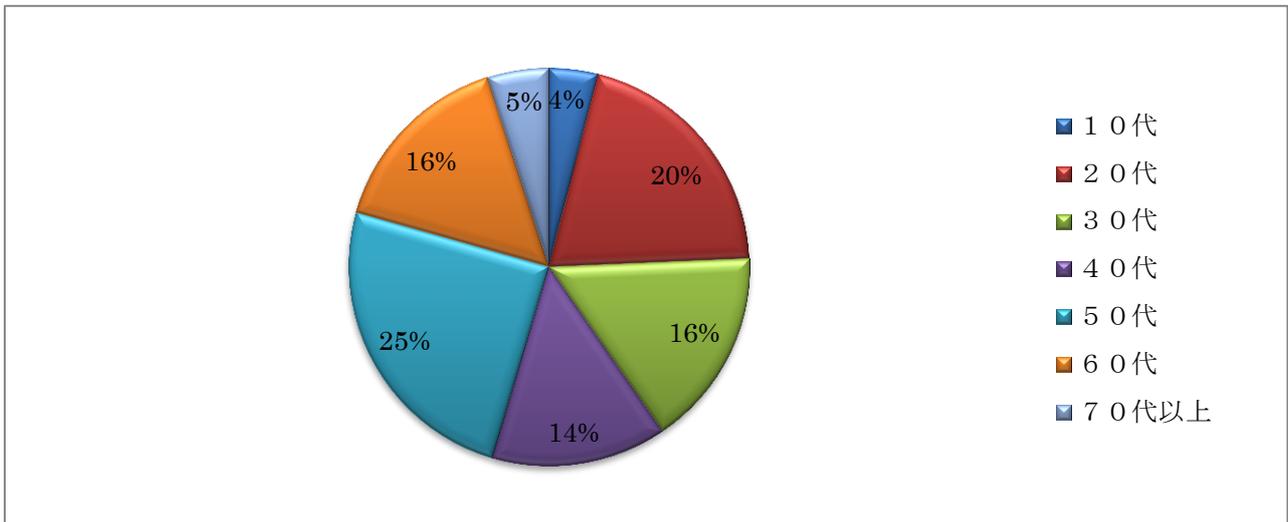
市民マラソンは、若い人から高齢者までの幅広い年齢層の人や外国人、みんながひとつになれる大きなイベントだと感じた。最近、大阪だけでなく、東京や神戸など各地で市民マラソンが行われて一種のブームになっているが、その理由が少しわかったような気がした。

(関西大学3年生 永田涼介)

## I. 観客

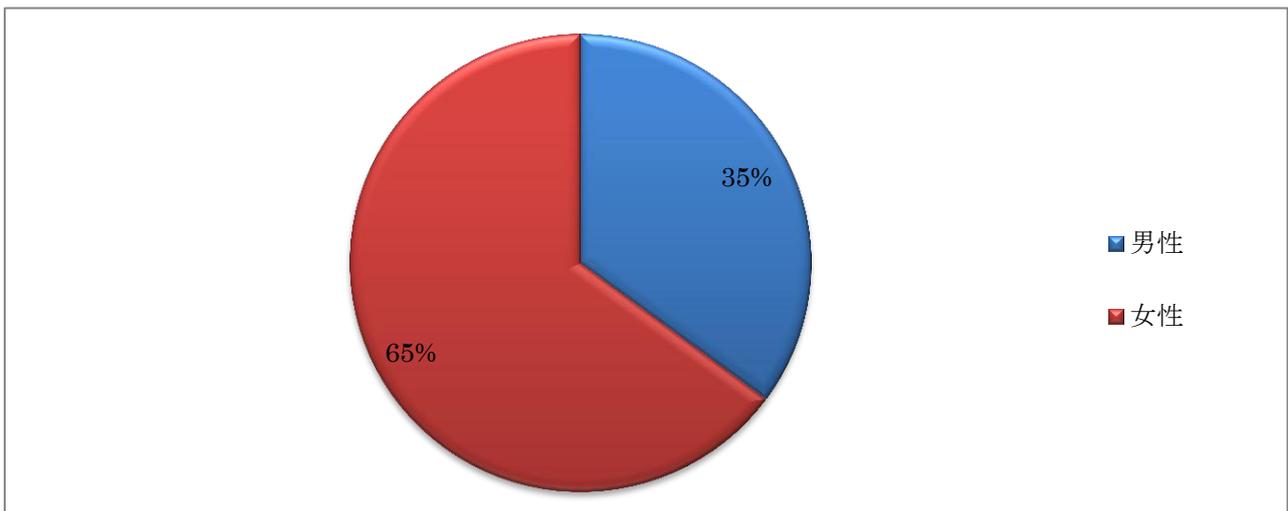
### (1) 調査対象の概要（有効回答者数：415）

#### ①年代



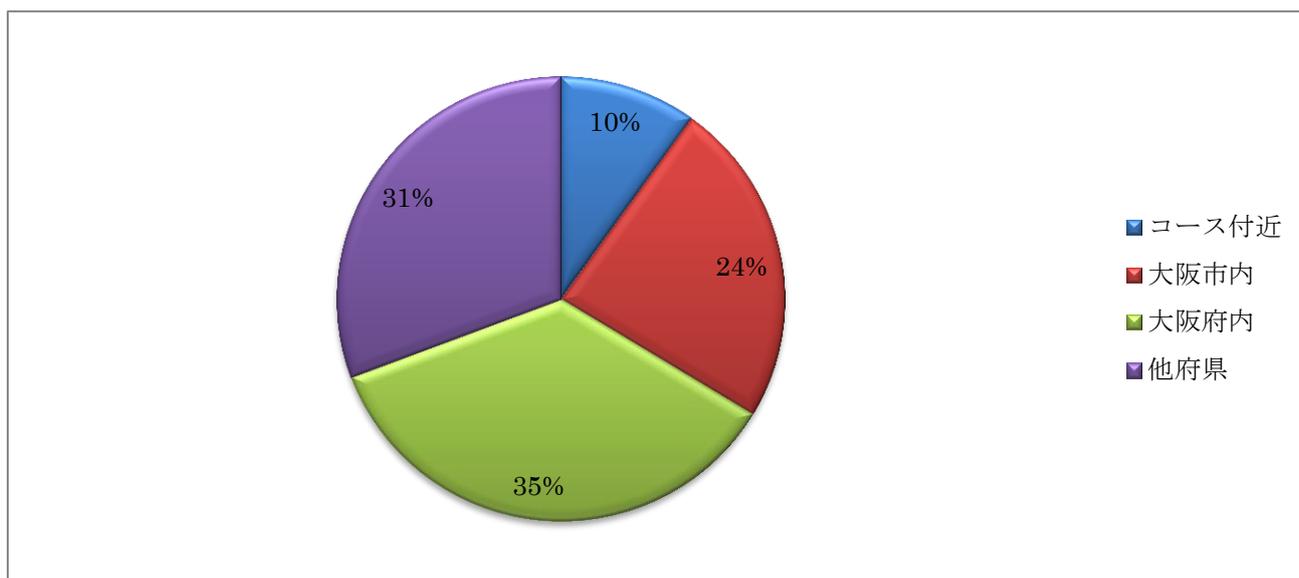
調査対象である観客の年齢は10代が4%、20代が20%、30代が16%、40代が14%、50代が25%、60代が16%、70代以上が5%と20代から60代はバランスが良いが、10代への調査が足りなかった。第1回調査では沿道の観客に、その場で書いてもらったが、今回はそれだけでなく、ブースを設けて興味を持ってもらった観客に書いてもらい、特に中年世代の人に興味を持ってもらった結果である。

#### ②性別



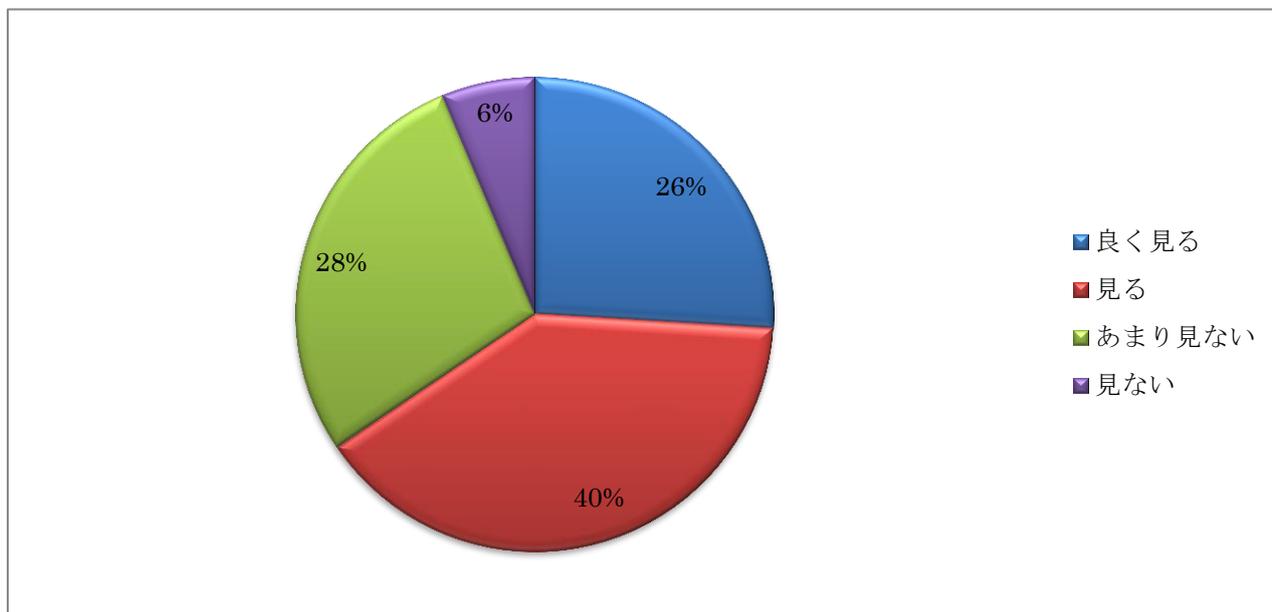
観客の性別についても、第1回調査と同様に、バランス良く取ろうとしたが、観客は女性が多いということ、協力してくれた観客に女性が多かったことによって、このような結果となった。

### ③居住地



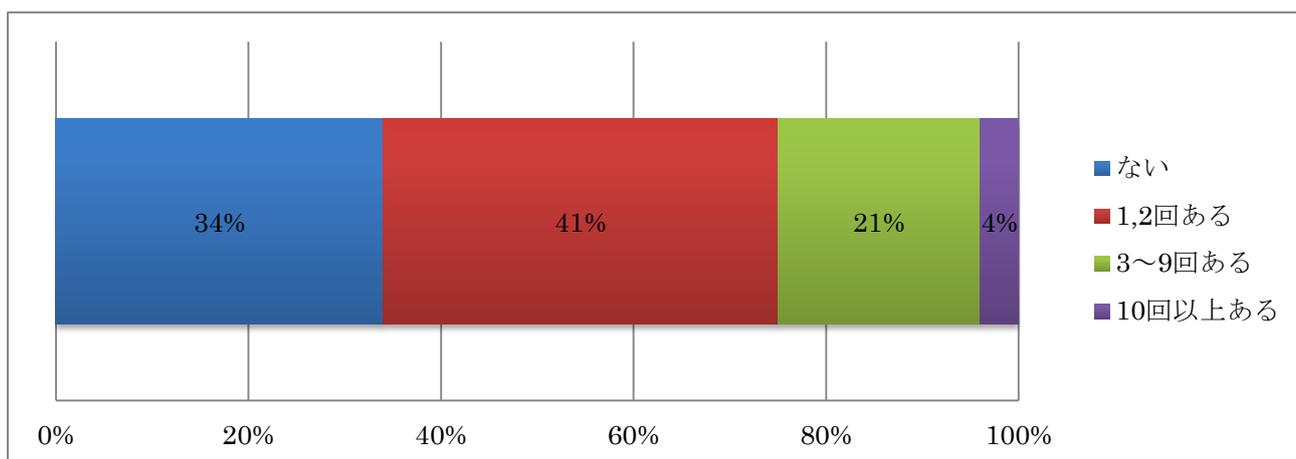
アンケートに協力してくれた観客を居住地域別に見ると、コース付近（10%）、大阪市内（24%）、大阪府内（36%）に住んでいる人が70%を占めており、地元の人々の応援が盛んであることが分かる。第1回調査ではその他の都道府県が26%であったので、今回は他府県からの応援でかけつけた人が増えていることがわかる。

### ④テレビでのマラソン視聴



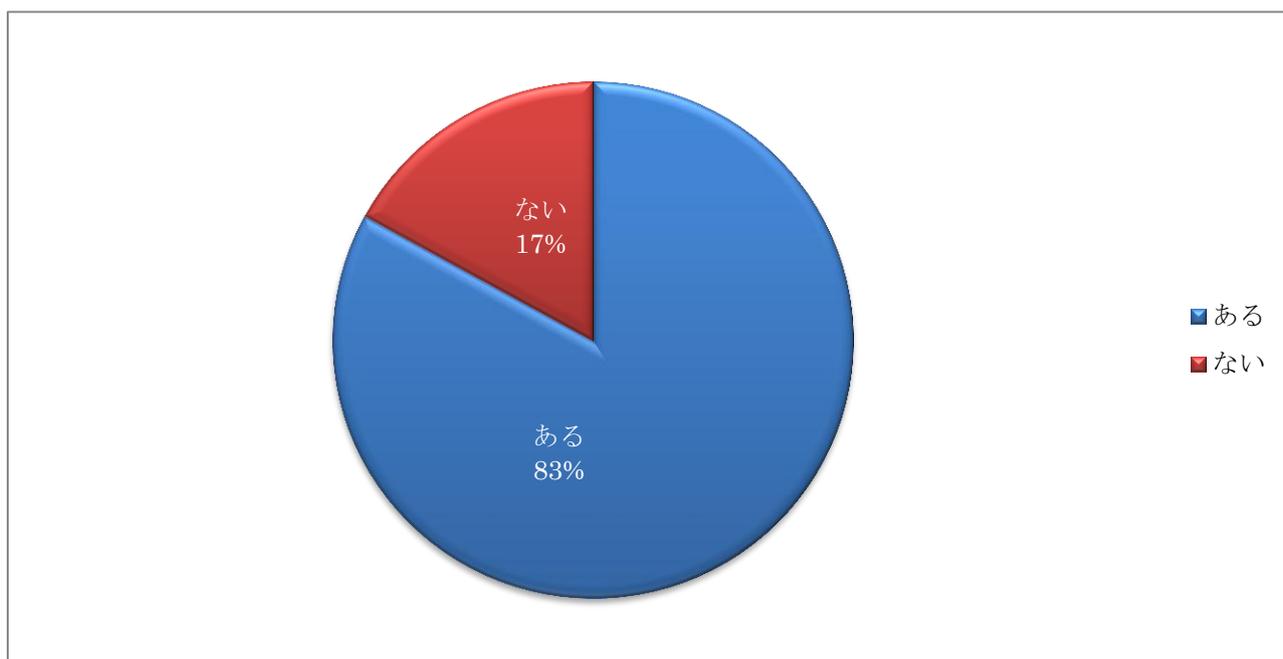
マラソンのテレビ中継をどれだけみているか聞くと、「よく見る」と答えた人は26%、「見る」と答えた人は40%、「あまり見ない」と答えた人は28%、「見ない」と答えた人は6%になり、第1回調査では「よく見る」と答えた人が34%でマラソンファンが減少する傾向にある。

### ⑤沿道でのマラソン応援経験



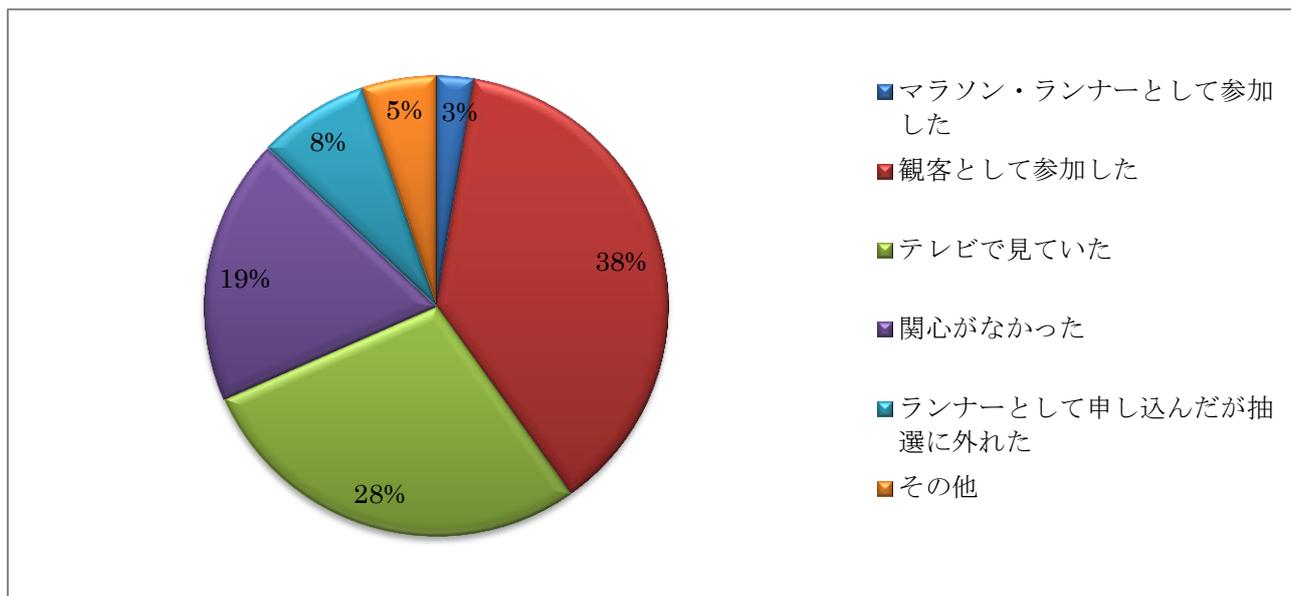
沿道での応援経験は「ない」と答えた人が34%となり、66%の人が1回以上応援経験をしたことがある。第1回調査では「ある」と答えた人が53%であったので、観客のリピーターが認められる。

### ⑥市民マラソンの経験



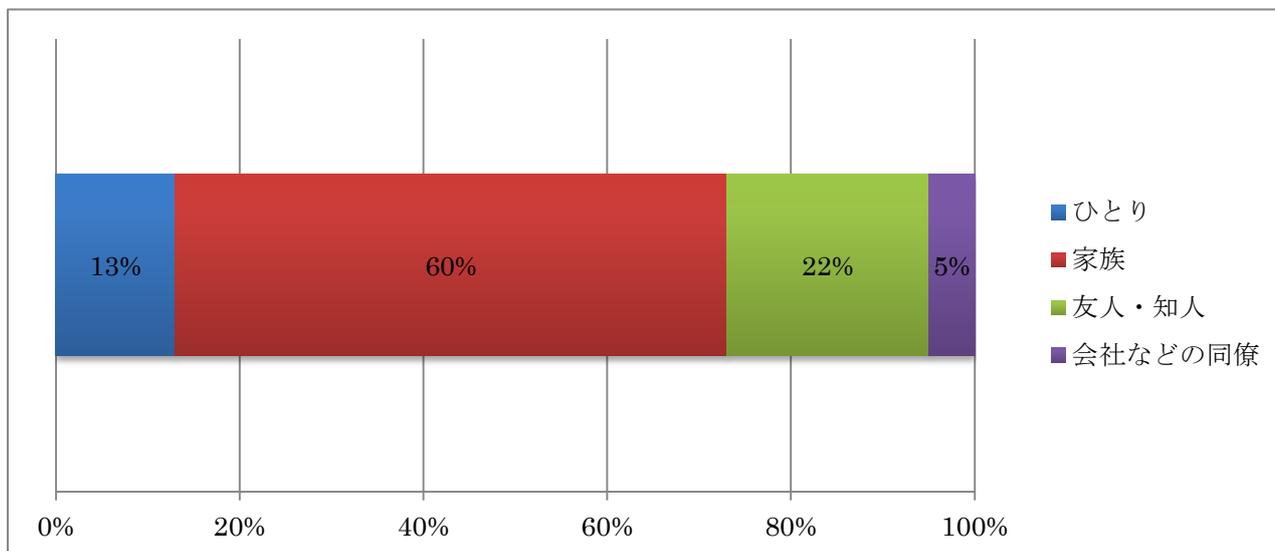
観客の中に、どれだけ市民マラソンを経験している人がいるのかを聞いてみたところ、83%の人は経験が「ある」ということであった。第1回調査では「ある」と答えた人は20%であったので、市民マラソン経験者が観客に多いという特筆すべき結果であった。また、市民マラソン経験が「ある」と答えた人の中には、今回の大阪マラソンに申し込んだが落選したという人多かったので、ランナーでダメでも観客として参加するという傾向がある。

### ⑦第1回大阪マラソンへの参加



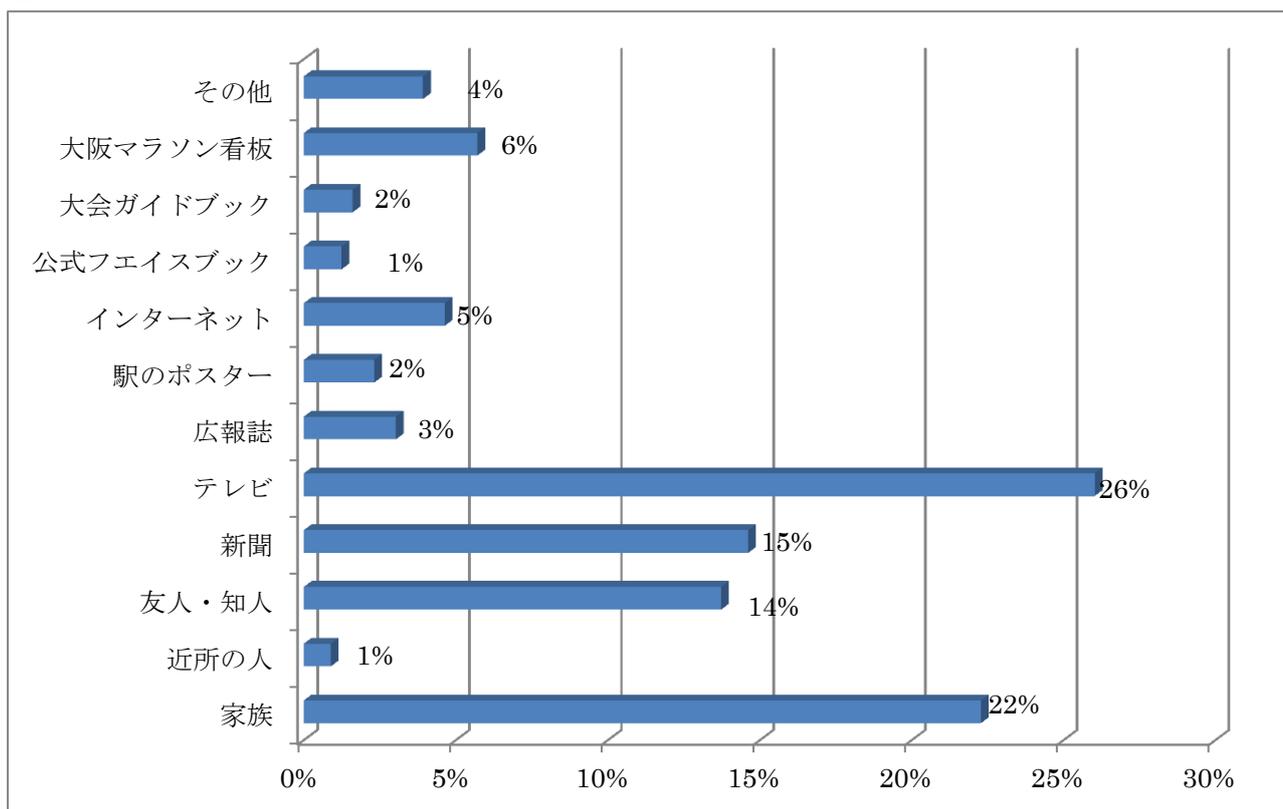
観客の中には第1回大阪マラソンも観客として参加した人が38%を占めており、応援を楽しんでいる人がたくさんいて、毎年の恒例行事に定着しつつある。また、第1回大阪マラソンの際にはテレビで見ていた人が28%となり、大阪マラソンへの興味が深まり、実際に足を運んで応援する人が増えた。

### ⑧観戦の仲間



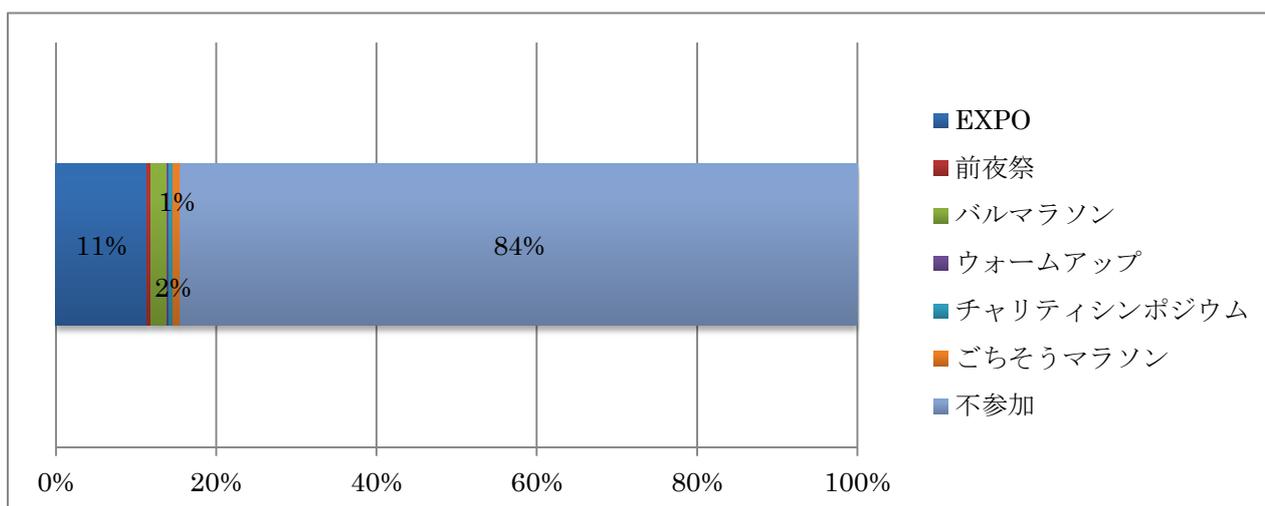
アンケートに協力してくれた人の60%が家族で来ていた。家族の一人がランナーであったりと、身内を応援している人が多かった。また、友人・知人と来ていた人も22%であり、知り合いがランナーである場合が多かった。

### ⑨大阪マラソンの認知（複数回答）



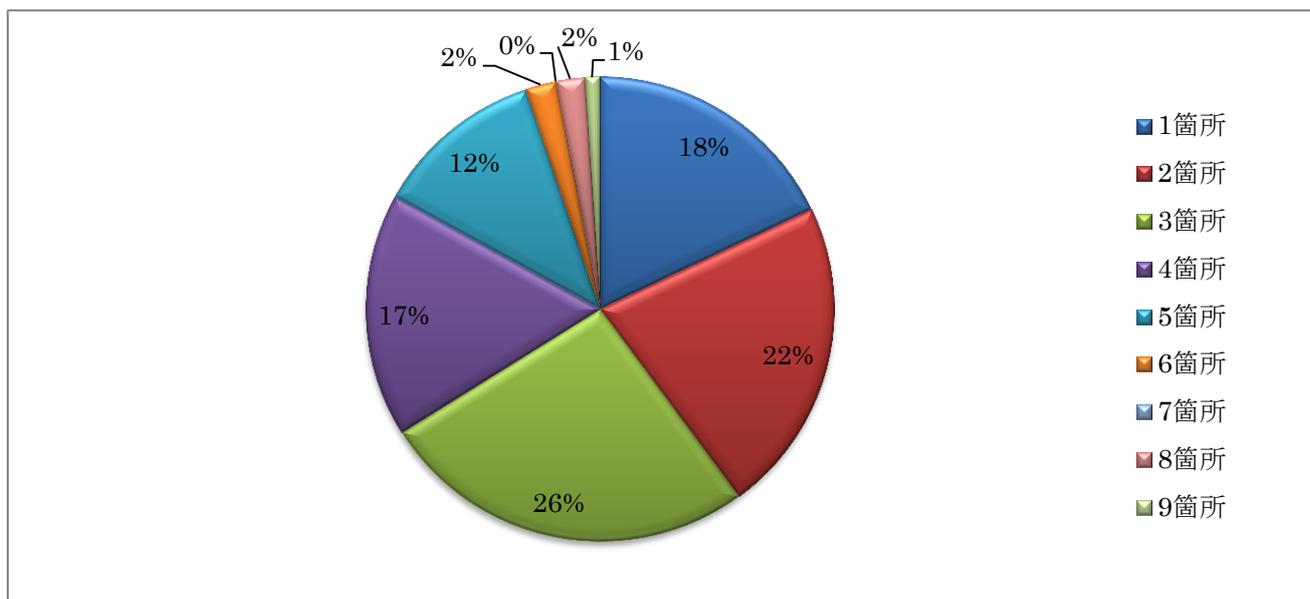
大阪マラソンを知った経緯はテレビが26%で一番多かった。ランナーはインターネットが一番多かったの  
で、情報入手のメディアの違いが明らかである。また、家族から聞いたという人が22%で、口コミによる  
情報入手が特徴的である。

### ⑩大阪マラソン関連のイベント参加



大阪マラソンに関連したイベントに参加した人は16%で、そのうち11%が前日のEXPO2012であった。  
不参加の84%の中には、これらのイベントについて知らない人も多かった。

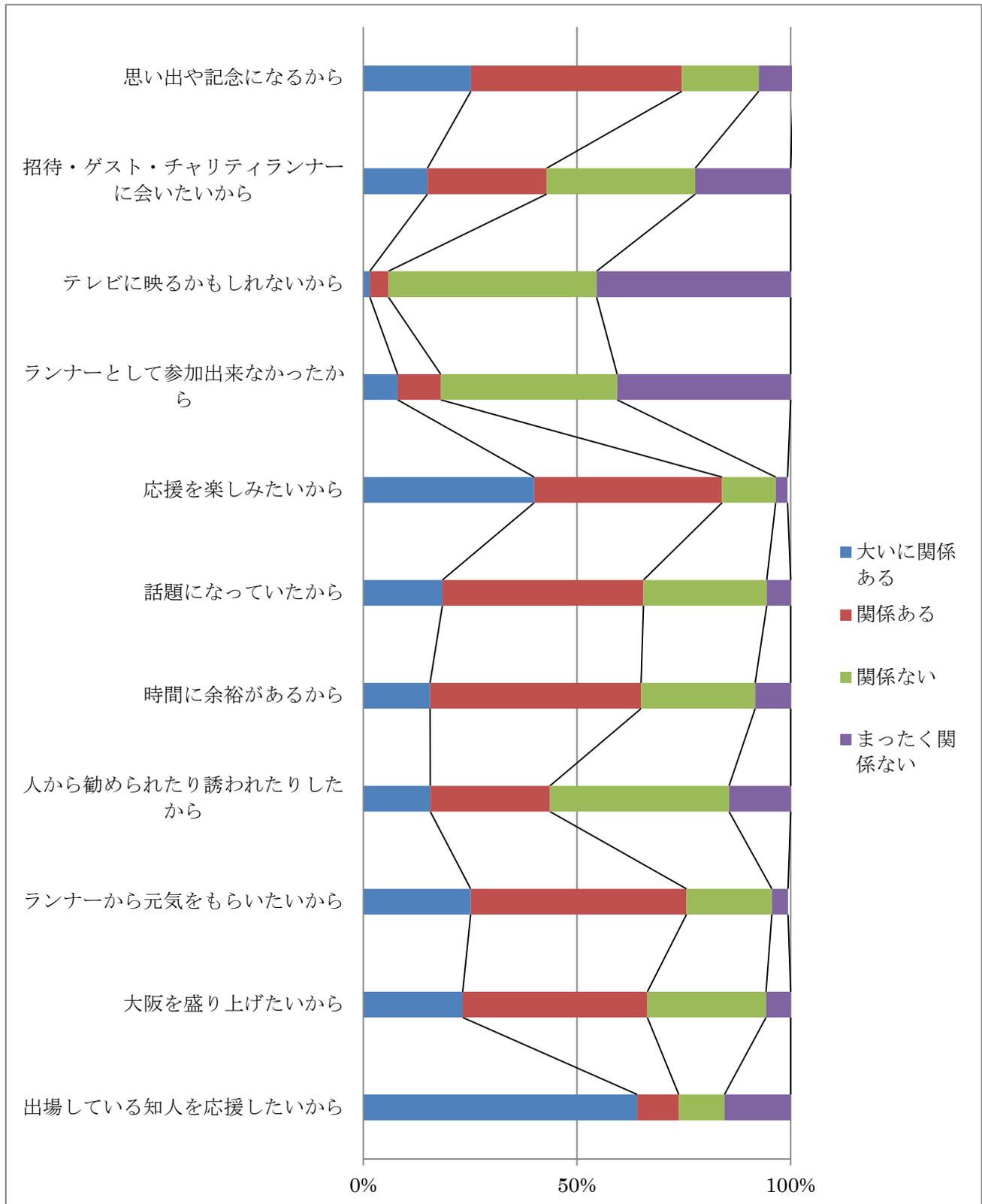
## ⑪ 応援箇所



応援箇所が1か所の人は18%、2か所の人は22%、3か所の人は26%となっており、2から5か所で応援した人が77%とほとんどの人が複数個所で応援を楽しんでいる。これは、市民マラソン特有の観戦形態となっている。また、コース設定がそれを可能にしているともいえる。

## (2) 大阪マラソンの応援について

### ①大阪マラソン観戦の理由



	大いに関係ある	関係ある	関係ない	まったく関係ない
思い出や記念になるから	25	49	18	8
招待・ゲスト・チャリティランナーに会いたいから	15	28	35	22
テレビに映るかもしれないから	2	4	49	45
ランナーとして参加できなかったから	8	10	41	41
応援を楽しみたいから	40	44	13	3
話題になっていたから	18	47	29	6
時間に余裕があるから	16	49	27	8
人から勧められたり誘われたりしたから	16	28	42	14
ランナーから元気をもraitたいから	25	51	20	4
大阪を盛り上げたいから	23	43	28	6
出場している知人を応援したいから	64	10	11	15

大阪マラソン観戦の理由で最も多かったものは「応援を楽しみたいから」で、「大いに関係ある」(40%)、「関係ある」(44%)を合わせると84%(第1回調査89%)の人がそう思っている。それは、応援を楽しむ文化が大阪には根付いていると考えられる。

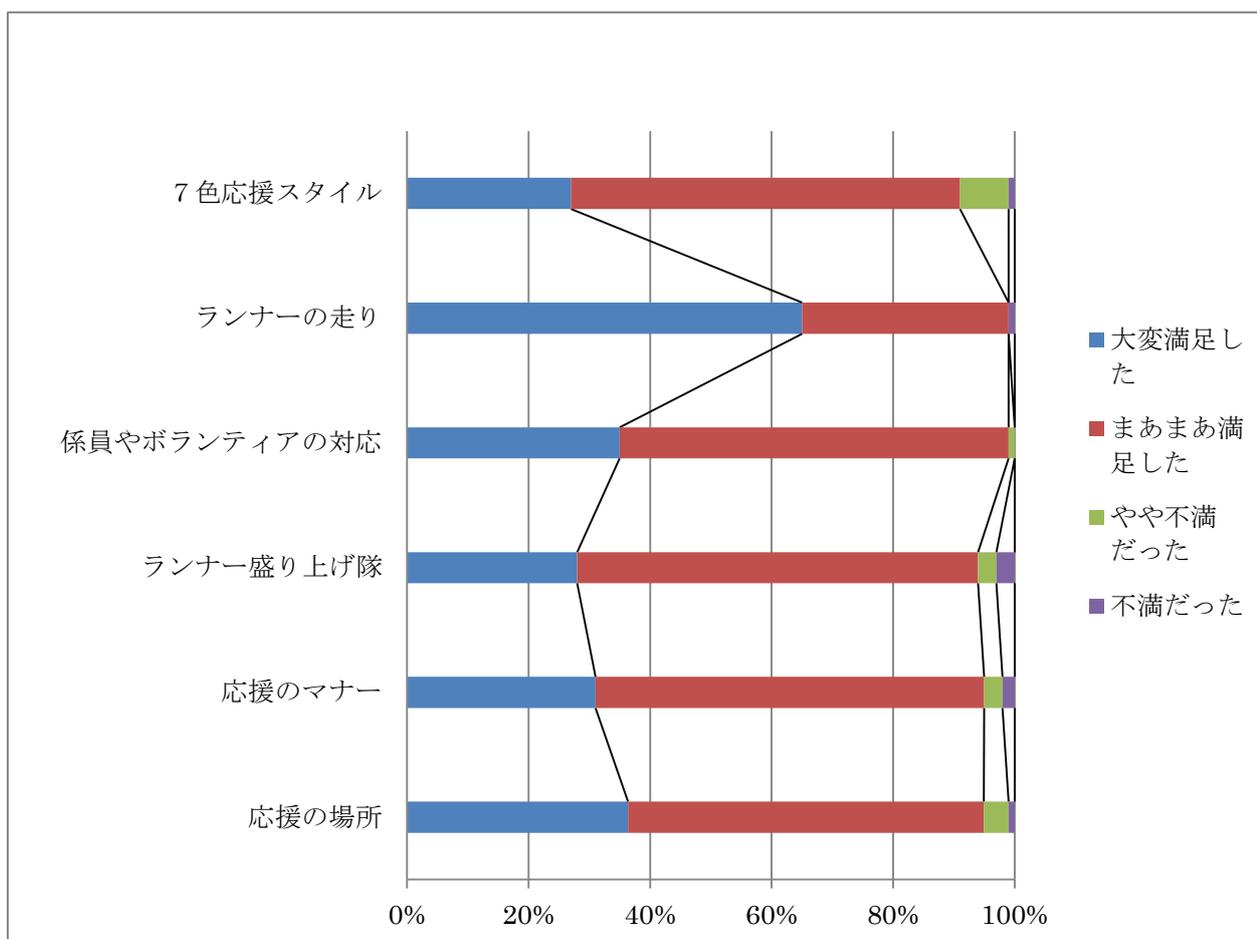
次に、「ランナーから元気をもraitたいから」を応援の理由に挙げている人は、「大いに関係ある」(25%)、「関係ある」(51%)を合わせると76%(第1回調査75%)の人がそう思っている。ボランティアと同じように観客もランナーから元気をもraitたいと思っている。

「思い出や記念になるから」は74%(第1回調査80%)の人が観戦理由であるとしており、大阪マラソンがお祭りとして認識されているといえる。

「出場している知人を応援したい」も74%(第1回調査67%)と観戦理由に上がっている。これは、応援行動としてはごく一般的な行動といえよう。

「ランナーとして参加できなかったから」は18%(第1回調査23%)と少なく、観戦理由になってはいない。

## ②大阪マラソン観戦の感想



	大変満足した	まあまあ満足した	やや不満だった	不満だった
7色応援スタイル	27%	64%	8%	1%
ランナーの走り	65%	34%	0%	1%
係員やボランティアの対応	35%	64%	1%	0%
ランナー盛り上げ隊	28%	66%	3%	3%
応援のマナー	31%	64%	3%	2%
応援の場所	36%	58%	4%	1%

「ランナーの走り」や「係員やボランティアの対応」には、ほとんどの人が満足している。また、7色の応援スタイルやランナー盛り上げ隊についても、満足している。さらに、応援のマナーや応援の場所についても、不満はないようである。

(3) 第2回大阪マラソン観客調査 自由記述

回答数 415 人 (うち自由意見記述あり 37 人から抜粋)

年齢	性別	お住まい	大阪マラソンへの要望
20代	女性	兵庫県	すごく感動しました。来年も来ます
50代	女性	三重県	地理がわからない者への対応が、みなさん、とても親切で気持ちよかった。駅の表示も多く、移動しやすかった。ありがとうございました。
20代	女性	大阪府内	大阪を盛り上げていてください
50代	女性	京都府	スタート時に知り合いの参加者に声かけれるようにしてほしい。
60代	女性	大阪府内	何年も続けて開催してほしい。
20代	男性	大阪府内	出場枠を増やして多くの人が走れるようにしてほしい
40代	女性	大阪府内	車椅子マラソンをもっと盛り上げて欲しい。
10代	女性	兵庫県	仮装をOKにすれば関心が少ない観客も楽しめると思う
30代	女性	大阪市内	初めて応援しましたが楽しかった。次回走ります
20代	女性	北海道	多くの有名人を間近で応援できるのは魅力的。うまいもん市も楽しかった
30代	女性	大阪府内	応援場所がもっとあればよかった。ゴール前でしかまともに見れなかった
30代	女性	京都府	これからも続けて欲しい。関わる全ての人の心にプラスにつながると思う
50代	女性	香川県	応援最適場所の情報などネットで出して欲しい
50代	女性	大阪市内	コスチューム着用を認める方が話題性もアップして注目を集め「大阪の個性」をアピールできると思う
50代	女性	大阪府内	チャリティランナーが見たくて応援に来ました。来年も見たいのでチャリティランナーを増やしてください
10代	男性	大阪府内	これからも大阪を盛り上げていてください
20代	女性	大阪市内	勇気もらいました。ありがとうございます。

## おわりに

### 大阪マラソンのこれから



世界の市民マラソンには、それぞれの特徴があります。

1973年に始まった「ホノルルマラソン」の特徴は、ハワイの観光とマラソンを組み合わせ、スポーツツーリズムの先駆けとなりました。観光はもはや Seeing から Doing と言われるように、単に景観を楽しむことから活動を伴うものとなり、マラソンというスポーツが、その活動の対象となったのです。

「ニューヨークシティマラソン」は、1977年にセントラルパークで始まりました。しかし、公園

内を走るだけでは、なかなかランナーが増えなかったため、マンハッタンの街を走るようにしたところ、参加者が激増し、都市型マラソンの典型として定着しました。

1981年に始まった「ロンドンマラソン」は、このニューヨークシティマラソンをモデルとして、そこに、参加ランナーが寄付を集めるチャリティランナーとして走るところにその特徴を持つようにしました。イギリスのチャリティ文化に根ざした市民マラソンであると言えます。

大阪マラソンはこのロンドンマラソンを目指しています。それは、もともと大阪に根付いていたチャリティ文化を再生しようとするねらいがあります。

そのためには、チャリティ文化にとって最も大切な人と人のつながりを実感する大会にしていく必要があります。具体的には、グループやペアエントリーを充実させて、より一層、仲間意識を高めたり、知らないランナー同士が、7色のチームカラーを意識し、チーム所属意識を高めることで一体感を味わう仕掛けが必要です。さらに、ランナー・ボランティア・観客の役割が循環することを進める必要があります。たとえば、ランナーで走った次の年はボランティアとして大阪マラソンに関わるなど、立場を変えることで支え合いの意味を実感できると思います。このランナーとボランティアと観客が一体となって作り出す、市民の手によるマラソン大会こそ、大阪マラソンの目指すところではないでしょうか。

このような新しい市民スポーツ文化の芽生えをメディアの方々に捉えてもらい、大阪マラソンの特徴を全国に発信できればと思います。そして、この報告書が、われわれの心の中で眠っている欲求（Unmet Needs）を照らし出すきっかけになればと願っています。

最後に、この調査研究にご協力いただいたランナーの方、ボランティアの方、観客の方にお礼申し上げますとともに、このような機会を与えていただいた大阪マラソン組織委員会に心より感謝申し上げます。

# 資料

ランナー調査票(大会前・後)  
ボランティア調査票(大会前・後)  
観客調査票  
読売新聞掲載紙

# 第2回大阪マラソン

## 参加ランナー大会前意識調査

11月25日、「第2回大阪マラソン」が開催されます。

3万人のランナーだけでなく、ボランティアや観客など、多くの人たちが大会にかかわり、大会を盛り上げます。

今回、読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行うことになりました。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。

また、大阪マラソン組織委員会に報告し、今後の大会運営に生かしてもらおうことにしています。ご協力をお願いします。

なお、大会終了後の12月初旬にも調査を計画しています。あわせてご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、  
個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

【あなた自身について】年齢(年代) ※必須  10代  20代  30代  40代  50代   
 60代  70代以上

性別 ※必須  男性  女性

お住まいの都道府県 ※必須都道府県のリスト選択形式です

参加種目 ※必須  登録  一般  車いす  チャレンジラン

参加申し込み ※必須  個人  ペア  グループ

第1回大阪マラソンへの参加 ※必須  マラソン・ランナーとして参加した

チャレンジラン・ランナーとして参加した

ボランティアとして参加した

観客として参加した

テレビで見ていた

関心がなかった

市民マラソン参加経験 ※必須

フルマラソン参加経験 ※必須

フルマラソンの自己ベストタイム  時間  分

フルマラソンの今回の目標タイム ※必須(「完走」を目標とされている場合は、「0 時間 0 分」と入力してください)

時間  分

大阪マラソンをどのようにして知りましたか？ ※必須(複数回答可)

テレビ  ラジオ  インターネット  新聞  雑誌

広報  ポスター・チラシ  友人  その他

大阪マラソンをどのようにして知りましたか？(その他)前設問で「その他」を選択された方は、具体的に

大阪には何日滞在の予定ですか？ ※必須

大阪には何日滞在予定ですか？(その他)前設問でその他を選んだ方はお答えください。

大阪マラソン以外に何かする予定はありますか？ ※必須あてはまるものをすべて選んでください。

- 別がない
- 大阪市内観光
- 大阪府下の観光
- 近郊県(京都、奈良、兵庫など)の観光
- 大阪名物を飲食する
- 買い物(ショッピング)をする
- USJなどの娯楽(アミューズメント)施設に行く
- お笑いなどの演芸を見る
- 文楽などの古典芸能を見る
- スポーツを見る
- 美術館・博物館などの文化施設に行く
- その他

大阪マラソン以外に何かする予定はありますか？(その他)前項目で「その他」を選んだ方は教えてください。

--

**【参加目的について】**

あなたが大阪マラソンに参加することを決めた理由は何ですか？

次の項目について、(○大いに関係ある ○まあまあ関係ある ○あまり関係ない ○まったく関係ない)の4段階で評価してください。

挑戦(完走、記録)してみたいから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
コース設定がよいと思ったから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
普段走れないところを走れるから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
制限時間が7時間だから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
ペアやグループエントリーがあったから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない

	<input type="radio"/> まったく関係ない
大阪の観光地を走れるから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
第1回大阪マラソンに参加した人に勧められたから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
参加人数が多い(規模が大きい)から ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
観客が多そうだから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
メディア(新聞やテレビ)に取り上げられるから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
大阪を盛り上げたいから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある

	<input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
チャリティの趣旨に賛同したから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
旅行気分を味わえるから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
時期(11月25日)がよいから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
ボランティア等のサポート体制が充実しているから ※必須	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
上記以外に参加を決めた理由があればお書きください。 (自由記述)	<div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div>

【エントリーについて】

参加のエントリーに関して、どのように思われますか？  
次の項目について当てはまるものを選んでください。

<p>開催告知の時期はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> ちょうど良い</p> <p><input type="radio"/> もっと早いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> もっと遅いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> どちらともいえない</p>
<p>エントリーの時期はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> ちょうど良い</p> <p><input type="radio"/> もっと早いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> もっと遅いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> どちらともいえない</p>
<p>当落通知の時期はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> ちょうど良い</p> <p><input type="radio"/> もっと早いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> もっと遅いほうが良い</p> <p><input type="radio"/> どちらともいえない</p>
<p>エントリーの手続きの仕方はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良かった</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 良くなかった</p>
<p>公式ホームページやメルマガ等での案内はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良かった</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 良くなかった</p>
<p>エントリーセンターやコールセンターの受付対応はいかがでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良かった</p>

<p>したか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 良くなかった</p>
<p>エントリーなどに特典のある有料メンバーの会員組織をつくったほうがよい ※必須</p>	<p><input type="radio"/> そう思う</p> <p><input type="radio"/> どちらかというと思う</p> <p><input type="radio"/> あまりそう思わない</p> <p><input type="radio"/> そう思わない</p>
<p>チャリティの額に応じて抽選優遇やランナーサービスなどの特典があってもよい ※必須</p>	<p><input type="radio"/> そう思う</p> <p><input type="radio"/> どちらかというと思う</p> <p><input type="radio"/> あまりそう思わない</p> <p><input type="radio"/> そう思わない</p>
<p>上記以外にエントリーに関して気になることがあればお書きください。(自由記述)</p>	<div style="border: 1px solid gray; height: 80px; width: 100%;"></div>

【イベントや関連取り組みについて】

イベントや関連の取り組みに関して、どのように思われますか。  
次の項目について3つの中から選んでください。

<p>大阪“バル”マラソンについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 知らない</p> <p><input type="radio"/> 知っているが参加しない</p> <p><input type="radio"/> 参加しようと思っている</p>
<p>大阪マラソンチャリティシンポジウムについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 知らない</p> <p><input type="radio"/> 知っているが参加しない</p> <p><input type="radio"/> 参加しようと思っている</p>
<p>「PUSH」講習会について ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 知らない</p>

	<input type="radio"/> 知っているが参加しない <input type="radio"/> 参加しようと思っている
マラソン EXPO について ※必須	<input type="radio"/> 知らない <input type="radio"/> 知っているが参加しない <input type="radio"/> 参加しようと思っている
大阪マラソン 2012 前夜祭 in ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ※必須	<input type="radio"/> 知らない <input type="radio"/> 知っているが参加しない <input type="radio"/> 参加しようと思っている
大阪マラソンファンクラブサイトについて ※必須	<input type="radio"/> 知らない <input type="radio"/> 知っているが見たことはない <input type="radio"/> 見たことがある
上記以外に大阪マラソンで取り組んで欲しいイベント等があればお書きください(自由記述)	<div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div>

【チャリティについて】

大阪マラソンの一つの特徴としてチャリティがあります。  
8つのチャリティテーマから支援したいテーマを選んで寄付するものです。  
これについてどれくらいご理解頂いていますか？

チャリティの趣旨について ※必須	<input type="radio"/> よく分かっている <input type="radio"/> まあまあ分かっている <input type="radio"/> あまり分かっていない <input type="radio"/> まったく分かっていない
チャリティカラーを設けている趣旨について ※必須	<input type="radio"/> よく分かっている <input type="radio"/> まあまあ分かっている

	<input type="radio"/> あまり分かっていない <input type="radio"/> まったく分かっていない
寄付先の目的や活動について <b>※必須</b>	<input type="radio"/> よく分かっている <input type="radio"/> まあまあ分かっている <input type="radio"/> あまり分かっていない <input type="radio"/> まったく分かっていない
チャリティランナーやチャリティサポーターについて <b>※必須</b>	<input type="radio"/> よく分かっている <input type="radio"/> まあまあ分かっている <input type="radio"/> あまり分かっていない <input type="radio"/> まったく分かっていない
ジャストギビングを使ってチャリティに参加できることについて <b>※必須</b>	<input type="radio"/> よく分かっている <input type="radio"/> まあまあ分かっている <input type="radio"/> あまり分かっていない <input type="radio"/> まったく分かっていない

チャリティについてのご意見があれば、ご自由にお書きください(自由記述)

【大阪マラソンへの要望】大会運営に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

# 第2回大阪マラソン

## 参加ランナー大会後意識調査

11月25日、「第2回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査では、ランナーのみなさんに、大会前後での調査へのご協力をお願いしています。今回は、大会後の調査協力をお願いします。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらう予定にしています。

ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

### 締切 12月10日(月)

【あなた自身について】年齢(年代) ※必須  10代  20代  30代  40代  50代

60代  70代以上

性別 ※必須  男性  女性

お住まいの都道府県 ※必須都道府県のリスト選択形式です

以下から1つを選択してください

大会前のアンケートにご回答いただきましたか？ ※必須  回答した  回答しなかった

参加種目 ※必須  登録  一般  車いす  チャレンジラン

参加申し込み ※必須  個人  ペア  グループ

第1回大阪マラソンへの参加 ※必須  マラソン・ランナーとして参加した

チャレンジラン・ランナーとして参加した

ボランティアとして参加した

観客として参加した

- テレビで見っていた
- 関心がなかった
- ランナーとして申し込んだが抽選に外れた
- その他

第1回大阪マラソンへの参加(その他)前設問でその他を選んだ方はお答えください。

市民マラソン参加経験 **※必須**

フルマラソン参加経験 **※必須**

今回のフルマラソンを完走することができましたか？ **※必須**  完走した  未完走

今回のフルマラソンのタイム  時間  分

大阪マラソンをどのようにして知りましたか？ **※必須**(複数回答可)

テレビ  ラジオ  インターネット  新聞  雑誌

府市広報  ポスター・チラシ  友人  その他

大阪マラソンをどのようにして知りましたか？(その他)前設問で「その他」を選択された方は、具体的に入力してください

大阪には何日滞在しましたか？ **※必須**

大阪には何日滞在予定ですか？(その他)前設問でその他を選んだ方はお答えください。

大阪マラソン以外に何か活動をしましたか？ **※必須**(複数回答可)

- 別しなかった
- 大阪市内観光
- 大阪府下の観光
- 近郊県(京都、奈良、兵庫など)の観光
- 大阪名物を飲食する
- 買い物(ショッピング)をする

- USJなどの娯楽(アミューズメント)施設に行く
- お笑いなどの演芸を見る
- 文楽などの古典芸能を見る
- スポーツを見る
- 美術館・博物館などの文化施設に行く
- その他

大阪マラソン以外に何か活動をしましたか？(その他)前項目で「その他」を選んだ方は教えてください。

第2回大阪マラソンに満足しましたか？ **※必須**  大変満足した  まあまあ満足した  どちらかという  
 くと不満足だった  不満足だった

**【参加目的について】**

あなたが大阪マラソンに参加することを決めた理由は何ですか？

次の項目について、(○大いに関係ある ○まあまあ関係ある ○あまり関係ない ○まったく関係ない)の4段階で評価してください。

挑戦(完走、記録)してよかった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく思わない
コース設定がよかった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
普段走れないところを走れてよかった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない

	<input type="radio"/> まったくそう思わない
制限時間が7時間でよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
ペアやグループエントリーがあつたのがよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
大阪の観光地を走れたのがよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
友人に勧めたいと思った ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
参加人数が多い(規模が大きい)ところがよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
一般の観客の応援が励みになった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う

	<input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
7色応援スタイル(観客がチャリティカラー7色のいずれかのアイテムを持ってランナーを応援)が励みになった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
ランナー盛り上げ隊(沿道20カ所の音楽やダンスの応援パフォーマンス)がよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
メディア(新聞やテレビ)に取り上げられてよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
大阪を盛り上げることができてよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
チャリティに参加できてよかった ※必須	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない

	<input type="radio"/> まったくそう思わない
<b>旅行気分を味わえてよかった</b> <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
<b>時期(11月25日)がよかった</b> <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
<b>ボランティア等のサポート体制が充実していてよかった</b> <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
<b>上記以外に参加後の感想があればお書きください。(自由記述)</b>	<div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div>

**【大会運営について】**

大会運営について、どのように思われますか？

次の項目について(○満足している ○まあまあ満足だ ○あまり満足ではない ○不満足である)の4段階で評価してください。

また、「不満足である」とお答えの方は、差支えがなければその内容についてお書きください。

<b>1. インテックス大阪(ナンバー受け取り)への誘導はどうか？ ※必須</b>	<input type="radio"/> 満足している <input type="radio"/> まあまあ満足している <input type="radio"/> どちらかというの不満足である <input type="radio"/> 不満足である
---	--

<p>1. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>2. ランナーの受付はどうでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかというの不満足である</p> <p><input type="radio"/> 不満足である</p>
<p>2. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>3. スタート地点への誘導はどうでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかというの不満足である</p> <p><input type="radio"/> 不満足である</p>
<p>3. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>4. 手荷物の預けと受け取りはどうでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかというの不満足である</p> <p><input type="radio"/> 不満足である</p>
<p>4. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>5. 給水はどうでしたか？ ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p>

	<input type="radio"/> どちらかという不満足である <input type="radio"/> 不満足である
5. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。	<input type="text"/>
6. 給食はどうでしたか？ ※必須	<input type="radio"/> 満足している <input type="radio"/> まあまあ満足している <input type="radio"/> どちらかという不満足である <input type="radio"/> 不満足である
6. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。	<input type="text"/>
7. トイレの設置はどうでしたか？ ※必須	<input type="radio"/> 満足している <input type="radio"/> まあまあ満足している <input type="radio"/> どちらかという不満足である <input type="radio"/> 不満足である
7. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。	<input type="text"/>
8. 時計や距離等の表示はどうでしたか？ ※必須	<input type="radio"/> 満足している <input type="radio"/> まあまあ満足している <input type="radio"/> どちらかという不満足である <input type="radio"/> 不満足である
8. 前項目で「不満足である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。	<input type="text"/>

<p>9.会場までの誘導はどうか？ <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかという不満である</p> <p><input type="radio"/> 不満である</p>
<p>9.前項目で「不満である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>10.救護についてはどうか？ <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかという不満である</p> <p><input type="radio"/> 不満である</p>
<p>10.前項目で「不満である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>11.記念品(タオル、メダル等)はどうか？ <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 満足している</p> <p><input type="radio"/> まあまあ満足している</p> <p><input type="radio"/> どちらかという不満である</p> <p><input type="radio"/> 不満である</p>
<p>11.前項目で「不満である」を選んだ方。差し支えなければその内容についてお書きください。</p>	
<p>上記以外に大会運営についてご意見があればお書きください(自由記述)</p>	

**【イベントや関連取り組みについて】**

公式プレイイベントや関連の取り組みに関して、どのように思われましたか？  
次の項目について5つの中から選んでください。

<p>1.大阪「バル」マラソン 2012 (11月23日～25日)について <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 参加して、大変良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加しなかった</p>
<p>2.大阪マラソン 2012 ウォームアップ FunRun! (9月8日)について <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 参加して、大変良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加しなかった</p>
<p>3.大阪マラソンチャリティシンポジウム(9月22日)について <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 参加して、大変良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加しなかった</p>
<p>4.第3回大阪ごちそうマラソン(11月18日)について <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 参加して、大変良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加したが、良くなかった</p> <p><input type="radio"/> 参加しなかった</p>
<p>5.大阪マラソン PUSH 講習会(9月9日、15日、30日、10月14日)について <b>※必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 参加して、大変良かった</p> <p><input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった</p>

	<input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
6. 大阪マラソン EXPO2012 (11月23日～25日)について <b>※必須</b>	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
7. 大阪マラソン 2012 前夜祭 in ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(11月23日、24日)について <b>※必須</b>	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
上記以外に大阪マラソンで取り組んで欲しいイベント等があればお書きください(自由記述)	<input type="text"/>

**【チャリティについて】**

大阪マラソンの一つの特徴としてチャリティがあります。大阪マラソンに参加して、チャリティのあり方についてどのように思いましたか？  
5つの中から選んでください。

1. チャリティの趣旨について <b>※必須</b>	<input type="radio"/> 良いと思った <input type="radio"/> まあまあ良いと思った <input type="radio"/> あまり良くないと思った <input type="radio"/> 良くないと思った <input type="radio"/> よく分からない
----------------------------	--

<p>2. チャリティカラーを設けていることについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良いと思った</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良いと思った</p> <p><input type="radio"/> あまり良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> 良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> よく分からない</p>
<p>3. 寄付先の目的や活動を明確にしていることについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良いと思った</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良いと思った</p> <p><input type="radio"/> あまり良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> 良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> よく分からない</p>
<p>4. チャリティランナーやチャリティサポーターを置くことについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良いと思った</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良いと思った</p> <p><input type="radio"/> あまり良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> 良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> よく分からない</p>
<p>5. 自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやオフィシャルループを身につけて走ることにについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良いと思った</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良いと思った</p> <p><input type="radio"/> あまり良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> 良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> よく分からない</p>
<p>6. ジャストギビングを使ってチャリティに参加できることにについて ※必須</p>	<p><input type="radio"/> 良いと思った</p> <p><input type="radio"/> まあまあ良いと思った</p>

	<p><input type="radio"/> あまり良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> 良くないと思った</p> <p><input type="radio"/> よく分からない</p>
チャリティについてのご意見があれば、ご自由にお書きください。	

【大阪マラソンへの要望】 大会運営に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。



## 第2回大阪マラソン ボランティアの意識調査(大会前)

11月25日、「第2回大阪マラソン」が開催されます。3万人のランナーだけでなく、ボランティアや観客など、多くの人たちが大会にかかわり、大会を盛り上げます。

今回、読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行うことになりました。調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会に報告し、今後の大会運営に生かしてもらおうことになっています。ご協力をお願いします。

なお、大会終了後の12月初旬にも調査を計画しています。あわせてご協力をお願いします。

※ 今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありません。ありのままをお答えください。

<あなた自身について> 当てはまる番号に○をしてください。

◆年齢を教えてください： ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

◆性別を教えてください： ①男性 ②女性

◆普段はどのような地域活動をされていますか？

①何もしていない。 ②自治会・町内会 ③福祉関連団体 ④PTA・子ども会など社会教育団体 ⑤スポーツ関連団体 ⑥文化芸術関連団体 ⑦防犯・交通安全関連団体 ⑧その他( )

◆市民マラソンにランナーとして参加したことがありますか？

①ない ②1, 2回ほどある ③3~9回ほどある ④10回以上ある

◆第1回大阪マラソンに参加しましたか？

①ボランティアとして参加した ②ランナーとして参加した ③スタッフ、役員として参加した  
④観客として参加した ⑤テレビで見ていた ⑥関心がなかった  
⑦その他( )

<ボランティア活動経験について> 当てはまる番号に○をしてください。

1、これまでにボランティア活動(内容は問わず)にどのくらい参加したことがありますか？

①ない ②数年に1回程度 ③年に1から2回程度 ④年に数回程度 ⑤月に1回程度 ⑥月に数回程度 ⑦週に1回以上

2、「①ない」と答えた方以外の方は、どのような内容のボランティア活動ですか？

あてはまるものすべてをお答えください。

①スポーツイベント関連 ②スポーツクラブ・団体関連 ③福祉関連 ④災害関連 ⑤教育関連 ⑥観光関連 ⑦環境関連 ⑧文化芸術関連 ⑨その他( )

3、「①ない」と答えた方は、なぜなかったのでしょうか？

①機会がなかった ②する気がなかった ③自分には出来ないと思っていた  
④誘ってくれる人がいなかった ⑤ただ何となく ⑥その他( )

<ボランティア活動への参加について> 当てはまる番号に○をつけてください。

4、あなたが大阪マラソンのボランティアに参加することを決めた理由は何ですか？  
次の項目について4段階で評価してください。

4-1 人の世話をしたいから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-2 いろんな人に出会えるから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-3 自分自身を高めたいから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-4 ボランティアの経験を深めたいから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-5 地域や社会のために役立ちたいから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-6 日常生活に張り合いを与えてくれるから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-7 趣味や特技を活かせるから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-8 大阪を盛り上げたいから。

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-9 人から勧められたり誘われたりしたから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-10 時間に余裕がある(あった)から

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-11 マラソンが好きだから

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-12 参加人数が多い(規模が大きい)大会だから。

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

4-13 メディア(新聞やテレビ)に取り上げられるから。

①大いに関係ある。 ②まあまあ関係ある。 ③あまり関係ない。 ④まったく関係ない。

<チャリティについて> 当てはまる番号に○をつけてください。

6、大阪マラソンの特徴の一つとしてチャリティがあります。8つのチャリティテーマから支援したいテーマを選んで寄付するものです。これについてどのように思われますか？次の項目について4段階で評価してください。

6-1 チャリティの趣旨はよく理解できる。

①そう思う ②どちらかというと思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

6-2 チャリティの寄付先が選択できてよい。

①そう思う ②どちらかというと思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

6-3 チャリティカラーを設けている趣旨はよく理解できる。

①そう思う ②どちらかというと思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

6-4 ボランティアもチャリティに協力すべきだ。

①そう思う ②どちらかというと思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

6-5 チャリティを参加者以外に広げていくべきだ。

①そう思う ②どちらかというと思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

#### <大阪マラソンへの要望>

大阪マラソンへの要望があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

読売新聞大阪本社・関西大学

# 第2回大阪マラソン

## ボランティアの意識調査(大会後)ご協力をお願い

11月25日、「第2回大阪マラソン」が開催されました。いかがだったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。本調査では、ランナーのみなさんに、大会前後での調査へのご協力をお願いしています。

今回は、大会後の調査協力をお願いします。調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。

また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に生かしてもらおう予定にしています。ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

### 締切 12月10日(月)

【あなた自身について】年齢を教えてください ※必須  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代以上

性別を教えてください ※必須  男性  女性

大会前のボランティア調査にご回答いただきましたか？ ※必須  回答した  回答しなかった

ボランティアはどのように申し込まれましたか？ ※必須  団体申し込み  個人申し込み

普段はどのような地域活動をされていますか？ ※必須  何もしていない

- 自治会・町内会
- 福祉関連団体
- PTA・子ども会など社会教育団体
- スポーツ関連団体
- 文化芸術関連団体
- 環境保護団体
- 防犯・交通安全関係団体

その他

前項目で「その他」を選んだ方。具体的に教えてください。 ※必須

市民マラソンにランナーとして参加したことがありますか？ ※必須  ない  1, 2 回ほどある  3  
~9 回ほどある  10 回以上ある

第 1 回大阪マラソンに参加しましたか？ ※必須  ボランティアとして参加した

ランナーとして参加した

スタッフ、役員として参加した

観客として参加した

テレビで見っていた

関心がなかった

ランナーとして申し込んだが抽選に外れた

その他

前項目で「その他」を選んだ方。具体的に教えてください。

【ボランティア活動経験について】これまでにボランティア活動(内容は問わず)にどのくらい参加したことがありますか？ ※必須  今回が初めて

数年に 1 回程度

年に 1 から 2 回程度

年に数回程度

月に 1 回程度

月に数回程度

週に 1 回以上

それは、どのような内容のボランティア活動ですか？あてはまるものすべてをお答えください。 ※必須

スポーツイベント関連  スポーツクラブ・団体関連  福祉関連  災害関連  教育関連  観光関連  環境関連  文化芸術関連  その他

今回の大阪マラソンでは具体的にどのようなボランティアをしましたか？ **※必須**  ランナーの受付

- ランナーへの給水・給食
- コース(沿道)の整理
- ランナーの救護
- 手荷物預かり・返却
- 完走メダル配布などのスタート・フィニッシュ会場でのランナーサービス
- その他

前項目で「その他」を選んだ方。具体的に教えてください。

**【ボランティア活動への参加について】**

大阪マラソンのボランティアをしてみて、次の項目についてどのように思われましたか  
次の項目について 4 段階で評価してください。

1.人の世話をすることができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
2.いろいろな人に出会えた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
3.自分自身を高めることができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
4.ボランティアの経験を深められた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
5.地域や社会のために役立った <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
6.日常生活に張り合いができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
7.趣味や特技を活かすことができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく

	そう思わない
8.大阪を盛り上げることができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
9.大阪マラソンのボランティアを人にすすめたい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
10.来年はランナーとして参加したい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
11.マラソンが好きになった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
12.参加人数が多い(規模が大きい)大会でよかった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
13.ボランティア同士の交流ができた <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
14.ランナーから元気をもらった <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
15.来年も大阪マラソンのボランティアをしたい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
16.他の市民マラソンのボランティアをしたい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
17.市民マラソン以外のスポーツボランティアをしたい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない
18.スポーツ以外のボランティアをしたい <b>※必須</b>	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったく そう思わない

【チャリティについて】

大阪マラソンの特徴の一つとしてチャリティがあります。

これについてどのように思われますか？

次の意見についてお考えを聞かせてください。

1.チャリティの趣旨は良い <b>※必須</b>	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかというそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない
--------------------------	--

	<input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 分からない
2.チャリティの寄付先が選択できて良い <b>※必須</b>	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかというと思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 分からない
3.チャリティーカラーを設けているのは良い <b>※必須</b>	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかというと思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 分からない
4.チャリティランナーやチャリティサポーターを置いているのは良い <b>※必須</b>	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかというと思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 分からない
5.ボランティアもチャリティにもっと協力すべきだ <b>※必須</b>	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかというと思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 分からない

【イベント参加について】大阪マラソンの公式イベントや関連取り組みのうち、参加されたものをお答えください。(複数回答可) **※必須**  大阪マラソン EXPO2012(11月23日～25日)

- 大阪“バル”マラソン 2012(11月23日～25日)
- 大阪マラソン 2012 ウォームアップ FunRun!(9月8日)
- 大阪マラソンチャリティシンポジウム(9月22日)
- 第3回大阪ごちそうマラソン(11月18日)
- 大阪マラソン PUSH 講習会(9月9、15、30日、10月14日)
- 大阪マラソン 2012 前夜祭 in ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(11月23日、24日)
- いずれも参加しなかった

【大阪マラソンへの要望】大阪マラソンへのご意見があれば、ご自由にお書きください。

## 大阪マラソン 観客意識調査

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同意識調査を行うことになりました。

今回は、コースの沿道で応援される観客の方々に、応援の仕方や応援についての意識に関する調査を行いたいと思います。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に生かしてもらおう予定にしています。ご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありません。

<あなた自身について> ※当てはまる番号に○をしてください。

◆年齢(年代): ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

◆性別: ①男性 ②女性

◆お住まいはどちらですか?

①マラソンコース付近 ②大阪市内 ③大阪府内 ④その他の都道府県( )  
⑤海外( )

◆テレビでマラソンの中継放送をご覧になりますか?

①よく見る ②見る ③あまり見ない ④見ない

◆これまで沿道でマラソンを応援したことがありますか?

①ない ②1, 2回ある ③3~9回ある ④10回以上ある

◆市民マラソンを走ったことはありますか?

①ない ②ある( )回程度

<大阪マラソンについて>

1, 大阪マラソンについてどのようにして知りましたか?

①家族 ②近所の人 ③友人・知人 ④新聞 ⑤テレビ ⑥広報誌  
⑦駅のポスター ⑧インターネット ⑨公式フェイスブック ⑩大会ガイドブック  
⑪大阪マラソン看板(交通規制など) ⑫その他( )

2, 今日とはなると、何人でお越しになりましたか?

①ひとりで ②家族と( )人 ③友人・知人と( )人 ④会社などの同僚と( )人  
⑤マラソン仲間と( )人 ⑥その他( )と( )人

3, 第1回の大阪マラソンには参加されましたか?

①マラソン・ランナーとして参加した ②チャレンジラン・ランナーとして参加した ③ボランティアとして参加した  
④観客として参加した ⑤テレビで見っていた ⑥関心がなかった  
⑦ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑧その他( )

4. 大阪マラソン関連のイベントに参加されましたか？（複数回答可）

- ①大阪マラソン EXPO2012(11月23日～25日)
- ②大阪マラソン 2012 前夜祭 in ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(11月23日、24日)
- ③大阪“バル”マラソン 2012(11月23日～25日)
- ④大阪マラソン 2012 ウォームアップ FunRun！(9月8日)
- ⑤大阪マラソンチャリティシンポジウム(9月22日)
- ⑥第3回大阪ごちそうマラソン(11月18日)
- ⑦いずれも参加しなかった

4-1 参加された方に伺います。参加したイベントはどうでしたか？

- ①大変満足した
- ②まあまあ満足した
- ③やや不満だった
- ④不満だった

5. 大阪には何日滞在しましたか？

- ①当日(25日)のみ
- ②前日(24日)と当日(25日)
- ③当日(25日)と翌日(26日)
- ④前日から翌日(24日～26日)
- ⑤前々日から当日(23日～25日)
- ⑥その他( )

6. 大阪マラソン以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）

- ①別にしなかった
- ②大阪市内観光
- ③大阪府下の観光
- ④近郊県(京都、奈良、兵庫など)の観光
- ⑤大阪名物の飲食
- ⑥買い物(ショッピング)
- ⑦USJなどの娯楽(アミューズメント)施設
- ⑧お笑いなどの演芸観賞
- ⑨文楽などの古典芸能観賞
- ⑩スポーツを観賞
- ⑪美術館・博物館などの文化施設
- ⑫その他( )

7. なぜ、この場所を選んだのですか？（複数回答可）

- ①すいていると思ったから
- ②知り合いがいるから
- ③来やすかったから
- ④観光スポットだから
- ⑤一番おもしろそうな場所と思ったから
- ⑥ここが良いとすすめられたから
- ⑦ランナーがよく見える場所だから
- ⑧なんとなく
- ⑨その他( )

6. 何箇所で応援しますか？ しましたか？

( )

※応援場所について

複数の場合は、調査員に伝えてください。



**<大阪マラソンの応援について>**

**7, あなたが大阪マラソンを応援しようと思われた理由は何ですか？**

次の項目について、①大いに関係ある、②関係ある、③関係ない、④まったく関係ないの4段階で評価してください。

**1) 出場している知人を応援したいから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**2) 大阪を盛り上げたいから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**3) ランナーから元気をもらいたいから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**4) 人から勧められたり誘われたりしたから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**5) 時間に余裕がある(あった)から**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**6) 話題になっていたから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**7) 応援を楽しみたいから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**8) ランナーとして参加できなかったから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**9) テレビに映るかもしれないから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**10) 招待・ゲスト・チャリティランナーに会いたいから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

**11) 思い出や記念になるから**

①大いに関係ある    ②関係ある    ③関係ない    ④まったく関係ない

その他、応援に来られた理由があればお書きください。

**8, 大阪マラソンの応援をしてどのように感じられましたか？**



14版
フェーダーは創業80周年
フェーダーカミソリ www.fadder.co.jp

2 政治 4
3 経済 8
4 大学 流通科学大 35
5 教育・家庭 14 19
6 産後救済 母を再逮捕
7 春やすこさんのケアノート
26
27
30
31
35
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52

THE YOMIURI SHIMBUN
読売新聞
2013年(平成25年)
3月10日(日)
発行所 読売新聞大阪本社 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 電話(06)6361-1111(代) www.yomiuri.co.jp

光 故郷に届け
日本大震災の犠牲者24人の死を、行方不明者を出した福島県浪江町の避難所が、復興の希望を託して同町山内町のホール、復興の希望を託して同町山内町のホール、復興の希望を託して同町山内町のホール...

復興は いま
東日本大震災と津波で全壊した被災地の学校が、2年を経て再開する。被災地の子供たちが、学校生活を送る。被災地の子供たちが、学校生活を送る...

指針「骨子」
▽分断を避ける
▽胎児のDNAを調べる
▽胎児のDNAを調べる...

新出生前診断来月にも
日産婦が 専門医常勤施設で 指針発表
「対象35歳以上」盛り込まず
「対象35歳以上」盛り込まず...

大震災 2年
除染作業の現場再開
M9の余震
校舎が倒壊
39 34 14 8 2

復興は いま
東日本大震災と津波で全壊した被災地の学校が、2年を経て再開する。被災地の子供たちが、学校生活を送る...

指針「骨子」
▽分断を避ける
▽胎児のDNAを調べる
▽胎児のDNAを調べる...

新出生前診断来月にも
日産婦が 専門医常勤施設で 指針発表
「対象35歳以上」盛り込まず
「対象35歳以上」盛り込まず...

地域再生 学校再建から
被災地の学校が、2年を経て再開する。被災地の子供たちが、学校生活を送る...

復興は いま
東日本大震災と津波で全壊した被災地の学校が、2年を経て再開する。被災地の子供たちが、学校生活を送る...

指針「骨子」
▽分断を避ける
▽胎児のDNAを調べる
▽胎児のDNAを調べる...

新出生前診断来月にも
日産婦が 専門医常勤施設で 指針発表
「対象35歳以上」盛り込まず
「対象35歳以上」盛り込まず...

写真上達のコツ
NHK学園 生涯学習通信講座
1020-06-8881

編集手帳
NHK学園 生涯学習通信講座
1020-06-8881

DXアンテナ
日本の家を美しく、アンテナは平面に。
0120-941-542 www.dxantenna.co.jp

旅行読売 臨時増刊
ひとり旅
自由で気ままな
ひitori旅
選宮にむく伊勢、だしだらけの角館...

CREA
この春 美人に化ける、10の方法
60日間の完璧美白プログラム

MOE
4月号 大好評発売中
「ぐりとぐら」と「いやいやえん」

旅行読売 臨時増刊
ひとり旅
自由で気ままな
ひitori旅
選宮にむく伊勢、だしだらけの角館...

dancyu
うどん、ニッポン!
チリステーキを品名内
肉食と野菜、10品名内



## 調査研究スタッフ

### <関西大学スタッフ>

調査・報告書作成：関西大学人間健康学部 杉本厚夫およびゼミ生

調査協力：関西大学人間健康学部 西山哲郎およびゼミ生

### <読売新聞社スタッフ>

編集特集制作：読売新聞大阪本社 編集局

調査実施・調整：読売新聞大阪本社 広告局